

平成30年度

主要施策の成果説明書

川越町



## 平成30年度主要施策の成果について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定により、平成30年度決算に係る各部門における主要な施策の成果について次のように報告する。

令和元年9月3日 提出

川 越 町  
町 長 城 田 政 幸



# 目 次

各会計の決算状況	2	頁
一般会計決算概要書	3	頁
歳出決算からみた性質別内訳比較表	5	頁
歳入歳出の主なもの		
歳入	6	頁
歳出	11	頁
1款 議会費	11	頁
2款 総務費	14	頁
3款 民生費	41	頁
4款 衛生費	60	頁
5款 農林水産業費	72	頁
6款 商工費	77	頁
7款 土木費	78	頁
8款 消防費	85	頁
9款 教育費	91	頁
11款 公債費	120	頁
12款 諸支出金	120	頁
13款 予備費	123	頁
特別会計 国民健康保険（事業勘定）	124	頁
（診療施設勘定）	128	頁
介護保険	132	頁
後期高齢者医療	137	頁
公共下水道事業	139	頁
（資料編）	143	頁

各 会 計 の 決 算 状 況

(単位:円・%)

区 分		予 算 額				決 算 額	収 入 率	決 算 額 構 成 比
		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	継 続 費 及 び 繰 越 事 業 費 繰 越 財 源 充 当 額	計			
一 般 会 計		6,406,000,000	456,690,000	0	6,862,690,000	7,046,815,538	102.7	65.6
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 【 事 業 勘 定 】	1,177,500,000	42,344,000	0	1,219,844,000	1,224,705,110	100.4	11.4
	国 民 健 康 保 険 【 診 療 施 設 勘 定 】	161,100,000	△ 2,845,000	0	158,255,000	157,175,786	99.3	1.5
	介 護 保 険	825,100,000	31,749,000	0	856,849,000	847,595,813	98.9	7.9
	後 期 高 齢 者 医 療	155,200,000	9,942,000	0	165,142,000	165,785,631	100.4	1.5
	公 共 下 水 道 事 業	1,222,500,000	△ 19,947,000	97,200,000	1,299,753,000	1,300,897,910	100.1	12.1
合 計		9,947,400,000	517,933,000	97,200,000	10,562,533,000	10,742,975,788	101.7	100.0

(単位:円・%)

区 分		予 算 額				決 算 額	執 行 率	決 算 額 構 成 比
		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	継 続 費 及 び 繰 越 事 業 費 繰 越 額	計			
一 般 会 計		6,406,000,000	456,690,000	0	6,862,690,000	6,710,058,153	97.8	64.9
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 【 事 業 勘 定 】	1,177,500,000	42,344,000	0	1,219,844,000	1,207,329,250	99.0	11.7
	国 民 健 康 保 険 【 診 療 施 設 勘 定 】	161,100,000	△ 2,845,000	0	158,255,000	154,219,357	97.4	1.5
	介 護 保 険	825,100,000	31,749,000	0	856,849,000	823,003,112	96.0	7.9
	後 期 高 齢 者 医 療	155,200,000	9,942,000	0	165,142,000	162,104,317	98.2	1.6
	公 共 下 水 道 事 業	1,222,500,000	△ 19,947,000	97,200,000	1,299,753,000	1,285,072,690	98.9	12.4
合 計		9,947,400,000	517,933,000	97,200,000	10,562,533,000	10,341,786,879	97.9	100.0



# 一 般 会 計





## 一 般 会 計 決 算 概 要 書

予算の執行に当たっては、効率的な運用と経費の節減を図るとともに財源の確保に努めました。  
その結果、平成30年度の決算額は歳入が7,046,815,538円で、歳出は6,710,058,153円となり、収支差引額は336,757,385円となりました。

### 歳 入 に つ い て

前年度に対し7.0%増で、決算額は461,503,849円の増となりました。  
自主財源率は、82.5%(前年度は82.7%)です。

歳入の決算額及び構成比の比較表(○印は自主財源)

(単位:円・%)

区 分 科 目	決 算 額				構 成 比		
	30 年 度	29 年 度	増 減 額	増 減 率	30 年 度	29 年 度	増 減 率
① 町税	4,689,166,936	4,655,968,534	33,198,402	0.7	66.5	70.7	△ 4.2
2 地方譲与税	58,480,966	53,878,506	4,602,460	8.5	0.8	0.8	0.0
3 利子割交付金	5,154,000	5,210,000	△ 56,000	△ 1.1	0.1	0.1	0.0
4 配当割交付金	10,391,000	13,060,000	△ 2,669,000	△ 20.4	0.1	0.2	△ 0.1
5 株式等譲渡所得割交付金	8,377,000	13,001,000	△ 4,624,000	△ 35.6	0.1	0.2	△ 0.1
6 地方消費税交付金	285,981,000	267,622,000	18,359,000	6.9	4.1	4.1	△ 0.0
7 自動車取得税交付金	15,629,000	14,800,000	829,000	5.6	0.2	0.2	0.0
8 地方特例交付金	13,934,000	12,868,000	1,066,000	8.3	0.2	0.2	0.0
9 地方交付税	7,438,000	10,339,000	△ 2,901,000	△ 28.1	0.1	0.2	0.0
10 交通安全対策特別交付金	2,468,000	2,609,000	△ 141,000	△ 5.4	0.0	0.0	0.0
⑪ 分担金及び負担金	84,982,639	86,693,159	△ 1,710,520	△ 2.0	1.2	1.3	△ 0.1
⑫ 使用料及び手数料	40,549,361	38,827,780	1,721,581	4.4	0.6	0.6	0.0
13 国庫支出金	485,109,789	446,886,325	38,223,464	8.6	6.9	6.8	0.1
14 県支出金	342,078,493	301,700,434	40,378,059	13.4	4.9	4.6	0.3
⑮ 財産収入	173,897,150	177,214,052	△ 3,316,902	△ 1.9	2.5	2.7	0.0
⑯ 寄附金	4,283,702	3,560,000	723,702	20.3	0.1	0.1	0.0
⑰ 繰入金	432,569,740	93,391,505	339,178,235	363.2	6.1	1.4	4.7
⑱ 繰越金	220,085,600	213,380,938	6,704,662	3.1	3.1	3.2	△ 0.1
⑲ 諸収入	166,239,162	174,301,456	△ 8,062,294	△ 4.6	2.4	2.6	△ 0.2
計	7,046,815,538	6,585,311,689	461,503,849	7.0	100.0	100.0	



## 歳出について

前年度に対し9.2%増で、決算額は566,832,064円の増となりました。  
執行率は、97.8%(前年度は96.1%)です。

歳出の決算額及び構成比の比較表

(単位:円・%)

区分 科目	決 算 額				構 成 比			翌年度繰越額及び不用額			執 行 率		
	30年度	29年度	増減額	増減率	30年度	29年度	増減率	30年度	29年度	増減額	30年度	29年度	増減率
1 議会費	92,400,883	93,430,318	△ 1,029,435	△ 1.1	1.4	1.5	△ 0.2	1,342,117	1,041,682	300,435	98.6	98.9	△ 0.3
2 総務費	874,775,316	1,004,723,668	△ 129,948,352	△ 12.9	13.0	16.4	△ 3.4	16,355,054	13,238,543	3,116,511	98.2	98.7	△ 0.5
3 民生費	1,840,594,320	1,831,252,827	9,341,493	0.5	27.4	29.8	△ 2.4	55,182,590	152,827,363	△ 97,644,773	97.1	92.3	4.8
4 衛生費	431,750,926	418,058,961	13,691,965	3.3	6.4	6.8	△ 0.4	17,525,993	14,347,629	3,178,364	96.1	96.7	△ 0.6
5 農林水産業費	92,790,509	126,858,327	△ 34,067,818	△ 26.9	1.4	2.1	△ 0.7	3,888,491	3,915,487	△ 26,996	96.0	97.0	△ 1.0
6 商工費	18,007,285	18,524,343	△ 517,058	△ 2.8	0.3	0.3	△ 0.0	518,715	68,657	450,058	97.2	99.6	△ 2.4
7 土木費	947,940,694	1,032,258,236	△ 84,317,542	△ 8.2	14.1	16.8	△ 2.7	14,357,994	16,453,578	△ 2,095,584	98.5	98.4	0.1
8 消防費	420,904,034	237,730,053	183,173,981	77.1	6.3	3.9	2.4	10,978,966	10,019,947	959,019	97.5	96.0	1.5
9 教育費	887,477,039	793,499,974	93,977,065	11.8	13.2	12.9	0.3	22,788,447	25,541,750	△ 2,753,303	97.5	96.9	0.6
10 災害復旧費	0	0	0	-	0.0	0.0	0.0	8,000	8,000	0	0.0	0.0	0.0
11 公債費	32,523,640	25,900,914	6,622,726	25.6	0.5	0.4	0.1	1,001,360	1,001,086	274	97.0	96.3	0.7
12 諸支出金	1,070,893,507	560,988,468	509,905,039	90.9	16.0	9.1	6.9	121,493	51,532	69,961	100.0	100.0	0.0
13 予備費	0	0	0	-	0.0	0.0	0.0	8,562,627	9,533,657	△ 971,030	0.0	0.0	0.0
計	6,710,058,153	6,143,226,089	566,832,064	9.2	100.0	100.0		152,631,847	248,048,911	△ 95,417,064	97.8	96.1	1.7



歳出決算からみた性質別内訳比較表

(単位:千円・%)

項目	区分	決 算 額			構 成 比		
		30 年 度	29 年 度	増 減 額	30 年 度	29 年 度	増減率
人 件 費		895,813	918,002	△ 22,189	13.3	15.0	△ 1.7
物 件 費		1,301,191	1,324,191	△ 23,000	19.4	21.6	△ 2.2
維 持 補 修 費		26,348	20,121	6,227	0.4	0.3	0.1
扶 助 費		852,769	871,800	△ 19,031	12.7	14.2	△ 1.5
補 助 費 等		638,979	646,012	△ 7,033	9.5	10.5	△ 1.0
普通建設事業費		817,432	635,168	182,264	12.2	10.3	1.9
災害復旧事業費		0	0	0	0.0	0.0	0.0
公 債 費		32,524	25,901	6,623	0.5	0.4	0.1
積 立 金		1,089,925	634,601	455,324	16.2	10.3	5.9
投資及び出資金 ・ 貸 付 金		10,720	12,140	△ 1,420	0.2	0.2	0.1
繰 出 金		1,044,357	1,055,290	△ 10,933	15.6	17.2	△ 1.6
計		6,710,058	6,143,226	566,832	100.0	100.0	

# 【歳 入】

## 1 款 町 税

決算額は4,689,166,936円で、前年度に対し、33,198,402円(0.7%)の増となりました。主なものは固定資産税3,373,595,510円、個人町民税914,789,705円です。

これは、主に町民税の増額によるもので、個人住民税に係る譲渡所得の増加及び法人住民税に係る業績の向上によるものであります。

なお、歳入全体に占める町税の割合は66.5%であり、その税収の科目別内訳は、下表のとおりです。

税 目	本年度収入済額	前年度収入済額	増減額	前年度比
個人町民税	914,789,705円	870,940,134円	43,849,571円	105.0
法人町民税	237,683,412円	222,609,264円	15,074,148円	106.8
固定資産税	3,373,595,510円	3,397,923,477円	△24,327,967円	99.3
軽自動車税	38,333,200円	36,560,100円	1,773,100円	104.8
町たばこ税	124,765,109円	127,935,559円	△3,170,450円	97.5
合 計	4,689,166,936円	4,655,968,534円	33,198,402円	100.7

## 2 款 地方譲与税

決算額は58,480,966円で、地方揮発油譲与税11,847,000円、自動車重量譲与税29,184,000円、特別とん譲与税17,449,966円です。前年度に対し、4,602,460円(8.5%)の増となりました。増の理由は、特別とん譲与税で、4,219,460円(31.9%)の増であります。

## 3 款 利子割交付金

決算額は5,154,000円で、前年度に対し、56,000円(1.1%)の減となりました。

## 4 款 配当割交付金

決算額は10,391,000円で、前年度に対し、2,669,000円(20.4%)の減となりました。

## 5 款 株式等譲渡所得割交付金

決算額は8,377,000円で、前年度に対し、4,624,000円(35.6%)の減となりました。

## 6 款 地方消費税交付金

決算額は285,981,000円で、前年度に対し、18,359,000円(6.9%)の増となりました。

なお、このうち一般財源分は172,488,000円、社会保障財源分は113,493,000円です。

## 7 款 自動車取得税交付金

決算額は15,629,000円で、前年度に対し、829,000円(5.6%)の増となりました。

## 8 款 地方特例交付金

決算額は 13,934,000 円で、前年度に対し、1,066,000 円(8.3%)の増となりました。

## 9 款 地方交付税

決算額は 7,438,000 円で、特別交付税 7,438,000 円です。前年度に対し、2,901,000 円(28.1%)の減となりました。

## 10 款 交通安全対策特別交付金

決算額は 2,468,000 円で、前年度に対し、141,000 円(5.4%)の減となりました。

## 11 款 分担金及び負担金

決算額は 84,982,639 円で、主なものは公立保育所利用者負担額 41,106,140 円、私立保育所利用者負担額 30,637,440 円、幼稚園利用者負担額 7,435,580 円です。前年度に対し、1,710,520 円(2.0%)の減となりました。減の主な理由は、公立保育所利用者負担額で、1,695,680 円(4.0%)の減であります。

## 12 款 使用料及び手数料

決算額は 40,549,361 円で、前年度に対し、1,721,581 円(4.4%)の増となりました。

### (1) 使用料

決算額は 31,860,646 円で、主なものは、道路等占用料 9,834,508 円、体育施設使用料 7,478,900 円、あいあいホール使用料 5,768,900 円です。前年度に対し、2,004,093 円(6.7%)の増となりました。増の主な理由は、あいあいホール使用料で、1,056,250 円(22.4%)の増であります。

### (2) 手数料

決算額は 8,688,715 円で、主なものは、戸籍住民登録手数料 4,462,300 円、汲取手数料 2,455,055 円です。前年度に対し、282,512 円(3.1%)の減となりました。

## 13 款 国庫支出金

決算額は 485,109,789 円で、前年度に対し、38,223,464 円(8.6%)の増となりました。

### (1) 国庫負担金

決算額は 443,961,297 円で、主なものは、児童手当負担金 206,068,333 円、障害者介護給付費等負担金 104,735,864 円、子どものための教育・保育給付費負担金 101,217,241 円です。前年度に対し、57,188,312 円(14.8%)の増となりました。増の主な理由は、子どものための教育・保育給付費負担金で、55,791,554 円(122.8%)の増であります。

### (2) 国庫補助金

決算額は 36,506,000 円で、主なものは、子ども・子育て支援交付金 17,260,000 円です。前年度に対し、20,511,000 円(36.0%)の減となりました。減の主な理由は、臨時福祉給付金給付事業費補助金で、23,295,000 円(皆減)の減であります。



(3) 委託金

決算額は4,642,492円で、主なものは、国民年金事務委託金4,301,498円です。前年度に対し、1,546,152円(49.9%)の増となりました。

## 14 款 県支出金

決算額は342,078,493円で、前年度に対し、40,378,059円(13.4%)の増となりました。

(1) 県負担金

決算額は203,310,663円で、主なものは、障害者介護給付費等負担金52,367,932円、施設型給付費・地域型保育給付費負担金48,271,100円、児童手当負担金43,526,166円です。前年度に対し、28,435,993円(16.3%)の増となりました。増の主な理由は、施設型給付費・地域型保育給付費負担金で、25,558,257円(112.5%)の増であります。

(2) 県補助金

決算額は108,765,311円で、主なものは、電源立地地域対策交付金30,000,000円、子ども医療費補助金22,953,866円、子ども・子育て支援交付金17,174,000円です。前年度に対し、16,716,767円(18.2%)の増となりました。増の主な理由は、電源立地地域対策交付金が16,577,000円(123.5%)の増であります。

(3) 委託金

決算額は30,002,519円で、主なものは、県民税徴収事務交付金25,223,190円、県知事選挙委託金2,456,939円です。前年度に対し、4,774,701円(13.7%)の減となりました。減の主な理由は、衆議院議員選挙委託金で、8,606,225円(皆減)の減であります。

## 15 款 財産収入

決算額は173,897,150円で、主なものは、各基金の運用による利子収入138,536,591円、土地賃貸料34,064,445円です。前年度に対し、3,316,902円(1.9%)の減となりました。

## 16 款 寄附金

決算額は4,283,702円で、ふるさと応援寄附4,060,000円、一般寄附223,702円です。前年度に対し、723,702円(120.3%)の増となりました。

### ふるさと応援寄附金の使い道

寄附金の使途	件数	寄附額
子育て支援に関する事業	141件	1,950,000円
障がい者の支援に関する事業	15件	170,000円
健康づくりに関する事業	17件	220,000円
教育・文化振興に関する事業	16件	180,000円
防災・安全対策に関する事業	15件	160,000円
環境保全に関する事業	28件	360,000円

その他目的達成のために町長が必要と認める事業	88 件	1,020,000 円
計	320 件	4,060,000 円

## 17 款 繰入金

決算額は 432,569,740 円で、主なものは、財政調整基金繰入金 308,964,000 円、環境整備事業基金繰入金 76,130,440 円、減債基金繰入金 29,352,000 円です。前年度に対し、339,178,235 円(363.2%)の増となりました。増の主な理由は、財政調整基金繰入金 308,964,000 円(皆増)、減債基金繰入金 29,352,000 円(皆増)の増であります。

## 18 款 繰越金

決算額は 220,085,600 円で、前年度に対し、6,704,662 円(3.1%)の増となりました。

## 19 款 諸収入

決算額は 166,239,162 円で、主なものは、小学校給食代 44,104,080 円、競輪運営協力費 34,500,000 円です。前年度に対し、8,062,294 円(4.6%)の減となりました。減の主な理由は、競輪運営協力費 8,500,000 円(19.8%)の減であります。



平成30年度 町税 種目別収入割合明細

(単位:円・%)

税目 年度	個人町民税			法人町民税			固定資産税			軽自動車税			町たばこ税			合計			収納率
	調定額	収入済額	収入未済額	調定額	収入済額	収入未済額	調定額	収入済額	収入未済額	調定額	収入済額	収入未済額	調定額	収入済額	収入未済額	調定額	収入済額	収入未済額	
26 以前	4,620,197	372,118	3,924,026	901,500	130,188	625,512	33,396,069	4,756,184	28,269,364	707,859	2,200	427,259	0	0	0	39,625,625	5,260,690	33,246,161	13.3
27	3,192,389	1,358,100	1,834,289	608,700	37,200	571,500	8,794,050	3,364,057	5,429,993	305,200	21,600	276,400	0	0	0	12,900,339	4,780,957	8,112,182	37.1
28	8,463,139	5,715,659	2,561,263	440,836	77,624	363,212	12,566,885	3,002,021	9,564,864	678,200	189,900	488,300	0	0	0	22,149,060	8,985,204	12,977,639	40.6
29	13,126,901	8,891,502	4,126,343	485,300	177,300	308,000	12,844,650	2,998,950	9,845,700	1,072,900	467,700	605,200	0	0	0	27,529,751	12,535,452	14,885,243	45.5
30	912,430,095	898,452,326	13,977,769	237,768,500	237,261,100	507,400	3,396,372,600	3,359,474,298	36,898,302	38,922,700	37,651,800	1,270,900	124,778,439	124,765,109	13,330	4,710,272,334	4,657,604,633	52,667,701	98.9
合計	941,832,721	914,789,705	26,423,690	240,204,836	237,683,412	2,375,624	3,463,974,254	3,373,595,510	90,008,223	41,686,859	38,333,200	3,068,059	124,778,439	124,765,109	13,330	4,812,477,109	4,689,166,936	121,888,926	97.4
率	97.1			99.0			97.4			92.0			100.0			97.4			

※ 種目別の収入未済額は、不納欠損処分控除後の額



# 【歳 出】

## 1 款 議 会 費

### 1 項 議会費

#### 1 目 議会費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
92,400,883 円	－円	－円	－円	－円	92,400,883 円

議会は、町の意味決定機関として、定例会をはじめ、議会運営委員会・総務建設常任委員会・教育民生常任委員会・予算特別委員会・決算特別委員会・議会広報特別委員会・全員協議会を開会しました。

また、視察・研修などの活動を行うとともに、これらを広報する議会だよりを発行しました。

なお、定例会を4回開催し、各議案について慎重に審議をした結果、提案件数・議決件数ともに70件でした。

#### 1 議会活動費

(1) 議員報酬 (12人) . . . . . 63,586,020 円  
(報酬、期末手当、共済費)

(2) 議員研修費 . . . . . 1,923,379 円

##### ○旅費

- ・費用弁償 310,100 円
- ・特別旅費 1,613,279 円

#### 【視察・研修等】

	日 程	行き先・場所等	内 容
議会広報特別委員会研修	10月3日	多賀町 (滋賀県)	議会だよりの編集等
北勢5町議会議員研修会	10月12日	ラメゾン デ ア ンボワーズ	講師：増田 ユリヤ 氏 「2019年 日本と世界を大予測！」
議員視察研修	10月24日～26日	南幌町 (北海道) 余市町 (北海道)	子育て支援事業について 障がい者就労施設について
三重郡議会議員研修会	1月10日	川越町庁舎	講師：土山 希美枝 氏 「地方議会における一般質問」 ～議員の質問力向上のために～

#### (3) 政務活動費

議員の活動に対して、申請により月額10,000円を限度に交付しました。

##### ○負担金、補助及び交付金

- ・政務活動費 1,099,515 円

#### 2 議会給与費等

(1) 一般職給与費 (事務職員2人) . . . . . 17,253,531 円  
(給料、職員手当、共済費)

3 議会運営事務費

(1) 臨時職員賃金 (1人) . . . . . 775,874 円  
(賃金、共済費)

(2) 議会だより発行経費

○需用費

・印刷製本費 2,263,248 円 年4回発行 発行部数 5,700 部

(3) 議事録作成経費

○委託料

・議事録作成 (検索システム含む。) 1,757,700 円

【議会の開会状況】

定 例 会						
月	町長提出 議案数	議員提出 議案数	請願	意見書	会 期	開議日数
6	18	0	0	0	6月5日～6月15日	11
9	14	0	0	0	9月4日～9月18日	15
12	12	1	0	0	12月4日～12月14日	11
3	25	0	0	0	3月4日～3月15日	12

【各委員会の開会状況】

①委員会

種 別 \ 区 分	回 数	付託議案数	備 考
議会運営委員会	5	0	
総務建設常任委員会	4	21	本会議付議事件審査等
教育民生常任委員会	4	17	〃
予算特別委員会	2	6	〃
決算特別委員会	2	6	〃
議会広報特別委員会	12	0	4回の議会だより編集準備等

②その他

種 別 \ 区 分	回 数	備 考
全 員 協 議 会	4	川越町住民向けメール配信事業について 一部事務組合の報告について 平成30年度北勢5町議会議員研修会について 第38回三重郡議会議員親善球技大会について 平成30年度議員研修について 国、県に対する要望事項について 議会の慣例・申し合せ事項の見直しについて 庁舎免震用オイルダンパーの検査工程等における不適切行為について 国民健康保険税について 上下水道事業経営戦略の策定状況について

		平成 30 年度 三重郡議会議員研修会について 第 12 回美し国三重市町対抗駅伝の応援について 川越町地域防災計画の改訂について 川越町自殺対策行動計画について 川越町教育基本方針の改訂について 受動喫煙防止対策について ふれあいバスルート・運行ダイヤ変更について 政務活動費について
--	--	--

③ 対外活動等主要事項

議員発議

- ・ 義援金差押禁止法の恒久化を求める意見書の提出について・・・可決



## 2 款 総 務 費

### 1 項 総務管理費

#### 1 目 一般管理費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
145,504,639円	－円	1,414,000円	－円	2,170,700円	141,919,939円

町長及び副町長、総務課職員の人件費のほか、条例等の改正・制定に関する支援システム、総務省の地方公会計の整備に基づく固定資産台帳の更新及び財務諸表の作成業務など庁舎における行政運営の総合的な事務に要する費用が主なものです。

#### 1 一般管理給与費等

(1) 町長、副町長給与費・・・・・・・・・・ 36,012,884 円  
(給料、期末手当、共済費)

(2) 一般職給与費（事務職員 10 人）・・・・・・・・・・ 86,506,478 円  
(給料、職員手当、共済費) ※三重県農業共済組合派遣職員 1 人含む。

#### 2 一般管理事務費

(1) 嘱託職員及び臨時職員賃金（臨時職員 2 人）・・・・・・・・・・ 2,654,712 円  
(賃金、共済費)

#### (2) 町例規集、要綱集データベース事業

条例等の改正支援システムにより条例等の改正・制定を行うとともに、町例規集を更新し、町ホームページで公開しました。

##### ○委託料

・町例規集、要綱集データベース業務 5,714,064 円 例規改正等件数 89 件

#### (3) 行政手続情報整備事業

町が法令等に基づき行う処分について、公正の確保と透明性の向上を図るため、行政手続法及び町行政手続条例に基づき、審査基準と処分基準等を再点検・整備を行いました。

##### ○委託料

・行政手続情報整備業務 993,600 円

#### 【整備件数】

区 分	件数	申請に対する処分	不利益処分
例規に基づく処分	177 件	83 件	93 件
法令に基づく処分	519 件	301 件	218 件
権限移譲分	34 件	19 件	15 件
計	730 件	403 件	326 件

(4) 新公会計支援業務・・・・・・・・・・ 3,574,800 円

総務省から示された「統一的な基準による地方公会計の整備促進」に基づき、町の財政状況を表す財務書類の作成に際して、平成 29 年度末現在の固定資産台帳の更新及び統一的な基準による財務諸表を作成しました。

##### ○委託料

- ・新公会計支援業務 3,142,800 円
- ・新公会計システム保守 432,000 円

(5) 入札契約事務・・・・・・・・・・・・ 584,616 円

年間を通して、発注計画に基づき入札を行い、契約を締結しました。また、入札結果を町ホームページで公表しました。

- 委託料
  - ・入札資格参加登録 394,418 円
- 使用料及び賃借料
  - ・CORINS (コリンズ) 10,800 円
- 負担金、補助及び交付金
  - ・入札参加資格受付審査負担金 179,398 円

①資格審査会

川越町入札参加資格審査会規程第6条により、資格審査会を開催しました。

- ・資格審査会開催回数 10回

②入札

平成30年度に行った入札件数は、次のとおりです。

【入札による契約件数】

工事種別	契約件数
土木工事	23件
建築工事	5件
電気工事	6件
管工事	3件
造園工事	2件
舗装工事	1件
業務委託	27件
物品購入等	31件
計	98件

(6) ふるさと応援寄附事業・・・・・・・・・・・・ 1,659,652 円

税制を通じてふるさとへ貢献する仕組みの「ふるさと納税」制度について、10,000円以上寄附をされた方に、そのお礼として返礼品を送付しました。

平成30年度の寄附件数は、320件で、そのうち、平成29年度中に送付ができなかった返礼品を含めて304人の方に返礼品を送付しました。

- 報償費
  - ・ふるさと応援寄附返礼品 (304件) 1,553,164 円
- 役務費
  - ・ふるさと応援寄附公金決済手数料 38,448 円
- 使用料及び賃借料
  - ・ふるさと応援寄附関係システム 68,040 円

2目 人事管理費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,933,635円	－円	－円	－円	149,500円	5,784,135円

多様化する行政諸課題に対応することができる人材の育成、能力の向上を図るための各研修や職員の健康増進を図るための各種検診など、人事管理全般に要する費用が主なものです。

1 職員研修費

(1) 階層別研修・・・・・・・・・・・・ 133,780 円

○旅費

・特別旅費 105,780 円

○負担金、補助及び交付金

・職員研修費 28,000 円

研 修 名	受講人数	研 修 名	受講人数
ワンステップ研修（前期Ⅰ）	4人	マネージャー研修Ⅰ	2人
ワンステップ研修（前期Ⅱ）	5人	マネージャー研修Ⅱ	2人
ワンステップ研修（後期）	4人	リーダー研修Ⅰ	2人
ツーステップ研修Ⅰ	3人	リーダー研修Ⅱ	3人
ツーステップ研修Ⅱ	2人	リーダー研修Ⅲ	2人
スリーステップ研修Ⅰ	2人		
スリーステップ研修Ⅱ	2人	計	33人

(2) 特別研修・・・・・・・・・・・・ 209,590 円

(ア) 三重県市町総合事務組合主催

○旅費

・特別旅費 14,300 円

研 修 名	受講人数	研 修 名	受講人数
三重地方行財政アカデミー	1人	公営企業会計研修	2人
三重地方行財政アカデミー（入門編）	2人	法務トレンド研修	1人
税務実務研修	2人	法制執務研修（川越町開催）	8人

(イ) 市町村職員研修所（市町村アカデミー）

○旅費

・特別旅費 78,400 円

○負担金、補助及び交付金

・職員研修費 30,500 円

研 修 名	受講人数	研 修 名	受講人数
これからの自治体業務改革	1人	市町村長特別セミナー	2人

(ウ) 四日市市職員研修所主催

○負担金、補助及び交付金

・職員研修費 12,810 円

研 修 名	受講人数
法務研修（憲法・地方自治法）	5人
複式簿記・公会計入門	1人

(エ) その他

○旅費

- ・特別旅費 13,580 円
- 負担金、補助及び交付金
  - ・職員研修費 60,000 円

研 修 名	受講人数
市町村ゼミナール	3 人
三重地方自治研究センター 「犠牲者ゼロの防災まちづくり」	1 人

(3) 職員人権研修

- 報償費
  - ・講師謝礼 33,420 円

開催日	講 師	受講人数
2 月 21 日	(公財)反差別・人権権研究 所みえ講師	主任以下の職員 24 人

(4) 人事評価研修

- 報償費
  - ・講師謝礼 189,000 円

開催日	講 師	受講人数
8 月 27 日	一社) 日本経営協会講師	主任以下の職員 47 人

(5) 働き方改革研修

- 負担金、補助及び交付金
  - ・検定料 176,000 円

開催日	講 師	受講人数
1 月 11 日	株) 話し方教育センター	59 人

2 公務災害補償等

(1) 職員公務災害補償費

- 共済費
  - ・公務災害補償基金負担金 1,005,603 円

(2) 公務災害見舞金

- 役務費
  - ・公務災害保険 852,470 円

3 福利厚生費

(1) 職員健康診断

- 委託料
  - ・職員健康診断 1,448,910 円

医療機関等	受診者数等	支出額
川越診療所	58 人	780,100 円
四日市健診クリニック	110 人	668,810 円

(2) ストレスチェック

ストレスに関する質問票(選択回答)に職員が記入し、それを集計・分析し、自分のストレスの状態を知ることで、メンタルヘルス不調を未然に防止するための「ストレスチェック」を実施しました。

- 委託料

・ストレスチェック 210,380 円

項 目	受診者数等	支出額
ストレスチェック	189 人	160,380 円
集団分析（全体・部署別）	13 件	
高ストレス者医師面談	5 人	50,000 円

(3) メンタルヘルスカウンセリング

業務や私生活において感じる不安や苦悩などをカウンセラーに相談することで、改善・解消し、よりよい職場づくりへつなげることを目的とし、職員のカウンセリング事業を行いました。

○委託料

・メンタルヘルスカウンセリング

項 目	受診者延数	支出額
カウンセリング事業	35 人	279,480 円

(4) 職員予防検診

○委託料

・職員予防検診 192,650 円

検診内容	受診者数	支出額
MR ワクチン	5 人	51,500 円
インフルエンザ予防接種	12 人	34,200 円
B 型・C 型肝炎抗体検査	11 人	86,530 円
麻疹ウイルス抗体検査	6 人	
結核検診	3 人	15,930 円
電離放射線健康診断	1 人	4,490 円

(5) 職員福利厚生費

○負担金、補助及び交付金

・職員福利厚生費 553,616 円

項 目	件 数	支出額
短期人間ドック補助	59 人	378,720 円
乳がん検診補助	20 人	19,720 円
子宮がん検診補助	12 人	11,100 円
胃がん検診補助	15 人	12,576 円
インフルエンザ予防接種補助	84 人	85,500 円
クラブ（野球部）補助 ※補助用具、ナイター照明料	1 件	46,000 円

4 職員採用試験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 126,396 円

○委託料

・適性検査 98,496 円

○負担金、補助及び交付金

・職員採用試験 27,900 円

職種区分	申込者数	受験者数	一次合格者数	採用者数
一般事務職	21 人	19 人	12 人	3 人

技術職員（土木）	1人	0人		
技術職員（土木）再募集	5人	5人	5人	1人
保育士	3人	2人	0人	0人
保育士 再募集	10人	9人	6人	3人
保健師	3人	3人	3人	2人

### 3目 広報広聴費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
38,586,522円	－円	－円	－円	480,000円	38,106,522円

町民に対して行政情報等を提供するために、広報紙の作成、ホームページの運営、行政情報番組の制作及び災害時の緊急情報伝達手段となる防災行政無線維持管理運用等の事務に要する費用が主なものです。

#### 1 広報支出額

(1) 広報かわごえ発行事業・・・・・・・・・・・・ 4,813,535円

町の広報紙「広報かわごえ」を毎月作成し、自治会を通じて各世帯に配布しました。

○需用費

・印刷製本費 4,795,200円 発行部数 5,800部/月

○役務費

・通信運搬費（広報紙郵送料） 18,335円

(2) 町ホームページ運営事業・・・・・・・・・・・・ 732,240円

町ホームページにより、町民に対して行政情報を提供しました。

○委託料

・町ホームページ保守管理業務 518,400円

・町ホームページホスティング業務 58,320円

・ドメイン更新費用 6,480円

・町ホームページSSL証明書更新費用 149,040円

(3) C A T V行政番組放送事業

ケーブルテレビを利用した行政情報番組「情報満載！かわごえ」の制作業務を委託し、放映を行いました（平成14年5月から放送）。

○委託料

・C A T V行政番組放送事業 16,239,312円

毎月、前半と後半に分けて15分番組（特集・町の話・テレビ広報かわごえ等）を放送（1日の放送回数は6回）。

(4) 防災行政無線維持管理運用事業・・・・・・・・・・・・ 4,271,395円

災害時等における迅速な情報伝達手段として、防災行政無線個別受信機を町民、企業等に普及させるため、啓発等を実施しました。また、災害時の緊急情報伝達手段となる、既存防災行政無線設備の維持管理に努めました。

○需用費

・消耗品費（個別受信機用乾電池他） 12,774円

・光熱水費（防災行政無線屋外子局電気料金） 271,985円

・修繕料（防災行政無線屋外子局蓄電池交換） 49,680円

○役務費

・通信運搬費（INS回線料） 91,536円

- 委託料
  - ・ 防災行政無線個別受信機アンテナ設置（6件） 113,400 円
  - ・ 防災行政無線設備保守点検 1,425,600 円
- 使用料及び賃借料
  - ・ 防災行政無線電波料（30局） 120,500 円
- 工事請負費
  - ・ 防災行政無線屋外制御装置他蓄電池交換工事 2,185,920 円

【個別受信機設置状況】

平成 31 年 3 月 31 日現在	個人宅	事業所	公共施設等
		2,412 台	79 台

(5) 防災行政無線屋外子局デジタル化事業

防災行政無線屋外子局(2局)の移設に合わせて、電波法改正に伴う新規格に対応させるため、デジタル化工事を実施しました。

- 工事請負費
  - ・ 防災行政無線屋外子局移設及びデジタル化工事 10,584,000 円

(6) 行政情報メール配信事業・・・・・・・・・・・・ 1,931,040 円

平成 30 年 6 月より、緊急情報や生活安全情報など町民一人ひとりのニーズに合わせた行政情報をメールにて配信するサービスを開始しました。(平成 31 年 3 月 31 日現在の登録者は 925 人)

- 需用費
  - ・ 印刷製本費（啓発用チラシ） 43,200 円
- 使用料及び賃借料
  - ・ メール配信システム初期導入費用 1,077,840 円
  - ・ メール配信システム利用料 810,000 円

4 目 会計管理費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
23,896,630 円	－円	－円	－円	－円	23,896,630 円

会計事務については、収入・支出等を正確に進め、決算書の作成と金銭及び物品の出納事務の向上に努めました。また、住民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税及び上下水道料金について、収納窓口の拡大による納税者の利便性向上に資する為、コンビニ収納を、平成 30 年度から開始しました。

1 会計管理給与費

- (1) 一般職給与費（事務職員 3 人）・・・・・・・・・・・・ 22,142,476 円  
（給料、職員手当、共済費）

2 町税等収納業務

- (1) 町税等口座振替収納及びコンビニ収納業務・・・・・・・・・・・・ 943,764 円
  - 役務費
    - ・ 通信運搬費（電話回線使用料） 49,524 円
  - 委託料
    - ・ 電算処理（町税等口座振替収納業務） 855,360 円
    - ・ 電算処理（コンビニ収納サービス基本料） 38,880 円

5目 財産管理費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
88,457,786 円	－円	－円	－円	895,336 円	87,562,450 円

役場庁舎の機械設備、電気設備、消防設備等の保守点検業務、清掃業務及び警備員による建物の維持管理業務並びに庁舎周辺緑地帯、公用車の維持管理などに要する費用が主なものです。

1 庁舎・敷地維持管理費

(1) 一般維持管理経費・・・・・・・・・・・・ 83,807,607 円

○需用費

- ・ 消耗品費（トイレットペーパー、蛍光灯等） 202,222 円
- ・ 光熱水費 13,462,187 円（電気：13,043,719 円、上下水道：418,468 円）
- ・ 修繕料 4,177,548 円

内 容	・ エレベーター修繕	982,800 円	・ 中央監視盤外付け UPS 交換	951,480 円
	・ 消防用設備	540,000 円	・ 駐車ライン等修繕	313,200 円
	・ 館内放送更新修繕	237,600 円	・ その他修繕	1,152,468 円

○役務費

- ・ 通信運搬費（庁舎電話） 1,562,239 円
- ・ 手数料（クリーニング） 34,020 円
- ・ 火災保険料（庁舎ほか43施設） 5,771,481 円（うち庁舎分515,883円）

○委託料

【事業委託】

項 目	支出額	支出内容
電話交換機等更新工事設計	1,296,000 円	庁舎電話交換機等を更新するための設計業務

【保守管理委託】

項 目	支出額	支出内容
庁舎総合管理	40,888,800 円	・ 警備保安業務、環境衛生管理業務、清掃業務、空調管理等維持管理業務
電気設備	785,376 円	・ 庁舎電気設備保安管理 675,216 円 ・ 庁舎デマンド監視 45,360 円 ・ 太陽光発電設備点検 64,800 円
消防設備	540,000 円	・ 庁舎消防設備点検
非常用発電設備	680,400 円	・ 庁舎非常用発電機保守点検
庁舎敷地管理	3,661,176 円	・ 庁舎植樹帯維持管理 3,456,000 円 ・ 障がい者施設等への除草委託 205,176 円
警備	237,168 円	・ 庁舎への侵入異常検知
庁舎受水槽	169,560 円	・ 庁舎受水槽内清掃
入退室・就業情報管理システム	317,520 円	・ 職員入退出、就業管理システム



【各種委託】

項目	支出額	支出内容
P C B 含有物搬入荷姿登録	86,400 円	P C B 廃棄物廃棄のための事前登録 ・ 蛍光灯用安定器 11 台 ・ 水銀灯用安定器 1 台 ・ コンデンサー 1 台

○使用料及び賃借料

【賃借料】

項目	支出額	支出内容
トイレ脱臭装置	394,178 円	・ トイレの脱臭（年 6 回交換）
観葉植物	219,024 円	・ 観葉植物用鉢（8 鉢）
玄関等マット	364,176 円	・ マット、トイレ用ハンドドライヤー

【使用料】

項目	支出額	支出内容
テレビ受信料	332,172 円	・ ケーブル TV（16 施設 18 台分） 250,560 円 ・ NHK 放送（8 台） 81,612 円

○工事請負費

【修繕工事】

項目	支出額	支出内容
エスカレーター修繕	1,933,200 円	・ 庁舎エスカレーターのブレーキ等交換及びトラス内の清掃
人工木デッキ床取替	1,182,600 円	・ 人工木デッキ板の一部取替
敷地内樹木剪定・伐採	945,000 円	・ 庁舎廻りの樹木の剪定及び支障木の伐採
電話機増設	113,400 円	・ 多機能電話機 1 台

【新設工事】

項目	支出額	支出内容
町広報掲示板設置工事	1,069,200 円	・ 町内に町広報掲示板を 3 箇所新設

(2) 庁舎照明器具改修事業

庁舎 1 階ロビー等の利用環境を改善するため、照明器具を L E D 照明器具に改修しました。

事業名	支出額	区分	事業内容
庁舎 1 階ロビー等照明器具改修事業	3,382,560 円	委託料	・ 設計業務 380,160 円 ・ 監理業務 324,000 円
		工事請負費	庁舎北側エントランス及び総合窓口案内付近照明器具の L E D 化工事 2,678,400 円

2 公用車維持管理費

(1) 一般経費・・・・・・・・・・・・ 4,650,179 円

○需用費

- ・ 燃料費（14 台） 887,854 円
- ・ 修繕料（10 台） 856,417 円

- 役務費
  - ・手数料（車検 9 台、12 か月 1 台、6 か月 10 台、3 か月 1 台、ETC カード） 730,140 円
  - ・自動車損害保険料（自賠責保険：9 台、任意保険：22 台） 749,600 円
- 使用料及び賃借料
  - ・賃借料（庁車リース：4 台） 1,247,268 円
- 公課費
  - ・自動車重量税（9 台） 178,900 円

## 6 目 公平委員会費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
83,300 円	－円	－円	－円	－円	83,300 円

効率的な公平委員会を運営するため、1 市、11 町、9 一部事務組合、3 広域連合で構成されている三重県市町公平委員会に加入しています。

## 7 目 自治振興費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
110,777,554 円	－円	－円	－円	79,630,440 円	31,147,114 円

各自治会の円滑な事業の遂行及び地域の振興と福祉の向上を図るために要する費用が主なものです。

### 1 区長会経費

#### (1) 区長手当等関係

行政と地区住民のパイプ役として活動等に対する手当として、区長手当を支払いました。

##### ○報償金

- ・区長手当 10 人（4 月、7 月、10 月、12 月に支給） 9,865,000 円

- ・区長会開催回数 6 回

開催日 4 月 24 日、8 月 20 日、10 月 22 日、12 月 20 日、1 月 29 日、2 月 21 日

#### (2) 区長会研修・・・・・・・・・・・・ 625,114 円

##### ○旅費

- ・普通旅費 14,800 円

- ・特別旅費 610,314 円

研修先等 富山県広域消防防災センター、魚津埋没林博物館 6 月 21 日、22 日

出席者 区長 10 人、町長、総務課長、総務課担当 計 13 人

### 2 地区振興費

自治会の振興を図るため、各自治会に対して各種助成金を交付しました。

#### (1) 地区振興助成金・・・・・・・・・・・・ 20,657,000 円

【一般分】 4月、10月に交付

○負担金、補助及び交付金

・地区振興助成金（一般分） 13,717,000円

地区名	金額	地区名	金額
当新田	1,245,538円	南福崎	1,729,869円
北福崎	1,042,355円	豊田一色	1,319,959円
亀須	801,370円	高松	1,638,909円
亀崎	1,094,332円	豊田	2,969,049円
上吉	723,404円	天神	1,152,215円

【連絡物配付事務分】 4月、7月、10月、12月に交付

○負担金、補助及び交付金

・地区振興助成金（連絡物配付事務分） 6,940,000円

地区名	金額	地区名	金額
当新田	605,221円	南福崎	946,040円
北福崎	462,243円	豊田一色	657,591円
亀須	292,665円	高松	882,032円
亀崎	498,819円	豊田	1,818,037円
上吉	237,801円	天神	539,551円

3 地区協力費

○負担金、補助及び交付金

・地区協力費（4月、10月に交付） 3,500,000円

地区名	金額	地区名	金額
当新田	157,000円	亀崎	1,933,000円
北福崎	130,000円	上吉	366,000円
亀須	339,000円	南福崎	575,000円

4 環境整備支出額

○負担金、補助及び交付金

・環境整備支出額 76,130,440円

地区名	金額	地区名	金額
北福崎	157円	豊田一色	2,390,579円
亀須	8,108,500円	高松	5,053,481円
亀崎	25,011,000円	豊田	377円
上吉	9,514,000円	天神	9,882円
南福崎	26,042,464円		

8目 安全なまちづくり推進費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
21,357,154円	－円	－円	－円	7,698,098円	13,659,056円

交通安全対策及び防犯対策に要する費用が主なものです。

1 交通安全対策事業

(1) 啓発事業・・・・・・・・・・・・ 1,621,902 円

交通安全意識の向上に向けて、各種啓発活動を行いました。

○需用費

・消耗品費（新小学生黄色帽子、交通安全用看板など） 332,402 円

○負担金、補助及び交付金

- ・三四地区交通安全対策協議会 10,000 円
- ・安全運転スクール 149,500 円
- ・町交通安全協会 1,000,000 円
- ・交通少年団 130,000 円

(2) 交通安全施設整備事業・・・・・・・・・・・・ 4,022,460 円

交通事故を防止するため、交通安全施設の整備を実施しました。

○工事請負費

- ・道路反射鏡設置等（新設：5基、修繕：20基） 1,894,860 円
- ・交差点カラー舗装等（新設7か所、修繕19か所） 2,127,600 円

【交通事故件数（平成30年中）】

項目	件数
人身事故	45件 (負傷者64人、死者0人、計64人)
物損事故	566件
計	611件

2 防犯対策事業

(1) 一般経費・・・・・・・・・・・・ 5,201,197 円

○報酬

・安全なまちづくり推進委員 6人（1回開催） 42,000 円

○需用費

- ・消耗品費（自主防犯隊帽子） 79,758 円
- ・光熱水費（防犯灯） 4,762,892 円
- ・修繕料（防犯灯修繕） 316,547 円

(2) 街路灯LED化事業

町内の防犯対策向上としてLED防犯灯を新設するとともに、既存の防犯灯をLED防犯灯に取り換えました。

○工事請負費

事業名	支出額	事業概要
防犯灯LED推進事業	8,582,782 円	LED防犯灯の新設 3基 LED防犯灯への更新 38基

3 空家対策事業

(1) 空家対策経費

特定空家の候補を選定し、特定空家等判定評価を実施して絞り込みを行いました。また、空家等に関する相談会に参加し、空家等の発生の抑制に努めました。

○委託料

・川越町特定空家調査業務 636,120 円

4 防犯・防災カメラ設置事業

犯罪を抑止するため、通学路や危険か所などに設置された防犯カメラや、津波や河川の増水状況を監視する防災カメラの適正な管理に努めました。

(1) 防犯カメラ一般経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 424,224 円

○委託料

・防犯カメラ保守点検（16台） 406,080 円

○使用料及び賃借料

・防犯カメラ共架料 18,144 円

(2) 防犯・防災カメラ維持事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 349,920 円

防犯・防災カメラの適正な維持管理などを行いました。

○工事請負費

事業名	支出額	事業概要
防犯カメラ修繕事業	187,920 円	防犯カメラ修繕
防災カメラ移設事業	162,000 円	四日市北警察署移転に伴う、アクセス回線の移設

9 目 諸費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,270,650 円	14,000 円	－円	－円	780,000 円	2,476,650 円

諸費は、目的が普遍的であるため、いずれの款項にも属さない事業に要する費用です。

1 行政相談

毎月、第4金曜日にいきいきセンターで行政相談を開催

○報償費

・行政相談員（2名） 42,000 円

2 総合賠償保険

町が所有・使用・管理する施設の瑕疵及び業務遂行上の過失に起因する事故に対して、法律上の損害賠償を負う場合の損害を総合的に補填する保険

○役務費

・総合賠償補償保険 1,397,990 円

3 非常勤職員公務災害補償保険

議会の議員、各種委員、事務の臨時職員を対象として公務上の災害を補償する保険

○役務費

・非常勤職員公務災害補償保険 214,200 円

4 弁護士相談事業

町民の方のための法律相談事業、町が抱える訴訟に係る弁護士費用及び町の懸案事項などを弁護士に相談する法務支援事業

(1) 法律相談

毎月第4水曜日にいきいきセンターにおいて開催 相談件数 33件

○委託料

・弁護士 259,200 円

(2) 法務支援業務

町が懸案事項などを弁護士に相談する業務 相談件数 6件

○委託料

・ 弁護士 388,800 円

(3) 弁護士費用（訴訟関係）

町が提訴した上下水道管損傷に関する損害賠償請求訴訟に係る和解報酬及び実費弁償

○委託料

・ 弁護士 775,060 円

10 目 財政調整基金積立金

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
66,733,000 円	－円	－円	－円	66,732,965 円	35 円

安全性と有利性に重点をおいて基金の運用を行うとともに、翌年度以降の健全な財政運営を行うため、財政調整基金に積立を行いました。

1 財政調整基金積立金

(1) 積立金

項目	積立額	備考
利子積立金	60,804,000 円	国債等の運用による利子分
特定財源積立金	5,929,000 円	訴訟に関する和解金の一部
計	66,733,000 円	

(2) 現在高

前年度現在高	積立額	取崩額	年度末現在高
9,809,649,000 円	288,733,000 円	308,964,000 円	9,789,418,000 円

※積立額には、平成 29 年度歳計剰余金（222,000,000 円）が含まれています。

歳計剰余金は、地方財政法第 7 条第 1 項の規定に基づくもの。

2 項 徴税费

1 目 税務総務費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
82,161,315 円	－円	25,223,190 円	－円	851,000 円	56,087,125 円

税務課職員の人件費、事務費など税務行政の事務に要する費用が主なものです。

なお、還付加算金は、税額更正等に伴う過年度分の過誤納金を還付するものであり、法人町民税、固定資産税等の還付を要しました。

1 税務総務給与費

(1) 一般職給与費（事務職員 7 人） 62,460,256 円  
（給料、職員手当、共済費）

2 税務一般事務費

- (1) 嘱託職員等人件費・・・・・・・・・・・・ 3,159,330 円
  - ・臨時職員賃金（2人） 547,215 円
  - ・嘱託職員賃金等（1人） 1,012,113 円
  - ・人材派遣会社委託費（1人） 1,600,002 円

## 2目 賦課徴収費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
38,701,716 円	－円	－円	－円	247,330 円	38,454,386 円

賦課徴収事務に関する事務用品、印刷製本費等に係る事務費、電算事務、土地及び家屋の異動通知スキヤニング業務、固定資産評価業務等に係る委託に要する費用が主なものです。

### 1 賦課徴収事務費

#### (1) 税務電算システム処理費

町税を適正に賦課し、徴収するために町税システムにより処理を行いました。

##### ○委託料

- ・電算処理業務 11,919,523 円  
町県民税、固定資産税、償却資産税、軽自動車税、コンビニ収納等システム処理費

#### (2) 住民税賦課事務費・・・・・・・・・・・・ 2,569,536 円

住民税支援システムにより、適正かつ効率的に住民税の賦課業務等を行いました。

##### ○委託料

- ・住民税支援システム保守業務 1,274,400 円

##### ○使用料及び賃借料

- ・住民税支援システム賃借料 719,280 円
- ・住民税支援システム使用料 575,856 円

#### (3) 固定資産税評価業務費・・・・・・・・・・・・ 14,848,920 円

土地家屋に係る固定資産税を適正に賦課管理するため、固定資産の評価業務等を行いました。

##### ○委託料

- ・固定資産評価業務 4,246,560 円
- ・鑑定評価 666,360 円
- ・地番図等修正管理業務 7,205,760 円
- ・土地家屋台帳管理システム 2,730,240 円  
移動通知のスキヤニング業務（電子化）

#### (4) 滞納整理事務費・・・・・・・・・・・・ 4,105,343 円

滞納整理システムにより、滞納整理事務を円滑かつ適正に行いました。

##### ○委託料

- ・滞納整理システム保守 636,855 円

##### ○使用料及び賃借料

- ・滞納整理システム使用料 295,488 円

##### ○負担金、補助及び交付金

- ・三重地方税管理回収機構 3,173,000 円

【三重地方税管理回収機構への町税等徴収権の移管】

	移管件数	移管額	徴収総額(うち督促手数料及び延滞金)
第1課	11	5,750,492円	3,019,694円(125,650円)
第2課	139	18,315,227円	17,343,003円(1,907,600円)
合計	150	24,065,719円	20,362,697円(2,033,250円)

〈徴収関係〉

①不納欠損処分

平成30年度は、期別件数144件、税額1,834,921円の不納欠損処分を行いました。

内訳は、個人町県民税50件、税額1,033,000円(うち町民税分619,326円)、法人町民税3件、税額145,800円、固定資産税32件、税額370,521円、軽自動車税59件、税額285,600円であります。

②町税等コンビニ収納導入事業

納税者の利便性を図るため、コンビニエンスストアで町税等が納付できる環境整備を行いました。

【コンビニ収納利用状況】

個人町県民税	固定資産税	軽自動車税	合計額	総件数
40,873,620円	23,668,100円	10,934,100円	75,475,820円	3,690

### 3項 戸籍住民登録費

#### 1目 戸籍住民登録費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
82,690,537円	6,481,000円	21,285円	－円	4,462,300円	71,725,952円

戸籍は、本籍人の親族的身分関係及び日本国籍を登録・公証する唯一の制度であり、また、住民基本台帳は、住民の居住関係を登録・公証するとともに、行政の各種事務処理の基礎となる制度であります。戸籍・住民基本台帳制度を適正・正確かつ円滑に実施するための費用で、戸籍住民登録事務職員の人件費、事務費及びシステム管理・運営費などが主なものです。

#### 1 戸籍住民登録給与費

(1) 一般職給与費(事務職員7人) 49,400,120円  
(給料、職員手当、共済費)

#### 2 戸籍住民登録一般事務費

戸籍、住民基本台帳事務等の各種業務の事務処理を行いました。

(1) 嘱託職員及び臨時職員賃金(嘱託職員3人、臨時職員1人) 9,489,436円  
(賃金、共済費)

【住民基本台帳による人口】(平成31年3月31日現在)

区分	日本人	外国人	計
人口	14,521人(△38人)	512人(55人)	15,033人(17人)
世帯数※	6,184世帯(82世帯)	402世帯(56世帯)	6,586世帯(138世帯)

※( )内は対前年度との比較の増減数



※日本人世帯数は日本人のみで構成される世帯の合計数、外国人世帯数は外国人を含み構成される世帯の合計数

【住民異動事由別の人数】

区分	項目	人数	項目	人数	増減
社会動態	転入者等	1,043人	転出者等	1,067人	24人の社会減
自然動態	出生者	172人	死亡者	131人	41人の自然増

【戸籍住民基本台帳の証明書等交付件数】（窓口等庁舎分）

区 分	件 数	手 数 料
戸籍全部・個人事項証明書	2,002件	900,900円
除籍・改正原戸籍謄抄本等	1,017件	762,750円
戸籍の附票・その他証明	413件	90,400円
住民票の写し等	8,076件	1,615,200円
印鑑登録証明書等	4,891件	978,200円
通知カード・個人番号カード再交付	141件	72,000円
合 計	16,540件	4,419,450円

(3) 住民基本台帳ネットワークシステム運営管理費・・・・・・・・・・・・ 2,793,691円

住民基本台帳を全国規模でネットワーク化し、本人確認情報の提供や市区町村の区域を超えた住民基本台帳に関する事務処理を行うためのシステムで、個人番号カードの交付関係、住民票の写しの広域交付、個人番号カード等による転入届の特例等の事務処理において、適切な管理運営を行いました。

○委託料

- ・事務委託（住民基本台帳ネットワークシステム） 2,272,699円
- ・住民基本台帳ネットワークシステム及び機器保守 520,992円

【住民基本台帳ネットワークシステム事務処理件数】

項 目		件 数
個人番号カード等による特例 転出入	特例転入	91件
	特例転出	100件
住民票広域交付	自町分交付	19件
	他市区町村からの交付申請	23件

(4) 戸籍登録システム運営管理費・・・・・・・・・・・・ 5,479,488円

本籍在籍者の戸籍、除籍・改正原戸籍及び附票の電算管理、戸籍届出に伴う受理及び記載、戸籍謄抄本の発行等戸籍に関する事務を電算で一括管理し、適正かつ安定的な運営を行いました。

○委託料

- ・戸籍登録システム及び機器保守 1,477,440円

○使用料及び賃借料

- ・戸籍登録システム機器 2,796,768円
- ・戸籍登録システム 1,205,280円

【戸籍事件表】

項 目	件 数	備 考
本 籍 人 口 数	12,025 人	平成 31 年 3 月 31 日現在
戸 籍 届 出 総 数	763 件	自平成 30 年 4 月 1 日 至平成 31 年 3 月 31 日
新 戸 籍 編 成 数	111 件	
戸 籍 全 部 消 除 数	110 件	

(5) 住民票等自動交付機運営管理費・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,344,600 円

夜間・休日においても住民票の写し、印鑑登録証明書等の発行を行う自動交付機について、適正な管理・運営を行いました。なお、個人番号カードを利用したコンビニ交付サービスの開始に伴い、平成 30 年 9 月末日をもって自動交付機を廃止しました。

○委託料

・自動交付機保守 845,640 円

○使用料及び賃借料

・自動交付機使用料 498,960 円

(6) 社会保障・税番号制度推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 6,022,755 円

社会保障・税番号制度を推進するため、通知カード及び個人番号カードの交付や制度改正に伴うシステム変更等の必要な事務を行いました。

○委託料

・社会保障・税番号制度システム整備事務 4,788,251 円

・個人番号カード等裏面プリントシステム保守 63,504 円

○負担金、補助及び交付金

・通知カード・個人番号カード関連事務交付金 1,171,000 円

【個人番号カード交付状況】

項 目	件 数	備 考
交 付 数	235 件	平成 30 年度中
累 計 交 付 数	1,598 件	平成 31 年 3 月 31 日現在
交 付 率	10.63%	対平成 31 年 3 月 31 日現在人口 (15,033 人)

(7) 各種証明書コンビニ交付サービス事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 6,634,255 円

平成 30 年 4 月から開始した、個人番号カードを利用した各種証明書のコンビニ交付サービスの円滑な運用のため、システムの管理・運営等を行いました。

○役務費

・コンビニ交付実店舗試験手数料 1,150 円

・コンビニ交付に係る委託手数料 23,345 円

○委託料

・コンビニ交付システム保守 2,255,040 円

○使用料及び賃借料

・コンビニ交付システム使用料 3,654,720 円

○負担金、補助及び交付金

・コンビニ交付に係る運営負担金 700,000 円

【コンビニ交付件数】(平成 30 年度中)

区 分	件 数	手 数 料
住 民 票 の 写 し 等	92 件	18,400 円

印鑑登録証明書	100件	20,000円
戸籍全部・個人事項証明書等	11件	4,450円
合計	203件	42,850円

#### 4項 企画費

##### 1目 企画総務費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
159,613,092円	－円	－円	－円	31,293,410円	128,319,682円

企画情報課職員の人件費、一般事務費、行政情報システム運用経費及び都市計画関係支出額などのまちづくり全般に要する費用が主なものです。

##### 1 企画総務給与費

○給料、職員手当、共済費（事務職員5人） 47,527,437円

##### 2 まちづくり関係事業

平成28年3月に策定したまちづくりの方向性を示す「第6次川越町総合計画後期基本計画」及び若い世代が定住したいと思う魅力的なまちづくりを進めるための施策を重点的に示した「川越町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗管理を行いました。

また、「友好交流都市協定」を締結（平成29年8月）している新潟県聖籠町を訪問し、各分野において、意見交換し交流を深めました。

(1) 新潟県聖籠町交流事業・・・・・・・・・・・・ 429,988円

##### ○旅費

- ・普通旅費（日当） 34,000円
- ・特別旅費（聖籠町表敬訪問(町長)） 125,768円
- （聖籠町視察研修(町職員)） 270,220円

(2) 男女共同参画社会推進事業・・・・・・・・・・・・ 377,830円

男女共同参画社会推進の意識啓発を図るため、石川県金沢市で開催された日本女性会議に参加するとともに、男女共同参画講座を開催しました。また、「三重県内男女共同参画連携映画祭」に参画し、アイリスかわごえ、朝日町及びアイリスあさひとの協働により、映画を通じた男女共同参画の視点について啓発を行いました。

##### ○報償費

- ・講師謝礼（2回開催） 30,000円

##### ○旅費

- ・普通旅費（日当） 4,400円
- ・特別旅費（日本女性会議（石川県金沢市）） 89,934円（10月12日・13日 町民2名参加）

##### ○需用費

- ・消耗品費（色画用紙等） 6,062円

##### ○委託料

- ・男女共同参画推進事業 215,934円

##### ○負担金、補助及び交付金

- ・日本女性会議大会参加費 31,500円

<男女共同参画実施事業>

事業名	参加者	場所
男女共同参画連携映画祭(6月10日開催) 『湯を沸かすほどの熱い愛』	510名	あいあいホール
『DVって知ってますか?』(12月8日開催)	21名	役場大会議室
『ヘルプマークとは?』(2月13日開催)	25名	役場大会議室

3 行政情報システム関係事業

住民サービスの向上及び業務の効率化を図るため、総合行政情報システム、公共施設・総合行政ネットワーク及び社会保障・税番号制度システムの運用管理を行うとともに、情報セキュリティ対策を行いました。

(1) 総合行政情報システム運用管理・・・・・・・・・・・・ 68,503,210円

○役務費

・総合行政情報システム専用回線料 45,768円

○委託料

・第5次総合行政情報システムシステムサポート 13,452,480円  
 ・第5次総合行政情報システムシステム保守・機器保守 5,714,194円  
 ・無停電電源装置機器保守 324,000円  
 ・改元に伴う各種システム対応業務 3,220,560円  
 ・既存サーバデータ消去業務 810,000円

○使用料及び賃借料

・第5次総合行政情報システム及び機器リース 26,444,880円  
 ・庁内端末機器リース 8,343,648円  
 ・第5次総合行政情報システム使用料 10,147,680円

(2) 公共施設・総合行政ネットワーク運用管理・・・・・・・・・・・・ 6,648,393円

○役務費

・公共施設ネットワーク・LGWAN専用回線料 2,851,200円

○委託料

・川越町庁舎ネットワーク機器保守 3,540,585円  
 ・LGWANサポート業務 194,400円

○使用料及び賃借料

・LGWAN接続ルーター賃借料 62,208円

(3) 社会保障・税番号制度システム運用管理・・・・・・・・・・・・ 3,805,520円

○委託料

・番号連携サーバシステムサポート保守 1,775,520円

○負担金、補助及び交付金

・自治体中間サーバ・プラットフォームASPサービス交付金 2,030,000円

(4) 情報セキュリティ対策事業・・・・・・・・・・・・ 1,570,893円

○委託料

・コンピュータウィルス対策システムシステムサポート 712,800円  
 ・コンピュータウィルス対策システム保守 568,036円

○負担金、補助及び交付金

・三重県自治体情報セキュリティクラウド利用負担金 290,057円

4 都市計画関係事業

(1) 都市計画基礎調査事業

都市計画法に基づく基礎調査で、都市計画区域における現況の把握ため、土地利用現況、未利用地現況、農地現況、公有水面埋立地状況を調査しました。

○委託料

- ・都市計画基礎調査業務 1,944,000円

(2) 緑の現況調査事業

広域四日市圏で策定した「四日市広域緑の基本計画」を点検・評価するため、目標水準に対する現況、緑の量、施策等の状況を調査しました。

○委託料

- ・緑の現況調査業務 972,000円

5 情報公開及び個人情報保護関係事務

町政に対する町民の理解と信頼を深め、開かれた町政を推進するため情報公開を行い、また町が収集する個人情報の適正な保護・管理に努めました。平成30年度中の公文書・個人情報の開示処理状況は、次のとおり。

○需用費

- ・消耗品費（書籍代） 32,400円

<公文書開示請求処理件数>

区分	開示	部分開示	非開示	不存在	合計
件数	6	14	0	0	20

<個人情報開示請求処理件数>

区分	開示	部分開示	非開示	不存在	合計
件数	0	0	0	0	0

5項 選挙費

1目 選挙管理委員会費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
511,194円	－円	856円	－円	－円	510,338円

選挙管理委員会は、選挙人名簿の定時登録や各選挙の管理執行を行う機関で、選挙人名簿の登録や議案の審議のほか、他の自治体における選挙執行事務についての研修に要する費用が主なものです。

1 選挙管理委員会

- (1) 選挙管理委員会開催経費・・・・・・・・・・・・ 314,106円

選挙人名簿の定時登録や平成31年4月6日に執行された三重県知事選挙に係る議案等を審議しました。

○報酬

- ・選挙管理委員会委員 4人（任期4年：令和2年10月31日） 288,000円

○職員手当等

- ・事務局職員1名時間外勤務手当 26,106円

【選挙管理委員会開催状況】

開催日	出席 委員数	審議案件等	審議結果
5月28日	4人	選挙人名簿から抹消すべき者の決定について他2件	全案議決
8月28日	4人	選挙人名簿から抹消すべき者の決定について他1件	全案議決
9月13日	4人	裁判員候補者の予定者の選定について他1件	全案議決
12月3日	4人	選挙人名簿から抹消すべき者の決定について他2件	全案議決
3月1日	4人	選挙人名簿から抹消すべき者の決定について他22件	全案議決
3月14日	4人	選挙人名簿から抹消すべき者の決定について他5件	全案議決
3月21日	4人	投票記載所の氏名等の掲示の順序のくじについて	全案議決
3月26日	4人	選挙人名簿から抹消すべき者の決定について他2件	全案議決
3月29日	4人	投票記載所の氏名等の掲示の順序のくじについて	全案議決

【選挙人名簿登録者数】

登録日	種別	男	女	合計
平成30年6月1日	定時登録	6,003人	5,862人	11,865人
平成30年9月1日	定時登録	6,029人	5,878人	11,907人
平成30年12月3日	定時登録	6,004人	5,868人	11,872人
平成31年3月1日	定時登録	6,026人	5,877人	11,903人
平成31年3月20日	選挙時登録	6,029人	5,874人	11,903人
平成31年3月28日	選挙時登録	6,032人	5,872人	11,904人

(2) 視察研修・・・・・・・・・・・・ 170,088円

委員及び職員の資質向上を図ることを目的に、他の自治体の選挙事務の執行管理について視察研修を行いました。

○旅費

- ・費用弁償 24,000円
- ・普通旅費 8,800円
- ・特別旅費 137,288円

日程	出席者	研修先	研修内容
10月18日・19日	選挙管理委員会委員4人、事務局職員2人	長野県小諸市 選挙管理委員会	開票事務の進め方及び効率化について等

(3) 裁判員等候補予定者選定事務

裁判員の参加する刑事裁判に関する法律に基づき、24人の裁判員候補予定者を選定するとともに、検察審査会法に基づき、11人の検察審査員候補者を選定しました。

○委託料

- ・名簿調製支援プログラム外字変換作業等 16,200円

2目 選挙啓発費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,600円	－円	－円	－円	－円	2,600円

選挙啓発費は、選挙制度の理解と選挙啓発の推進に要する費用です。

1 選挙啓発

- (1) 三重県明るい選挙推進連合会平成30年度総会及び市町推協会長等研修会・・・ 2,600円  
若年層をはじめとする有権者に対する選挙啓発の先進的な事例に関する研修に参加しました。

○旅費

- ・費用弁償 1,500円
- ・普通旅費 1,100円

日程	出席者	研修内容
5月30日	明るい選挙推進協議会会長1人 事務局職員1人	講演 これからの常時啓発のあり方について

- (2) 三重県明るい選挙推進連合会三泗支会指導者研修

今後の明るい選挙推進運動に役立てていくことを目的に、川越町明るい選挙推進協議会委員が指導者研修に参加しました。

日程	出席者	開催場所	研修内容
10月11日	明るい選挙推進協議会委員3人 事務局職員1人	四日市市文化会館	講演 若者に対する効果的な啓発について

3目 県知事選挙費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,290,321円	－円	2,456,939円	－円	－円	833,382円

平成31年4月7日に執行されました三重県知事選挙の執行に要する平成30年度分の費用です。

1 三重県知事選挙

- (1) 一般的事項

- ① 選挙事由 任期満了による。
- ② 告示日 平成31年3月21日(木)
- ③ 選挙期日 平成31年4月7日(日)

- (2) 主な執行費用

- ① 投票所経費 56,700円

区分	支出額	事業の概要
役務費	56,700円	手数料(自動交付機調整 7台)

- ② 期日前投票所経費 663,258円

区分	支出額	事業の概要
報酬	180,500円	期日前投票立会人 19人
職員手当等	276,840円	期日前投票事務 のべ19人
需用費	38,000円	食糧費(期日前投票立会人弁当 38,000円)
委託料	167,918円	期日前投票事務人材派遣 167,918円

- ③ 開票所経費 279,720円

区分	支出額	事業の概要
----	-----	-------

役務費	279,720円	手数料（計数機等調整 11 台）
-----	----------	------------------

④ その他選挙執行経費 2,290,643円

区 分	支出額	事業の概要
職員手当等	651,593円	選挙管理事務 8 人
報償費	9,970円	報償金（ポスター掲示場借り上げ謝礼）
旅 費	3,300円	事務担当者会議出席
需用費	102,501円	・消耗品費（事務用品等 92,501円） ・印刷製本費（候補者等氏名掲示 10,000円）
役務費	343,410円	通信運搬費（入場券発送郵送料等）
委託料	1,179,869円	・入場券作成 581,715円 ・ポスター掲示場設置管理 598,154円

4目 県議会議員選挙費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,360,408円	－円	1,141,685円	－円	－円	218,723円

平成 31 年 4 月 7 日に執行されました三重県議会議員選挙の執行に要する平成 30 年度分の費用です。

1 三重県議会議員選挙

(1) 一般的事項

- ① 選挙事由 任期満了による。
- ② 告示日 平成 31 年 3 月 29 日（金）
- ③ 選挙期日 平成 31 年 4 月 7 日（日）

(2) 主な執行費用 1,360,408円

区 分	支出額	事業の概要
職員手当等	560,618円	選挙管理事務 5 人
需用費	150,036円	・消耗品費（事務用品等 140,036円） ・印刷製本費（候補者等氏名掲示 10,000円）
役務費	50,000円	通信運搬費（切手代）
委託料	598,154円	ポスター掲示場設置管理 598,154円
使用料及び賃借料	1,600円	個人演説会使用料 1,600円

5目 町議会議員選挙費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
374,623円	－円	－円	－円	－円	374,623円

平成 31 年 4 月 21 日に執行されました川越町議会議員選挙の執行に要する平成 30 年度分の費用です。

1 川越町議会議員選挙

(1) 一般的事項

- ① 選挙事由 任期満了による。
- ② 告示日 平成 31 年 4 月 16 日（火）



③ 選挙期日 平成31年4月21日(日)

(2) 主な執行費用 374,623円

区分	支出額	事業の概要
需用費	374,623円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費(候補者表示物等 252,475円)</li> <li>・印刷製本費(投票用紙等印刷 122,148円)</li> </ul>

## 6項 統計調査費

### 1目 統計調査総務費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
112,103円	－円	12,000円	－円	－円	100,103円

各種統計調査を行う登録統計調査員及び統計関連業務に要する費用が主なものです。

#### 1 統計調査員費

○報償費

・登録統計調査員(9人) 99,000円

#### 2目 指定統計費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
746,746円	－円	737,864円	－円	－円	8,882円

国や三重県から委託を受け、漁業センサス、住宅・土地統計調査、その他毎年継続している工業統計調査、学校基本調査、人口推計調査を実施しました。各種統計調査は、国、県又は町の施策を決定する上での基礎資料として、多岐の分野における現状を把握するために実施しました。また、次年度以降の統計調査に向け、準備作業を行いました。

#### 1 各種統計調査費

(1) 工業統計調査・・・・・・・・・・・・ 200,121円

行政施策の基礎資料として、町内事業所の従業員数、資本金額等について調査しました。

○報酬

・調査員(6人) 181,398円

○需用費

・消耗品費(事務用品等) 13,583円

・食糧費(お茶) 600円

○役務費

・通信運搬費(郵送料) 4,540円

(2) 学校基本調査

学校教育行政上の基礎資料として、学校数、学級数、在学者数等の学校に関する基本的事項を調査しました。

○需用費

・消耗品費(事務用品等) 4,045円

(3) 人口推計調査

毎月の出生・死亡・転入・転出等を調査しました。

○需用費

・ 消耗品費（事務用品等） 40,044 円

(4) 漁業センサス・・・・・・・・・・・・ 66,864 円

水産行政施策の基礎資料として、漁業種類、経営状況、就業状況等について調査しました。

○報酬

・ 調査員（2人） 12,920 円

○職員手当等

・ 時間外勤務手当 17,324 円

○旅費

・ 普通旅費（会議） 2,690 円

○需用費

・ 消耗品費（事務用品等） 27,870 円

○役務費

・ 通信運搬費（郵送料） 6,060 円

(5) 住宅・土地統計調査・・・・・・・・・・・・ 396,243 円

住生活関連諸施策の基礎資料として、住戸に関する実態及び土地の保有状況等を調査しました。

○報酬

・ 調査員（5人） 287,500 円

・ 指導員（1人） 26,590 円

○職員手当等

・ 時間外勤務手当 31,007 円

○旅費

・ 普通旅費（会議） 1,100 円

○需用費

・ 消耗品費（事務用品等） 34,066 円

・ 食糧費（お茶） 600 円

○役務費

・ 通信運搬費（郵送料） 15,380 円

(6) 農林業センサス・・・・・・・・・・・・ 3,040 円

2020年農林業センサス調査向け農業集落の区域の認定及び調査区(20区)の設定を行いました。

○需用費

・ 消耗品費（事務用品等） 2,040 円

○役務費

・ 通信運搬費（郵送料） 1,000 円

(7) 経済センサス調査区設定

2019年経済センサス基礎調査向け調査区(14区)の設定を行いました。

○需用費

・ 消耗品費（事務用品等） 9,244 円

(8) 経済センサス基礎準備・・・・・・・・・・・・ 21,144 円

2019年経済センサス基礎調査向け基礎準備を行いました。

○需用費

・ 消耗品費（事務用品等） 19,644 円

○役務費

・通信運搬費（郵送料） 1,500 円

## 7 項 監査委員費

### 1 目 監査委員費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
609,791円	－円	－円	－円	－円	609,791円

地方自治法の規定に基づき、定期監査を平成 31 年 1 月 28 日から 2 日間にわたり、小学校及び中学校における施設の管理運営状況や、工事の進捗等について適正に処理されているか監査を実施したほか、例月現金出納検査（保管）及び決算審査を実施しました。

### 1 監査委員会費

#### (1) 監査委員活動費

##### ○報酬

- ・監査委員 2 人 396,000 円
- 例月出納検査 毎月
- 水道決算審査 1 回 1 日間（平成 30 年 5 月 31 日）
- 決算審査 1 回 3 日間（平成 30 年 7 月 27 日・30 日・31 日）
- 定期監査 1 回 2 日間（平成 31 年 1 月 28 日・29 日）

#### (2) 研修・・・・・・・・・・・・ 153,791 円

監査（審査）及び検査の執行状況について、研修を行いました。

##### ○旅費

- ・費用弁償 18,000 円
- ・普通旅費 13,200 円
- ・特別旅費 122,591 円

項目	日程	研修先
三重郡監査委員連絡協議会 視察研修	7 月 2 日・3 日	内灘町（石川県）
監査委員視察研修	11 月 13 日・14 日	高浜町（福井県）

#### 【監査、審査及び検査の実施状況】

- ◎ 現金出納検査（一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、公共下水道事業特別会計及び水道事業会計）
- ◎ 定期監査
- ◎ 基金運用状況審査（財政調整基金、物品調達基金、減債基金、ふるさと創生事業基金、国民健康保険事業財政調整基金、国民健康保険高額療養費貸付基金、介護保険介護給付費準備基金、介護保険高額介護サービス費等貸付基金、ふるさと・水と土保全基金、安全なまちづくり基金、いきいきまちづくり基金、公共建築物維持基金、公共施設建設基金、公営住宅建設基金、土地開発基金、環境整備事業基金、電源立地促進対策事業維持基金、教育文化振興基金、交通安全対策事業基金、ふるさと応援基金及び大きく羽ばたけ基金）
- ◎ 決算審査（一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、公共下水道事業特別会計及び水道事業会計）
- ◎ 財政健全化審査（一般会計）
- ◎ 経営健全化審査（公共下水道事業特別会計及び水道事業会計）

### 3 款 民 生 費

#### 1 項 社会福祉費

##### 1 目 社会福祉総務費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
627,281,052 円	135,438,564 円	106,588,670 円	－円	17,121,400 円	368,132,418 円

住み慣れた地域で、安心して暮らすことができるように社会福祉や障害福祉の分野において、社会生活の保障に要する費用が主なものです。

##### 1 社会福祉総務給与費等

(1) 一般職給与費（事務職員 8 人、保健師 1 人、保育士 1 人）・・・・・・・・・・ 87,876,633 円  
（給料、職員手当、共済費）

(2) 嘱託職員及び臨時職員賃金等・・・・・・・・・・ 3,490,430 円

※嘱託職員（1 人） 2,935,620 円（賃金・共済費）

※臨時職員（事務員 1 人） 554,810 円（賃金）

##### 2 社会福祉総務費

##### (1) 福祉団体等補助金

社会福祉活動の拠点である町社会福祉協議会の円滑な運営と地域福祉活動の充実を図るとともに、ボランティア活動の促進及び住民ニーズに対応する事業推進を目的として、補助金を交付しました。

##### ○負担金、補助及び交付金

・町社会福祉協議会 30,429,658 円

町社会福祉協議会が実施した子育て世代の親子のコミュニティ形成を目的としたイベントにおいては、イベントの企画・立案段階から事業の実施まで、子育て中の方々に参画していただき今後の活動へと繋げていけるよう努めました。

イベント名	開催回数	参加人数	事業費(再掲)
ハピママ講座	3 回	41 人	641,434 円
Happy share party	2 回	302 人	
出張カフェ	3 回	22 人	

(2) ふれあいバス運行事業費・・・・・・・・・・ 27,330,037 円

地域住民の交通手段を確保するため、マイクロバス 2 台を三重交通㈱に委託し運行しました。また、いきいき号の老朽化に伴い、車両 1 台の買い替えを行いました。

##### ○需用費

・消耗品費 21,600 円

・印刷製本費 81,648 円

・修繕料 399,589 円

##### ○委託料

・ふれあいバス運行事業 16,912,800 円

事業名	事業概要
ふれあいバス運行事業	年間利用者数 25,665 人 (北コース：14,340 人 南コース：11,325 人)

##### ○備品購入費

・ふれあいバス購入費 9,914,400円

(3) 戦没者追悼事業

先の大戦において、戦没された方に対して、追悼の誠を捧げ、平和の祈念と戦争の悲惨な思いを風化させないため、10月20日に戦没者追悼式を行いました。

○委託料

・戦没者追悼式 500,000円

事業名	参加人数
戦没者追悼式	約200人

(4) 非核平和都市宣言事業

○旅費

・特別旅費 118,945円

日程	参加者	研修先
8月1日	川越北小学校6年生3人 町民代表1人、事務局1人	広島県広島市原爆資料館ほか

(5) 福祉医療費助成共通事務費・・・・・・・・・・ 4,371,868円

○需用費

・印刷製本費 261,144円

○役務費

・福祉医療費助成事務費共同処理手数料 1,848,284円

・福祉医療費助成証明書料 957,800円

○委託料

・福祉医療費システム 1,304,640円

(6) 亀須新田墓地用地購入事業

亀須新田墓地に隣接し、以前から駐輪場所などとして利用されてきた用地を、墓地関連施設として購入する事業で、購入価格の算定のために不動産鑑定を行いました。

○役務費

・土地鑑定料 140,400円

3 障害者（児）福祉経費及び各種サービス事業費

(1) 障害程度区分認定経費・・・・・・・・・・ 399,920円

○役務費

・医師意見書作成料 105,920円（育成医療7件、障害自立支援18件）

○負担金、補助及び交付金

・三重郡障害者介護給付費等支給審査会（12回開催、19件判定）294,000円

(2) 心身障害者くろがね作業所運営事業

町が設置する心身障害者くろがね作業所の管理運営を町社会福祉協議会に委託し、就労継続支援B型事業所として障害者の社会参加及び経済的自立の支援を行いました。

○委託料

事業名	事業費	事業概要
心身障害者 くろがね作業所	8,547,046円	自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに生産活動等の活動機会の提供を通じて、知識能力向上のために必要な支援を行いました。通所者は6人。

(3) 障害者就労環境整備事業計画策定事業・・・・・・・・・・・・ 580,200 円

障害のある人の就労機会の拡大などの課題に対し新たな就労の場の創設を目指すため、障害者就労環境整備事業計画の策定を進めました。

○報償費

・障害者就労環境整備事業計画策定委員 9人(3回開催) 105,000 円

○委託料

・障害者就労環境整備事業計画策定 475,200 円

(4) 心身障害者(児)理髪等福祉サービス事業

障害のある方に、理髪・寝具洗濯の給付サービスを提供しました。

○負担金、補助及び交付金

・心身障害者理髪等福祉サービス事業(理髪・寝具洗濯分) 145,904 円 利用人数:22人

(5) 障害者年金支給事業

年金給与条例に基づき、障害年金を支給しました。

○扶助費

事業名	事業費	支給人数	事業概要
心身障害者年金	2,084,000 円	238 人	・身体障害者手帳 1・2級 10,000 円 ・身体障害者手帳 3級 6,000 円
	642,000 円	85 人	・療育手帳 A1、A2 10,000 円 ・療育手帳 B1、B2 6,000 円
	318,000 円	51 人	・精神障害者保健福祉手帳 1級 10,000 円 ・精神障害者保健福祉手帳 2級 6,000 円
計	3,044,000 円	374 人	

(6) 心身障害者医療費助成事業

心身の障害のある方の保健の向上を図るため、医療費一部を助成しました。

事業名	事業費	対象者数	事業概要
心身障害者医療費	47,809,477 円	4,590 人	・身体障害者手帳1級～4級の方 ・療育手帳B1以上の方 ・精神障害者手帳1級の方 助成額:医療保険適用となった自己負担額

(7) 障害者手帳交付診断書料助成事業

障害のある方が、身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳の交付を受けようとする際に添付が必要な診断書料の一部を助成しました。

○扶助費

・障害者手帳交付診断書料助成費(55件) 109,550 円

(8) 重度障害者タクシー料金助成事業

重度の障害のある方に、社会参加の促進及び通院等の日常生活における移動を支援するため、タクシー料金の一部を助成しました。

○扶助費

・重度障害者タクシー料金助成費(103人) 736,350 円

(9) 重度身体障害者自動車燃料費用助成事業

重度の障害のある方又は介護する方が運転する自動車の燃料費の一部を助成しました。

○扶助費

- ・ 重度身体障害者自動車燃料費用助成費（165人） 4,897,554円

(10) 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業

小児慢性特定疾患のある児童が、安心して生活できるように日常生活の便宜を図るため、日常生活用具を給付しました。

○扶助費

- ・ 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付費（給付用具：1件） 32,400円

4 障害者自立支援事業費

(1) 地域生活支援事業

障害のある方が、地域社会の中で自立した生活を営むことができるように、地域生活支援事業に取り組みました。事業別の内容と実績は、次のとおり。

○委託料・負担金、補助及び交付金・扶助費

事業名	事業費	事業内容
移動支援事業	2,309,582円	障害者（児）の外出の際に円滑な移動を支援するため、実利用者及びのべ16人、845.5時間の利用がありました。
日中一時支援事業	7,873,201円	日中における活動の場を確保し、家族等の就労支援及び障害者（児）等を日常的に介護している家族の一時的な休息等の便宜を図るため、実利用者28人、のべ33人、1,252日の利用がありました。
三泗地域障害者相談支援事業	2,331,298円 （うち、基幹相談支援センター等機能強化事業分 2,097,182円）	地域で安心して自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行いました。 委託先： （医）居仁会「ソシオ」（精神障害） （福）四季の里「HANA」（精神障害） （福）四日市福祉会「ブルーム」（知的障害） （福）聖母の家「陽だまり」（知的障害） （福）四日市市社会福祉協議会「かがやき」（身体障害）
手話通訳者要約筆記奉仕員派遣事業	104,923円	障害者等とその他の者の意思疎通を仲介する手話通訳者等の派遣運營業務（頸肩腕検診の実施等）を行いました。 派遣回数：0回
心身障害者（児）理髪等福祉サービス事業（オムツ分）	572,712円	心身障害者（児）や介護者の支援を図るためオムツの給付を行いました。 利用人数：12人
重度障害児（者）日常生活用具給付事業	1,596,861円	日常生活を便利にし、又は容易にするため157件の日常生活用具を給付しました。 給付した日常生活用具：ストマ用装具、特殊寝台等
計	14,788,577円	うち国・県補助対象分14,554,461円

(2) 障害者（児）補装具給付事業

障害者（児）が日常生活を送る上で必要な移動等の確保や、就労場面における能率の向上を図るため、身体機能を補完・代替する用具の交付や修理を行いました。

○扶助費

事業名	事業費	事業概要
補装具費	1,237,587円	身体機能を補完し、かつ、長期間に渡り継続して使用する補聴器、車いす等の補装具を支給しました。支給件数：13件

(3) 自立支援医療給付事業

身体障害者の障害を除去・軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できるものに対して提供される必要な自立支援医療費を支給しました。支給内容は、次のとおり。

○扶助費

事業名	事業費	事業概要
更生医療給付費	5,647,390 円	疾病等による身体的損傷に対して医療がなされ、治癒又は不完全治癒した障害者を対象に日常生活・社会生活能力の回復や向上させるために必要な医療費の支給を行いました。支給人数: 6 人
育成医療給付費	511,959 円	将来障害を残すと認められる疾患があるため、その身体障害を除去・軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる障害児に対して、生活の能力を得るために必要な医療費の支給を行いました。支給人数: 7 人
療養介護医療給付費	1,661,762 円	療養介護において医療に関わるものについて支給を行いました。支給人数: 2 人
計	7,821,111 円	

(4) 障害者自立支援給付事業

障害のある方の自立と社会参加を推進することを目的として、日常生活及び社会生活を支援するため、自立支援給付費の支給を行いました。支給内容は、次のとおり。

○扶助費

①介護給付費

事業名	事業費	事業の概要
居宅介護 (ホームヘルプ)	14,392,878 円	自宅で入浴や排せつ、食事の介護等を行いました。利用人数: 11 人
療養介護	5,943,120 円	医療と常に介護が必要な人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護、日常生活の支援を行いました。利用人数: 2 人
生活介護	66,034,186 円	施設において、常に介護が必要な人に、昼間、入浴や排せつ、食事の介護等と創作的活動、生産活動の機会を提供しました。利用人数: 25 人
短期入所 (ショートステイ)	1,317,567 円	自宅で介護を行う人が病気などの場合、短期間、施設等で入浴や排せつ、食事の介護等を行いました。利用人数: 9 人
施設入所支援	9,853,745 円	施設に入所する人に、夜間、入浴や排せつ、食事の介護等を行いました。利用人数: 8 人
計	97,541,496 円	

②訓練等給付費

事業名	事業費	事業の概要
自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	903,075 円	自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練を行いました。利用人数: 2 人
就労移行支援	3,077,053 円	一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行いました。利用人数: 2 人



就労継続支援 (A型＝雇用型、B 型)	48,986,662円	就労が困難な人に、就労機会を提供し、就労に必要な知識や能力向上の必要な訓練を行いました。利用人数:38人
共同生活援助 (グループホーム)	57,535,356円	夜間、共同生活を行う住居で、入浴や排せつ、食事などの介護を行いました。利用人数:25人
計	110,502,146円	

### ③相談支援給付費

事業名	事業費	事業の概要
計画相談支援	2,811,856円	自立支援給付を利用する人に、サービス等利用計画書の作成を行いました。利用人数:74人

### ④高額障害福祉サービス費

事業名	事業費	事業の概要
高額障害福祉サービス費	82,438円	同一世帯に障害福祉サービス等を利用する人が複数いる世帯に対し、負担を軽減するため、世帯における利用者負担が基準を超えた額に対し高額障害福祉サービス費を支給しました。 内訳：障害福祉サービス等給付費 1件 20,182円 障害児通所給付費 4件 61,109円 地域生活支援事業 1件 1,147円

### (5) 障害児給付事業

障害のある児童に対して、集団生活への適応訓練や治療、社会との交流の促進や活動場所を提供するため、各種サービスを支給しました。支給内容は、次のとおり。

#### ○扶助費

事業名	事業費	事業概要
児童発達支援	484,100円	障害のある未就学児を対象に、専門的な療育及び通所訓練などを行いました。利用人数:4人
放課後等デイサービス	26,173,978円	主に、小学生以上から高校生までの学校に通っている障害児が学校の帰りや学校の休日、夏休みなどの長期休暇に利用する通所訓練施設です。利用人数:20人
障害児相談支援	389,933円	障害児通所給付を利用する人に、サービス等利用計画書の作成を行いました。利用人数:21人
計	27,048,011円	

## 5 子育て支援関係経費

### (1) 子ども・子育て支援事業計画策定事業

質の高い幼児期の教育・保育の提供、保育の量的確保、地域における子育て支援の充実を図るため、「第2期川越町子ども・子育て支援事業計画」を平成30年度から2か年かけて策定します。平成30年度は、ニーズ調査、基礎調査等を実施しました。

#### ○報酬

・子ども・子育て会議委員 15人（3回開催） 182,000円

#### ○委託料

・子ども・子育て支援事業計画 2,484,000円

### (2) 子育て短期支援事業

#### ○委託料

・短期入所生活支援事業（60件） 330,000円

(3) 臨床心理士及び相談員配置事業

子どもと家庭を取り巻く環境が変化中、児童相談も複雑多様化しています。福祉課子ども・家庭相談支援係に、臨床心理士、家庭児童相談員、保健師、保育士、助産師を配置し、福祉、教育、保健、医療等の関係機関と連携しながら、より専門的かつ継続的なソーシャルワーク業務を実施しました。

○共済費・賃金

・臨時職員（臨床心理士1人、相談員2人） 7,468,459円

【児童相談件数（新規のみ、実人員）】

相談種別	件数	主な内容
養護相談	20人	児童虐待など
障害相談	9人	発達障害など
育成相談	17人	性格行動・不登校など
計	46人	

6 葬祭費

葬祭費の負担を軽減するため、火葬場の使用料に対する補助金を交付しました。

○負担金、補助及び交付金

・葬祭費補助金（139件） 5,254,000円

7 国民健康保険特別会計への繰出金

国民健康保険特別会計へ国民健康保険の事業運営、診療所の運営に係る繰出金を支出しました。

○繰出金

区 分	支 出 額
国保特別会計事業勘定	15,498,000円
国保特別会計保険基盤安定繰出金	51,150,298円
国保特別会計出産育児一時金等繰出金	3,291,793円
国保特別会計財政安定化支援事業繰出金	1,246,000円
国保特別会計職員事務費等繰出金	12,319,000円
国保特別会計診療勘定繰出金	29,941,189円
計	113,446,280円

2目 国民年金費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,857,829円	4,559,498円	－円	－円	－円	5,298,331円

国民年金制度では、一部の事務について市町村が行うこととされており、被保険者の資格取得・喪失、種別変更等に伴う届出の受理、保険料の免除や学生納付特例の届出の受理等、国との協力・連携のもと実施しました。

1 国民年金給与費

(1) 一般職給与費（事務職員1人） 7,359,689円

（給料、職員手当、共済費）

## 2 国民年金費

(1) 国民年金システム改修事業・・・・・・・・・・・・ 2,461,320 円

### ○委託料

- ・届出様式統一化等システム改修 1,339,200 円
- ・産前産後免除制度開始システム改修 540,000 円
- ・年金生活者支援給付金対応システム改修 258,120 円
- ・学生納付特例申請様式の見直し対応システム改修 324,000 円

### 【資格取得等届件数】

種 別	件 数
資格取得届	414 件
資格喪失届	141 件
免除申請等届	219 件

## 3 目 老人福祉費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
314,860,929円	546,090円	16,576,116円	－円	1,457,700円	296,281,023円

高齢社会が進展する中、ひとり暮らし高齢世帯が増えるなど高齢者が安心して暮らせるよう、高齢者福祉施策を推進しました。

### 1 老人福祉事業費

(1) 敬老会事業・・・・・・・・・・・・ 3,011,674 円

長年社会に貢献してこられた高齢者に対して、その長寿をお祝いするため、9月17日にあいあいホールで敬老会を開催しました。

#### ○報償費

- ・演芸謝礼 300,000 円
- ・敬老会記念品 2,688,174 円

#### ○需用費

- ・食糧費 3,600 円

#### ○役務費

- ・傷害保険 9,900 円

#### ○使用料及び賃借料

- ・盆栽 10,000 円

(2) 長寿者褒章事業

多年にわたり地域社会の発展向上に貢献された長寿者を褒賞し、あわせてその家族の労をねぎらうため、褒賞金を支給しました。

#### ○報償費

事業名	事業費	人数	事業概要
長寿者褒賞金	6,400,000 円	14 人	95 歳の方に 100,000 円を支給
		5 人	100 歳の方に 1,000,000 円を支給

(3) 敬老年金支給事業

多年にわたり地域社会の発展向上に貢献された高齢者に終身年金を支給しました。

#### ○扶助費

事業名	事業費	人数	事業概要
敬老年金	9,132,000 円	1,282 人	75 歳から 89 歳までの方に 6,000 円を支給
		144 人	90 歳以上の方に 10,000 円を支給

## 2 施設福祉事業費

### (1) 老人ホーム入所措置事業

三重郡老人福祉施設組合の運営費用と、養護老人ホーム入所者に関する入所措置費用を支払いました。

#### ○報償費

- ・福祉施設入所判定委員 7,000 円

#### ○役務費

- ・口座振替手数料 1,437 円

#### ○委託料

- ・在宅老人ショートステイ事業 3,810 円

#### ○負担金、補助及び交付金

事業名	事業費	事業概要
運営費	1,604,000 円	三重郡老人福祉施設組合の安定運営を図るため、運営費を負担しました。

#### ○扶助費

事業名	事業費	人数	事業概要
老人保護措置入所費	12,577,341 円	7 人	老人福祉法に基づき、概ね 65 歳以上で身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、在宅生活が困難な高齢者の養護老人ホームへの入所措置を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・養護老人ホームみずほ寮 6 人</li> <li>・養護老人ホーム寿楽陽光苑 1 人</li> </ul>

## 3 生きがい対策事業費

### (1) 老人福祉センター事業

高齢者が生きがいのある楽しい日々を営むことができるよう、川越町社会福祉協議会に老人福祉センターの運営を委託し、集いの場の提供等の充実に努めました。

#### ○委託料

事業名	事業費	利用者	事業概要
老人福祉センター事業	1,022,188 円	17,733 人	老人福祉センター（憩いの広場） 2,286 人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外出機会の少ない高齢者の交流等の機会を図りました。（カラオケ、囲碁・将棋など）</li> </ul> ゲートボール場利用 113 人 一般浴場利用 7,477 人 その他（機能回復等） 7,857 人

### (2) ことぶき人材センター事業

高齢者が持つ豊かな経験や知識、技術などを地域社会で発揮できるよう、川越町社会福祉協議会のことぶき人材センターの運営に助成しました。

#### ○負担金、補助及び交付金

- ・町社会福祉協議会

事業名	事業費	会員数	事業概要
-----	-----	-----	------

ことぶき人材センター運営補助	1,955,289円	91人	全ての会員が稼働できるよう受注拡大に努めました。 ・延就労日数 13,477日 ・受注件数 319件 ・契約金額 46,835,472円
----------------	------------	-----	---

(3) 老人クラブ運営事業

老後を楽しく、生きがいをもって生活されるよう、川越町社会福祉協議会を通じて老人クラブに対し助成しました。

- 負担金、補助及び交付金
- ・町社会福祉協議会

事業名	事業費	人数	事業概要
老人クラブ運営補助	1,537,900円	1,566人	町老人クラブ連合会が主催する研修費、レクリエーションなどの活動等を行いました。

(4) 高齢者健康遊具設置事業

高齢者の健康維持増進、運動不足解消などを目的とした環境整備の一環として、当新田子ども広場、北福崎子ども広場、亀須子ども広場、南福崎西公園、豊田第2子ども広場に2種類の高齢者遊具を設置しました。

- 工事請負費

事業名	事業費	設置遊具
高齢者健康遊具設置事業	7,776,000円	ちよいとれだんだん、ストレッチベンチ

4 後期高齢者医療療養給付費負担金及び特別会計への繰出金・・・・・・・・・・ 126,205,853円

75歳以上の高齢者等が対象となる後期高齢者医療制度について、三重県後期高齢者医療広域連合へ療養給付費の負担金を支払いました。

また、後期高齢者医療特別会計へ、事業運営に要する費用を繰り出しました。

- 負担金、補助及び交付金
- ・後期高齢者医療療養給付費負担金 90,927,425円

- 繰出金

区 分	支 出 額
後期高齢者医療特別会計事務費繰出金	14,217,000円
後期高齢者医療特別会計保険基盤安定繰出金	21,061,428円
計	35,278,428円

5 介護保険特別会計への繰出金

介護保険特別会計の事業運営に要する費用を繰り出しました。

- 繰出金

区 分	支 出 額
介護保険特別会計介護給付費繰出金	82,534,748円
介護保険特別会計事務費繰出金	14,900,847円
介護保険特別会計地域包括的支援事業等繰出金	43,384,418円
介護保険特別会計低所得者保険料軽減繰出金	1,092,180円
介護保険特別会計介護予防・日常生活支援総合事業繰出金	1,577,495円
計	143,489,688円

4目 臨時福祉給付金給付事業費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,082,000円	－円	－円	－円	－円	2,082,000円

2項 児童福祉費

1目 保育所費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
423,554,783円	45,354,936円	22,330,886円	－円	79,718,234円	276,150,727円

保護者や同居の親族が仕事や病気、障害、出産等のため、児童を保育することができないと認められる場合に、保護者からの申込みにより保護者等に代わって保育所において児童の保育を行うことに要する費用が主なものです。

1 保育所給与費等

(1) 一般職給与費（保育士18人、調理士1人） 103,571,622円  
（給料、職員手当、共済費）

(2) 嘱託職員及び臨時職員賃金 102,548,071円  
※嘱託職員（保育士15人、調理士4人）・臨時職員（保育士27人、調理員9人）  
（賃金、共済費）

(3) 人材派遣費（保育士5人） 8,848,157円（委託料）

2 保育所費

(1) 保育所運営経費・・・・・・・・・・・・ 31,405,830円

【平成30年度各保育所児童入所状況】

平成30年度の公私立合わせた児童入所率は94.2%となり、各保育所入所人員は、次のとおり。  
（平成31年3月31日現在）

区分	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	入所率
保育所									
北部保育所	90人	7人	10人	13人	21人	14人	19人	84人	93.3%
中部保育所	60人	0人	5人	7人	18人	13人	15人	58人	96.7%
南部保育所	110人	3人	8人	9人	20人	19人	23人	82人	74.5%
公立計	260人	10人	23人	29人	59人	46人	57人	224人	86.2%
ひばり保育園	120人	14人	23人	25人	27人	20人	25人	134人	111.7%
合計	380人	24人	46人	54人	86人	66人	82人	358人	94.2%
広域保育依頼数	－	0人	0人	0人	1人	0人	0人	1人	－

○報酬

- ・内科（1人） 983,020円
- ・歯科（3人） 883,620円

○報償費

- ・講師謝礼（職員人材育成事業） 215,000 円
- ・講師謝礼（保育参観講師等） 60,000 円
- ・人形劇鑑賞 128,000 円
- ・移動動物園 162,000 円
- 需用費
  - ・賄材料費（給食食材） 22,054,017 円
- 役務費
  - ・検便等 351,864 円
- 委託料
  - ・社会見学バス運行業務 365,040 円
  - ・七夕笹運搬 11,000 円

項目	区分	支出額	事業の概要
北部保育所	需用費	1,804,193 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（保育材料等） 1,780,554 円</li> <li>・医薬材料費（医薬品） 20,197 円</li> <li>・飼料費 3,442 円</li> </ul>
	役務費	124,597 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信運搬費（電話代等） 114,877 円</li> <li>・ピアノ調律 9,720 円</li> </ul>
	使用料及び賃借料	254,305 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務機 239,760 円</li> <li>・テレビ受信料 14,545 円</li> </ul>
	小計	2,183,095 円	
中部保育所	需用費	1,558,947 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（保育材料等） 1,540,958 円</li> <li>・医薬材料費（医薬品） 17,191 円</li> <li>・飼料費 798 円</li> </ul>
	役務費	146,504 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信運搬費（電話代等） 81,584 円</li> <li>・ピアノ調律 9,720 円</li> <li>・プール組立撤去 55,200 円</li> </ul>
	使用料及び賃借料	254,305 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務機 239,760 円</li> <li>・テレビ受信料 14,545 円</li> </ul>
	小計	1,959,756 円	
南部保育所	需用費	1,699,607 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（保育材料等） 1,676,863 円</li> <li>・医薬材料費（医薬品） 18,684 円</li> <li>・飼料費 4,060 円</li> </ul>
	役務費	95,506 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信運搬費（電話代等） 85,786 円</li> <li>・ピアノ調律 9,720 円</li> </ul>
	使用料及び賃借料	254,305 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務機 239,760 円</li> <li>・テレビ受信料 14,545 円</li> </ul>
	小計	2,049,418 円	

(2) 幼児用水難保護用具（ライフジャケット）整備事業

津波や洪水などの水害に備えて、保育所にライフジャケットを配備しました。

○需用費

事業名	支出額	配備数
幼児用水難保護用具（ライフジャケット）整備事業	1,843,776 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児用 300 着</li> <li>・職員用 56 着</li> </ul>

(3) 外国人英語指導事業

川越町で育つ子どもの就学前からの外国語教育を充実させ、国際理解の豊かな子育てを推進し、将来

の川越町を担う人材を育成するため、外国人語学指導員が曜日ごとにそれぞれの保育所を回り、就学前となる4、5歳児を中心に外国語教育を行いました。

○委託料

事業名	支出額	実施回数
外国人英語指導事業	3,628,800円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部保育所 計 40回</li> <li>・中部保育所 計 40回</li> <li>・南部保育所 計 40回</li> <li>・ひばり保育園 計 37回</li> </ul>

(4) 保育所施設維持管理費・・・・・・・・・・・・ 16,194,859円

保育所の施設における保守点検業務、清掃業務、警備といった建物の維持管理業務及び周辺緑地帯の維持・管理といった保育所敷地内の維持管理業務を行いました。主な費用は、次のとおり。

項目	区分	支出額	事業の概要
北部保育所	光熱水費	2,793,406円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気代 2,070,907円</li> <li>・上下水道代 722,499円</li> </ul>
	燃料費	334,190円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス使用料 334,190円</li> </ul>
	修繕料	1,121,850円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給湯器取替工事 313,200円</li> <li>・空調機洗浄工事 237,600円</li> <li>・その他修繕 571,050円</li> </ul>
	委託料	611,530円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園舎清掃 178,302円</li> <li>・沈殿槽清掃 18,540円</li> <li>・屋外遊具点検 42,768円</li> <li>・消防設備点検 43,200円</li> <li>・空調設備保守 248,400円</li> <li>・警備 58,320円</li> <li>・庭木手入れ等 22,000円</li> </ul>
	工事請負費	896,400円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話設備修繕工事</li> </ul>
	備品購入費	120,960円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードカッター 120,960円</li> </ul>
	その他諸経費	148,742円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 トイレットペーパー等 77,198円</li> <li>・賃借料 フロアマット等 66,744円</li> <li>ガス警報機リース 4,800円</li> </ul>
	計	6,027,078円	
中部保育所	光熱水費	1,997,445円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気代 1,424,213円</li> <li>・上下水道代 573,232円</li> </ul>
	燃料費	302,986円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス使用料 302,986円</li> </ul>
	修繕料	491,454円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊戯室証明修繕 194,400円</li> <li>・その他修繕 297,054円</li> </ul>
	委託料	299,088円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園舎清掃 114,260円</li> <li>・沈殿槽清掃 18,540円</li> <li>・屋外遊具点検 42,768円</li> <li>・消防設備点検 43,200円</li> <li>・警備 58,320円</li> <li>・庭木手入れ等 22,000円</li> </ul>
	工事請負費	495,720円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食室トイレ改修工事</li> </ul>



	その他諸経費	1,257,974 円	・消耗品費 トイレトペーパー等 49,734 円 ・賃借料 フロアマット等 27,864 円 ガス警報機リース 7,776 円 駐車場 1,172,600 円
	計	4,844,667 円	
南部保育所	光熱水費	2,796,727 円	・電気代 2,226,711 円 ・上下水道代 570,016 円
	燃料費	290,991 円	・ガス使用料 290,991 円
	修繕料	890,028 円	・床暖房器修繕工事 290,520 円 ・エアコン修繕 211,680 円 ・その他修繕 387,828 円
	委託料	357,196 円	・園舎清掃 172,368 円 ・沈殿槽清掃 18,540 円 ・屋外遊具点検 42,768 円 ・消防設備点検 43,200 円 ・警備 58,320 円 ・庭木手入れ等 22,000 円
	工事請負費	820,800 円	・電話設備修繕工事
	その他諸経費	70,172 円	・消耗品費 トイレトペーパー等 29,084 円 ・賃借料 フロアマット等 36,288 円 ガス警報機リース 4,800 円
	計	5,225,914 円	

○原材料費

・砂場 砂 97,200 円

(5) 保育所防犯カメラ設置事業

保育所における犯罪防止や事故等の状況確認のために防犯カメラの設置を行いました。

事業名	項目	支出額	設置台数
保育所防犯カメラ設置事業	委託料	189,634 円	・北部保育所 計 5 台 ・中部保育所 計 4 台 ・南部保育所 計 6 台
	工事請負費	2,954,269 円	
計		3,143,903 円	

(6) 保育園運営費等助成事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 148,000,620 円

児童福祉の向上を図るため、ひばり保育園等へ保育所運営費の給付を行いました。

また、事業実施のための必要な経費等に対し補助金として助成を行いました。

○委託料

事業名等	支出額	事業内容
保育所運営費給付事業	135,340,920 円	ひばり保育園 134,154,620 円
		広域保育 572,490 円
		認定こども園 613,810 円

○負担金、補助及び交付金

事業名等	支出額	事業内容
ひばり保育園補助金	4,125,300円	運営補助金 3,864,000円 米飯給食補助金 261,300円
延長保育促進事業費助成	1,342,000円	保育対策等促進事業
低年齢児保育充実事業助成	950,400円	特別保育事業
一時預かり事業助成	5,360,000円	保育緊急確保事業
乳児保育促進事業助成	882,000円	特別保育事業

#### (7) 病児保育事業

保護者の子育てと就労等の両立を支援するため、児童が病気の治療や病気の回復期にあり、集団保育や保護者による保育が困難な場合に、一時的に預かる病児保育事業を広域で行う桑名市に負担金を支払いました。

○負担金、補助及び交付金

- ・病児保育広域対応支援事業 306,000円 利用者18人

#### (8) 損害賠償の額の決定及び和解について

平成29年度に南部保育所にて発生した児童が雲梯から落下した事故について、和解が成立したことにより、国家賠償法に基づき、損害賠償額を支払いました。

○補償、補填及び賠償金

- ・賠償金 1,999,180円

## 2目 児童措置費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
372,072,368円	210,061,999円	71,953,532円	－円	－円	90,056,837円

児童を養育している家庭を支援するために要する費用が主なものです。

### 1 児童手当費

児童を養育している家庭等の生活の安定に寄与すること及び次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的に、中学校修了前までの児童に児童手当等を支給しました。

○扶助費

事業名	事業費	のべ支払者数	事業概要
児童手当	79,845,000円	5,323人	0歳～3歳未満 (月額15,000円)
	135,120,000円	13,512人	3歳以上小学校修了前(第1子・第2子) (月額10,000円)
	31,770,000円	2,118人	3歳以上小学校修了前(第3子以降) (月額15,000円)
	45,790,000円	4,579人	小学校修了後中学校修了前 (月額10,000円)
	6,650,000円	1,330人	所得制限に係る特例給付 (月額5,000円)
合計	299,175,000円	26,862人	

### 2 医療費助成費

子育て支援を図るため、子ども医療費助成及び一人親家庭等医療費助成として、医療費の助成を行いました。

○扶助費

事業名	事業費	対象者数	事業概要
子ども医療費	55,705,643 円	25,797 人	・補助対象分（県） 45,416,995 円 ・町単独分 10,288,648 円
一人親家庭等医療費	11,501,306 円	5,865 人	・補助対象分（県） 8,225,909 円 ・町単独分 3,275,397 円

### 3 一人親家庭高校通学費

一人親家庭児童の向学心の高揚と福祉の増進を図るため、高等学校、専修学校、各種学校等の通学費の一部を助成しました。

○扶助費

- ・一人親家庭高校通学費（45 人） 1,114,980 円

## 3 目 児童館費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
90,885,359 円	14,479,000 円	14,822,000 円	－円	659,058 円	60,925,301 円

次代を担う児童の健やかな成長の手助けと安全な居場所を提供するため、児童館の運営に要する費用が主なものです。

### 1 児童館運営一般経費

(1) 嘱託職員及び臨時職員賃金（賃金、共済費） 25,506,797 円

- ・つばめ児童館（嘱託職員 3 人、臨時職員 10 人）
- ・おひさま児童館（嘱託職員 2 人、臨時職員 6 人）

### 2 児童館費

(1) 児童館運営管理費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20,937,414 円

子どもを対象としたイベントのほか、企画から運営までを子どもたちが主体となって行うもの、地域の住民、世代間（異年齢）、子育て世代の親子等の交流を目的としたもの、父親を対象としたものなどを行いました。

児童館年間利用者数

区 分	子ども	大 人	合 計	1 日当たり (子ども)	1 日当たり (大人)
つばめ児童館	28,832 人	12,821 人	41,653 人	99 人	44 人
おひさま児童館	17,280 人	6,791 人	24,071 人	59 人	23 人
合 計	46,112 人	19,612 人	65,724 人	158 人	67 人

主な行事の開催状況

区 分	行事名	のべ参加者数	内 容
おひさま児童館	川児祭（5月）	約 300 人	つばめ児童館との合同イベント 子どもたちが主体となり、地域の住民、世代間の交流を目的としたもの
おひさま児童館	ファミリー向け イベント（7月）	38 人	父親サークル「パパスマイル四日市」と 合同で子育て世代の親子や父親同士の交 流を目的としたイベントを開催
つばめ児童館 おひさま児童館	夏祭り（8月）	167 人 187 人	子どもたちが主体となり、異年齢交流を 目的としたもの

つばめ児童館	ファミリー向けイベント（10月）	63人	社会福祉協議会と合同で子育て世代の親子や父泳同士の交流を目的として、デイキャンプを実施
つばめ児童館	スプリングフェスティバル（3月）	180人	児童館で行ってきたクラブ活動の発表などや子どもたち、川越北学童保育所、川越町子育て支援センターとともにイベントを実施
おひさま児童館	カルチャーフェスティバル（3月）	164人	児童館で行ってきたクラブ活動の発表などや子どもたち、川越南学童保育所とともにイベントを実施
つばめ児童館 おひさま児童館	その他行事	888人 749人	工作、ゲーム、季節に応じた遊びなど

なお、各児童館の運営及び施設の維持管理に要した費用は11,311,897円で、主な費用は、次のとおり。

<つばめ児童館>

項目	区分	支出額	支出の概要
事業実施・運営に係る費用	報償費	104,000円	・講師謝礼
	消耗品費	625,101円	・行事等材料費 457,627円 ・事務用品等 167,474円
	役務費	231,193円	・電話代 124,553円 ・パソコンソフト更新 2,980円 ・検便等手数料 15,660円 ・保険料 88,000円
	その他諸経費	108,864円	・食糧費 13,034円 ・医薬材料費 1,676円 ・飼料費 1,394円 ・使用料及び賃借料 事務機 77,760円 ・負担金 児童館連絡協議会 15,000円
	小計	1,069,158円	
施設の維持管理費用	つばめ児童館遊戯室照明器具改修事業	3,661,200円	・委託料 設計業務 302,400円 ・工事請負費 3,358,800円
	光熱水費	1,430,984円	・電気代 1,360,354円 ・上下水道代 70,630円
	修繕料	334,800円	・玄関表示板修正 216,000円 ・その他 118,800円
	委託料	771,522円	・清掃業務 186,162円 ・警備業務 77,760円 ・遊具 8,640円 ・消防設備 69,120円 ・空調設備 395,280円 ・自動ドア 34,560円
	その他諸経費	288,074円	・消耗品費 蛍光灯等 44,569円 ・賃借料

			フロアマット	213,840 円
			テレビ受信料	14,545 円
			・原材料費	
			広場及び砂場用砂	15,120 円
	小 計	6,486,580 円		

<おひさま児童館>

項 目	区 分	支出額	支出の概要	
事業実施・ 運営に係る 費用	報償費	71,000 円	・講師謝礼	
	消耗品費	697,584 円	・行事等材料費	506,938 円
			・事務用品等	190,646 円
	役務費	185,411 円	・電話代	119,570 円
			・パソコンソフト更新	2,981 円
			・検便等手数料	12,260 円
			・保険料	50,600 円
	その他諸経費	106,899 円	・食糧費	10,954 円
			・医薬材料費	1,685 円
			・飼料費	1,500 円
			・使用料及び賃借料	
			事務機	77,760 円
			・負担金	
			児童館連絡協議会	15,000 円
	小 計	1,060,894 円		
施設の 維持管理費用	光熱水費	1,295,240 円	・電気代	1,116,799 円
			・上下水道代	178,441 円
	修繕料	275,670 円	・ブラインド修繕	224,910 円
			・その他修繕	50,760 円
	委託料	762,514 円	・清掃業務	139,462 円
			・警備業務	73,872 円
			・遊具	8,640 円
		・消防設備	69,120 円	
		・空調設備	372,060 円	
		・庭木手入れ等	64,800 円	
		・自動ドア	34,560 円	
	その他諸経費	156,997 円	・消耗品費	
			トイレットペーパー	11,880 円
			・賃借料	
			フロアマット	130,572 円
			テレビ受信料	14,545 円
	小 計	2,490,421 円		

<共通経費>

○需用費

- ・消耗品費（児童用図書等購入） 204,844 円

寄附金 200,000 円を活用し、絵本など 149 冊を購入しました。

児童館を安心して利用できるよう安全対策のため工事を、平成 29 年度及び平成 30 年度の 2 か年で実施しました。その内容は、次のとおり。

事業名	支出額	区 分	支出の概要
つばめ児童館安全対策事業	7,361,150 円	工事請負費	駐車場のカラー舗装、フェンス設置及び事務所窓口の大型化等
児童館防犯カメラ設置事業	2,216,097 円	委託料 工事請負費	つばめ児童館に7台、おひさま児童館に5台の防犯カメラを設置 ・監理業務 134,166 円 ・工事費 2,081,931 円

### 3 地域子育て支援センター事業費

児童及びその保護者に対して育児支援を図るため、地域子育て支援センター事業を2つの法人に委託し実施しました。

#### ○委託料

区 分	事業費	事業参加人数
社会福祉法人宏育会 ひばり保育園	6,000,000 円	1,969 人
特定非営利活動法人 子育てサポートほっとまむ	5,187,164 円	4,259 人
計	11,187,164 円	

### 4 ファミリー・サポート・センター事業費

また、急な用事のおきなどに安心して子どもを預けることができるサービスを確保するため、ファミリー・サポート・センター事業を実施しました。

#### ○委託料

区 分	事業費	会員数
特定非営利活動法人 子育てサポートほっとまむ	1,377,082 円	283 人

### 5 学童保育所運営事業助成事業費

保護者会や社会福祉法人日の本福祉会が設置及び運営している学童保育所の円滑な運営を図るため、次の表のとおり各学童保育所に運営費等の一部を助成しました。

#### ○負担金、補助及び交付金

区 分	助成額	利用児童数
川越北学童保育所	7,416,000 円	44 人
川越南学童保育所	7,249,000 円	38 人
川越学童保育所日の本クラブ	8,039,341 円	29 人
川越第2学童保育所日の本クラブ	8,960,561 円	33 人
計	31,664,902 円	144 人

## 4 款 衛 生 費

### 1 項 保健衛生費

#### 1 目 保健衛生総務費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
60,819,753円	1,609,000円	－円	－円	570,030円	58,640,723円

保健衛生関係職員の人件費、狂犬病予防法に基づく犬登録事務等に要する費用が主なものです。

#### 1 保健衛生給与費

- (1) 一般職給与費（事務職員 2 人、保健師 3 人、栄養士 1 人） 52,879,825 円  
（給料、職員手当、共済費）

#### 2 保健衛生一般事務費

- (1) 嘱託職員及び臨時職員賃金 7,668,095 円  
・嘱託職員（事務員 1 人、保健師 1 人、看護師 1 人）、臨時職員（事務員 1 人）  
（賃金、共済費）

#### 3 狂犬病予防経費

- (1) 畜犬登録及び狂犬病予防注射・・・・・・・・・・140,333 円

狂犬病予防法に基づき、畜犬登録及び狂犬病予防注射に関する事務（犬の鑑札及び狂犬病予防注射済票の交付等）を行いました。平成 30 年度末の登録頭数は、894 頭です。

##### ○需用費

- ・消耗品費（ファイル等） 5,168 円  
・印刷製本費（狂犬病予防注射済票等） 42,984 円

##### ○役務費

- ・通信運搬費（切手、狂犬病予防注射済票交付申請書通知） 56,986 円

##### ○委託料

項 目	頭 数	支出額
畜犬登録交付事務	35 頭	10,500 円
狂犬病予防注射済票交付	449 頭	24,695 円

- (2) 犬・猫不妊手術費助成事業

捨て犬及び捨て猫を防止し、市民の良好な生活環境を保持するため、獣医師による飼い犬、飼い猫の不妊手術費等の一部を助成しました。

##### ○負担金、補助及び交付金

種別	件数		助成額
	避妊	去勢	
犬	11 件	6 件	48,000 円
猫	29 件	17 件	83,500 円
合計	40 件	23 件	131,500 円

## 2目 予防費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
93,728,614円	145,000円	810,000円	－円	5,376,800円	87,396,814円

疾病の早期発見のための検診（健診）事業と、乳幼児から高齢者までを対象とした感染症予防のための予防接種事業に要する費用が主なものです。

### 1 検診（健診）事業費

個人通知、健康づくりカレンダー、回覧、広報、ホームページ、ケーブルテレビ等による町民への周知の他、健康かわごえ推進委員と協働で、幼稚園、ふれあい祭等で検診PR活動を実施し、がん検診受診啓発に努めました。無料クーポン券配布事業は、29年度に引き続き、乳がん・子宮頸がん検診では対象年齢を国の事業に上乘せして実施し、大腸がん検診では町独自で実施しました。

当町のオリジナル体操「かわごえキラキラ体操」は、保育所・幼稚園・小学校での実技指導を経て、運動会等で体操実施が定着しました。地域での普及を目指す中で、2つの町内企業で朝の準備体操として導入していただけることとなりました。

#### (1) 5大がん検診事業 22,297,440円

国の基準による検診（胃・肺・大腸・乳・子宮頸がん検診）

区分	支出額	支出内容
賃金	241,500円	保健師等
需用費	397,197円	・消耗品費（パンフレット等 79,702円） ・印刷製本費（健康づくりカレンダー等 262,699円） ・医薬材料費（大腸がん容器代 54,796円）
役務費	664,377円	通信運搬費（医療機関通知、個人通知等）
委託料	20,909,445円	各種検診委託料
負担金、補助金 及び交付金	84,921円	三泗地域胃内視鏡検診運営委員会

#### (2) がん検診無料クーポン事業 2,547,445円

乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診において、無料クーポン券を配布

区分	支出額	支出内容
需用費	101,952円	印刷製本費（受診券等作成）
役務費	105,372円	通信運搬費（医療機関通知、個人通知等）
委託料	2,340,121円	各種検診委託料

#### (3) その他検診事業 10,882,821円

乳がん超音波、前立腺がん、腹部超音波、骨粗鬆症、肝炎、一般健康診査、健康増進法健診

区分	支出額	支出内容
賃金	23,770円	保健師1人、助産師2人
需用費	79,596円	印刷製本費（受診票作成等）
役務費	96,473円	通信運搬費（医療機関通知、個人通知等）
委託料	10,682,982円	・事務委託（健康増進法受診票作成 21,902円） ・検診委託（各種検診委託料 10,661,080円）



【各種検診受診者数】

検診名	受診者数	対象年齢等
胃がん(X線)	281人	40歳以上 川越診療所で実施
胃がん(内視鏡)	279人	
肺がん検診(レントゲン撮影)	679人 喀痰6人	
大腸がん(便潜血検査2日法)	970人	40歳以上 集団検診 一部無料クーポンあり
乳がんマンモグラフィ撮影(集団)	706人	40歳以上 一部無料クーポンあり
乳がんマンモグラフィ撮影(個別)	80人	
子宮頸がん(頸部細胞診) 集団	632人	20歳以上
子宮頸がん(頸部細胞診) 個別	277人	一部無料クーポンあり
乳がん超音波検(集団)	159人	30歳代
前立腺がん(血液検査)	340人	40歳以上 集団検診
腹部超音波	808人	40歳以上 川越診療所で実施
骨密度(踵骨超音波測定)	318人	40歳以上 集団検診 女性のみ
一般健康診査	117人	30~39歳を対象とした集団健診

2 各種予防接種事業費

小児の定期接種については全額公費負担にて実施し、65歳以上を対象とする高齢者肺炎球菌及び高齢者インフルエンザは一部公費負担により実施しており、個人通知、広報、ホームページ等で接種勧奨を行い、接種率の向上に努めました。平成30年度は、三重県内で麻疹の流行があったため、麻しん・風しん混合ワクチンの接種勧奨に努め、広報・個人通知等を繰り返し実施しました。

任意接種では、高齢者肺炎球菌及びおたふくかぜワクチン接種費用助成事業を継続しております。

(1) 定期接種事業 56,760,185円

区分	支出額	支出内容
需用費	283,902円	・消耗品費(予防接種ガイドライン等 26,700円) ・印刷製本費(予防接種予診票等 257,202円)
役員費	59,534円	通信運搬費(医療機関通知、個人通知等)
委託料	56,416,749円	医療機関委託料

【予防接種 接種者数】

ワクチン名	接種者数	ワクチン名	接種者数
ビブ感染症	743人	B型肝炎ウイルス	559人
小児用肺炎球菌	744人	日本脳炎	849人
4種混合	728人	二種混合	139人
BCG	186人	不活化ポリオ(単独)	2人
麻しん・風しん混合	321人	高齢者インフルエンザ	1,475人
水痘	330人	高齢者肺炎球菌	263人

(2) 任意接種事業 573,000円

区分	支出額	支出内容

負担金、補助金 及び交付金	573,000円	高齢者肺炎球菌（18人） おたふくかぜ補助（173人）
------------------	----------	--------------------------------

### 3目 母子衛生費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
24,595,789円	530,700円	644,187円	－円	180,331円	23,240,571円

妊婦一般健康診査や乳児一般健康診査をはじめとする母子保健事業に要する費用が主なものです。

#### 1 母子保健事業費

妊娠及び乳幼児期を通じて、それぞれの時期に応じた適切なサービスが提供できるよう妊婦一般健康診査や乳児一般健康診査をはじめとする母子保健事業の推進に努めました。各種事業を通して、母子ともに健やかな成長を促す支援を行いつつ、次年度に開始する子育て世代包括支援センターの準備年として、医療機関をはじめとした各方面の関係機関との連携強化に努めました。発達・発育、養育環境等に何らかの支援を必要とするケースについては、福祉課・学校教育課等の他、地域医療機関との連携を強化し、早期対応に努めるとともに、要支援ケースへの継続的な対応に努めました。

##### (1) 母子健康手帳交付事業

妊娠証明書を提出した妊婦に対し、母子健康手帳・妊婦一般健康診査及び乳児一般健康診査の無料券を交付。妊娠中の健康管理について保健指導を実施しました。

○需用費

・消耗品費（母子健康手帳） 44,706円 交付人数 142人

##### (2) 妊婦一般健康診査事業

妊娠中の14回の健診について県内医療機関に委託し、県外での受診者には助成を実施しました。妊婦一般健康診査ののべ受診者は、1,933人。

区分	支出額	支出内容
需用費	117,990円	印刷製本費（しおり作成）
委託料	14,370,070円	県内医療機関での委託料
負担金、補助 及び交付金	1,293,500円	県外妊婦検診受診者への助成金
計	15,781,560円	

##### (3) 不妊治療費・不育症治療費助成事業

不妊症のため子どもを希望しながらも恵まれない夫婦への支援として、治療費に対する一部助成を実施しました。助成のべ人数は12人。

区分	支出額	支出内容
役務費	4,632円	通信運搬費（個人通知、助成金決定通知）
負担金、補助 及び交付金	1,145,608円	不妊治療費助成金
計	1,150,240円	

##### (4) 乳児一般健康診査・幼児健康診査事業

4か月・10か月児は、県内医療機関において個別受診での対応を行いました。1歳6か月児、3歳6か月児、2歳6か月児（歯科検診のみ）については、集団での健康診査（小児科・歯科の診察、保健指導・栄養指導）を実施し、健やかな成長を支援しました。

区 分	支出額	支出内容
賃 金	381,350 円	保健師 1 人、助産師 2 人、看護師 3 人、栄養士 1 人
報償費	460,500	小児科医 10 人
需用費	193,948 円	消耗品費 65,128 円、印刷製本費 99,444 円、 医薬材料費 29,376 円
役務費	63,995 円	通信運搬費（個人通知）
委託料	3,248,868 円	乳児健診委託 2,277,756 円、 歯科健診委託 953,912 円、通訳者委託 17,200 円
負担金、補助 及び交付金	44,574 円	3歳6か月児健診における耳鼻科検診の負担金（三泗地 域で負担）
計	4,393,235 円	

(5) 乳幼児訪問事業

主に4か月までの出生児を、保健師・助産師が家庭訪問しました。母子ともに健やかな生活を支え、予防接種・母子保健事業・地域の子育て支援事業についても説明を行いました。訪問したのべ人数は176人。

区 分	支出額	支出内容
賃 金	650,000 円	保健師 1 人、助産師 2 人
需用費	100,224 円	消耗品費 78,624 円、印刷製本費 21,600 円
計	750,224 円	

(6) 育児相談・歯科相談事業

保護者の育児不安を解消するため、保健師・栄養士、助産師、歯科衛生士による相談及び身体計測を実施しました。

育児相談：24回 のべ540組、歯科相談：6回 のべ42組

区 分	支出額	支出内容
賃 金	276,750 円	保健師 2 人、助産師 2 人、栄養士 1 人
需用費	26,734 円	消耗品費（指導パンフレット等）
委託料	67,878 円	歯科衛生士 1 人×6回
備品購入費	103,000 円	ベビーゲート 1 台
計	474,362 円	

(7) 精神発達相談事業

幼児を対象に、心理判定員による発達検査及び相談を実施しました。

○賃金（臨床心理士） 231,700 円 相談回数：12回、相談人数：53人

(8) 離乳食教室事業

乳児の離乳食のすすめ方や適正量等を学ぶ機会とし、簡単な調理実習も行う教室を開催しました。

開催回数：6回、参加者：85組

区 分	支出額	支出内容
需用費	29,631 円	消耗品費 6,249 円、賄材料費 23,382 円
委託料	66,815 円	託児委託
計	96,446 円	

(9) 妊婦教室事業

助産師を講師として、出産と子育てを安心・安全に迎えることができるよう情報提供を行い、今後の子育て支援を目的とした交流の時間も盛り込みました。

開催回数：3クール、参加者：113人

区 分	支出額	支出内容
報償費	30,000円	助産師3回
需用費	68,636円	消耗品費 58,485円、賄材料費 10,151円
役務費	42,277円	通信運搬費
委託料	59,760円	託児委託
計	200,673円	

(10) 未熟児養育医療事業

体重が2,500g未満で出生し、入院加療が必要と診断された児に対する医療費を給付しました。

区 分	支出額	支出内容
委託料	481円	国保連合会審査事務委託
扶助費	1,095,756円	養育医療費の給付（給付人数4人、のべ11件）
計	1,096,237円	

(11) ブックスタート事業

1歳6か月児を対象に、読み聞かせの会・図書館司書とで選んだお勧めの絵本と、手作りの手提げバックを図書室で配布しました。

配付人数：139人

区 分	支出額	支出内容
賃 金	19,000円	保健師5回
需用費	204,805円	消耗品費（絵本、手提げバック用生地）
計	223,805円	

4目 健康管理センター費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
114,383,694円	1,108,000円	608,000円	－円	17,367,662円	95,300,032円

いきいきセンターの維持管理費と、地域住民の健康で生きがいのある生活の実現を目指して健康づくりに要する費用が主なものです。

1 いきいきセンター維持管理費

(1) 一般維持管理経費・・・・・・・・・・・・ 47,051,609円

○需用費

- ・ 消耗品費（コピー料金、コピー用紙、蛍光灯等） 1,418,462円
- ・ 燃料費（灯油、プロパンガス等） 2,687,969円
- ・ 光熱水費 10,480,628円（電気：7,562,018円、上下水道：2,918,610円）
- ・ 修繕料 5,553,468円

内 容	・主変電所部品取替修繕工事	3,041,280 円
	・自動ドア（南側）修繕	729,000 円
	・電気室系統（給気）送風機交換工事	469,800 円
	・診療所駐車場区画線等修繕設置工事	334,800 円
	・その他修繕	978,588 円

○役務費

- ・通信運搬費（電話、郵送費） 568,035 円
- ・手数料（クリーニング、検便等） 11,340 円

○委託料

【事業委託】

項 目	支出額	支出内容
施設等改良工事 設計業務	400,680 円	・非常用回路整備工事設計業務

【保守管理】

項 目	支出額	支出内容
警備	557,280 円	・施設警備業務
受変電発電設備	331,258 円	・発電設備及び受変電設備点検
機械設備	2,700,000 円	・冷温水発生器及び自動制御機器点検 1,965,600 円 ・浴場濾過装置点検 734,400 円
健康機器・器具	140,400 円	・健康機器、器具保守点検
庭木手入れ等	696,600 円	・植樹帯維持管理
いきいきセンタ ー総合管理	19,793,160 円	・空気環境測定等調査業務、清掃業務、機械設備管理業 務、消防設備法定点検業務、害虫防除業務

○使用料及び賃借料

【賃借料】

項 目	支出額	支出内容
構内電話交換機	66,552 円	・電話交換設備
A E D	226,926 円	・自動体外式除細動機（15 台）
コピー機等	77,760 円	・コピー機
玄関等マット	23,328 円	・施設入口マット
駐車場	623,610 円	・公用車用駐車場

【使用料】

項 目	支出額	支出内容
有線放送	116,640 円	・有線放送聴取料
テレビ受信料	94,537 円	・NHK放送（12 台）

○工事請負費

項 目	支出額	支出内容
改良工事	299,700 円	・回廊等修繕工事

○備品購入費

項 目	支出額	支出内容
庁用器具費	183,276 円	・事務机、椅子、電話機（1 階事務所）

(2) トイレ等改修事業

いきいきセンターの利用環境の改善を図るため、トイレと給水設備の改修を行いました。

事業名	支出額	区 分	事業内容
いきいきセンタートイレ等改修事業	52,660,800 円	委 託 料	トイレ等改修工事監理業務 2,235,600 円
		工事請負費	トイレ等改修工事 50,425,200 円

(3) 外壁等改修事業

いきいきセンターの安全対策及び来館者の安全を確保するため、外壁等の改修を行いました。

事業名	支出額	区 分	事業内容
いきいきセンター外壁等改修事業 (平成 30 年度～ 2 か年)	5,821,000 円	委 託 料	外壁等改修工事監理業務 225,000 円
		工事請負費	外壁等改修工事 5,596,000 円

2 一般事業費

地域に根ざした健康づくりを推進するため、ふれあい祭を開催するとともに、健康かわごえ推進協議会及び食生活改善推進協議会の活動支援を行いました。また、健康増進計画・食育推進計画（令和元年度完成予定）及び誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して自殺対策行動計画を策定しました。

(1) 川越ふれあい祭 2018

総合センター、関係課及び各種ボランティア団体とともに毎年町が一丸となって開催。健康かわごえ推進協議会委員及び食生活改善推進員と協働し、健康づくりの視点からも事業を展開。参加者らが健康の大切さを再認識し、日々の生活の中で振り返る機会としています。

開催日：11月3日、開催会場：総合センター

区 分	支出額	支出内容
報償費	60,000 円	・アトラクション公演
需用費	234,990 円	・消耗品費（ティッシュ等） 71,910 円 ・印刷製本費（ふれあい祭チラシ） 163,080 円
委託料	71,280 円	・駐車場等整理
使用料及び賃借料	361,746 円	・ふれあい祭備品（机・椅子・テント）
計	728,016 円	

(2) 健康かわごえ推進協議会

健康に関する知識の習得、各地区での健康教室、がん検診PR等を行い、町民一人ひとりが健康への意識を高め健康づくりに取り組めるよう活動しました。

活動回数：31回

区 分	支出額	支出内容
報償費	630,000 円	・健康かわごえ推進協議会委員（35人）
旅 費	192,030 円	・特別旅費（視察研修）
計	822,030 円	

(3) 食生活改善推進協議会

ふれあい祭でのヘルシーランチの提供、離乳食教室、妊婦教室のサポート、小学校の料理クラブのゲストティーチャー、健康料理教室、親子料理教室、伝達講習会等健康な食生活を進めるため、事業に取り組

みました。

活動回数：47回

○負担金、補助及び交付金

・食生活改善推進協議会 160,000円

(4) 健康増進・食育推進計画策定事業

町民が高齢者になっても健康で長生きできる健康寿命の延伸を図る為、その指標となる健康増進計画を策定。また、食育に関する施策を総合的、計画的に推進し、健康で文化的な生活を豊かにすることを目的とし、H30年度から2年間で策定する予定です。

策定委員会等開催回数：9回

区 分	支出額	支出内容
報償費	175,000円	・健康づくり推進協議会委員（のべ12人）84,000円 ・食育推進協議会委員（のべ13人）91,000円
委託料	1,512,000円	・健康増進・食育推進計画策定業務
計	1,687,000円	

(5) 自殺対策行動計画策定事業

生きることの包括的な支援として全庁一体となって、町民のこころの健康づくりや自殺対策に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため川越町自殺対策行動計画を策定しました。

策定委員会等開催回数：6回

区 分	支出額	支出内容
報償費	119,000円	・自殺対策行動計画策定委員（のべ17人）
委託料	1,998,000円	・自殺対策行動計画策定業務
計	2,117,000円	

(6) 救急医療対策事業・・・・・・・・・・・・ 1,661,359円

休日又は夜間における急病患者を含む救急搬送・救急医療体制の充実及び強化、また、住民の方への普及啓発に努めました。

○負担金、補助及び交付金

・四日市地域第2次救急医療対策事業 1,502,811円

・救急医療情報システム 158,548円

2項 清掃費

1目 清掃総務費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
117,888,386円	－円	－円	－円	113,500円	117,774,886円

ごみの分別と収集に要する費用が主なものです。

1 清掃総務給与費

(1) 一般職給与費（事務職員5人） 45,088,631円

（給料、職員手当、共済費）

2 清掃一般経費

不法投棄、カラス等によるごみの散乱を防ぐため、新たにごみステーションの設置をするるとともに分別

収集を徹底するため、町の指定袋(透明のごみ袋)で分別収集する方式を採用し、一般ごみは週2回、埋立ごみは週1回、再生ごみは2週に1回、粗大ごみは3か月に1回の定期収集を行いました。また、ごみの減量と資源の有効利用を目的とした、フリーマーケットを開催しました。

(1) ごみ分別置場整備事業

不法投棄やカラス等によるごみの散乱を防止するため、ごみステーションを設置するとともに、施設の維持管理のため修繕を行いました。また、大阪北部地震によるブロック塀の倒壊を受け、ブロック塀で囲われたごみステーションの改良を行い、安全の確保に努めました。

○工事請負費

事業名	支出額	事業の概要
ごみ分別置場設置事業	7,095,600円	箱タイプ 5か所 (天神1か所、高松3か所、豊田一色1か所) BOXタイプ 4か所 (高松2か所、南福崎2か所)
ごみ分別置場修繕事業	1,104,840円	箱タイプ 5か所 (天神1か所、高松3か所、上吉1か所) BOXタイプ 7か所 (豊田2か所、豊田一色1か所、南福崎3か所、北福崎1か所)
ごみ分別置場改良事業	691,200円	箱タイプ 2か所 (豊田1か所、亀崎1か所)

(2) 環境クリーンセンター運営管理事業

朝日町と共同で運営する「朝日町、川越町組合立環境クリーンセンター」の運営管理に必要な費用を負担しました。

○負担金、補助及び交付金

事業名	支出額	事業の概要
環境クリーンセンター負担金	63,250,000円	環境クリーンセンターへの負担金で、ごみの収集、施設の維持管理及び廃棄物の処分費用に要する費用

【平成30年度ごみ排出量】

一般ごみ	再生ごみ	埋立ごみ	粗大ごみ	計
2,252 t	267 t	474 t	203 t	3,196 t

2目 し尿処理費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
11,338,442円	－円	－円	－円	2,455,055円	8,883,387円

し尿の汲み取り及び処理に要する費用が主なものです。

1 し尿一般経費

(1) し尿汲み取り費・・・・・・・・・・・・ 2,558,442円

○需用費

・印刷製本費(納付書送付封筒) 66,420円

○役務費

・通信運搬費(汲み取り手数料通知) 32,620円

・手数料(口座振替) 2,718円

○委託料



・し尿汲み取り（638件） 2,456,684円

(2) し尿処理費

四日市市、菰野町、朝日町と共同で運営する「朝明広域衛生組合」の運営管理に必要な費用を負担しました。

○負担金、補助及び交付金

事業名	支出額	事業の概要
朝明広域衛生組合負担金	8,780,000円	朝明広域衛生組合への負担金で、施設の維持管理及びし尿の処理費用に要する費用 処理量：し尿 348 kℓ、浄化槽汚泥 986 kℓ

3目 美化推進費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,106,708円	－円	－円	－円	21,702円	5,085,006円

環境悪化をもたらさないよう、美化意識の啓発活動や不法投棄防止の立て看板設置や監視カメラの活用など、不法投棄等の防止に要する費用が主なものです。

1 環境美化一般経費

(1) 不法投棄防止対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,938,816円

監視員による巡回や、不法投棄物の回収、不法投棄防止の立て看板設置に要する費用が主なものです。

○需用費

・消耗品費（看板） 399,816円

○委託料

・ことぶき人材センター（巡回及び回収） 1,539,000円

2 町内清掃作業（クリーンデー）

地域生活環境保全事業として美化に努めるため、全町民によるクリーンデーを実施しました。

実施日	収集内容等
6月24日（日）	収集量 3,880kg（内 草・枝 2,920kg）

3 生ごみ減量化対策事業

ごみの減量化を推進するため、地区や給食センター等から排出される生ごみの収集・運搬をことぶき人材センターに委託するとともに、回収した生ごみから作られた堆肥を町民に配布するための補助作業を障がい者就労施設に委託し、生ごみの堆肥化に取り組みました。

○委託料

事業名	支出額	事業の概要
堆肥化作業補助業務	869,652円	・くろがね作業所 434,826円 ・よつばの里 434,826円
給食残渣等 収集運搬事業	2,298,240円	ことぶき人材センターに委託

### 3項 公害対策費

#### 1目 公害対策費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,889,540円	－円	－円	－円	2,146,224円	1,743,316円

公害のない町づくりをめざして、事業所、町民への公害防止意識の高揚を図り、公害防止のための監視体制や指導体制の充実・強化に要する費用が主なものです。

#### 1 公害対策一般経費

(1) 環境測定事業・・・・・・・・・・ 637,200円

○委託料

- ・大気環境測定 340,200円
- ・事業所排水水質分析 297,000円

#### (2) 二酸化炭素排出削減事業

地球温暖化の主要因である二酸化炭素の排出削減を図るため、一般家庭における住宅用太陽光発電システム設置及び低公害車購入に対する助成を行いました。

○負担金、補助及び交付金

事業名	支出額	事業の概要
環境エコ推進事業	3,250,000円	・住宅用太陽光発電システム設置補助(18件) 2,750,000円
		・低公害車購入補助(10件) 500,000円

#### 【平成30年度公害苦情処理件数】

	騒音	悪臭	大気汚染	水質汚濁	その他	計
受理件数	2	3	2	1	8	16
うち解決件数	2	3	2	1	7	15

## 5 款 農林水産業費

### 1 項 農業費

#### 1 目 農業委員会費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,598,807円	－円	1,418,666円	－円	－円	1,180,141円

農業委員会は、農業委員会業務の円滑な運営に要する費用が主なものです。

#### 1 農業委員会

##### (1) 農業委員会経費

農業委員会は、7人の委員により構成され、委員会を7回開催し、農業委員会業務の円滑・適正な運営を行いました。

○報酬

・農業委員会委員 7人 2,278,669円

##### 【農業委員会の処理業務】

項目	件数
譲渡等による権利移動（農地法第3条）	2件
相続等による権利移動（農地法第3条）	5件
自己による農地転用（農地法第4条）	許可0件 届出4件
第三者による農地転用（農地法第5条）	許可3件 届出38件

#### 2 目 農業総務費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
32,002,972円	－円	1,177,000円	－円	75,800円	30,750,172円

農業行政職員の人件費、事務費など農業行政の事務に要する費用が主なものです。

#### 1 農業総務給与費

(1) 一般職給与費（事務職員1人、技術職員2人）・・・・・・・・・・ 27,750,236円  
（給料、職員手当、共済費）

#### 2 農業行政一般経費

(1) 嘱託職員賃金（1人）・・・・・・・・・・ 2,617,947円  
（賃金、共済費）

(2) 農地情報転作システム費・・・・・・・・・・ 1,305,072円

○使用料及び賃借料

・農地情報転作システム機器賃借料 99,792円  
・農地情報転作システム使用料 1,205,280円

### 3目 農業振興費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
25,150,111円	－円	1,647,000円	－円	－円	23,503,111円

米の需要調整の円滑な推進の観点から、転作作物の生産を促進するため、町生産組合によるブロックローテーション方式の集団麦作や、水田への用水路が健全に機能し、円滑に給水できる環境を整えるための水田農業対策事業に要する費用が主なものです。

#### 1 地産地消事業

##### (1) 地産地消事業

地産地消を促進し、農業の振興を図るため、ふれあい広場の改修事業に取り組みました。

##### ○工事請負費（修繕工事）

事業名	支出額	事業の概要	実施個所	施行者
ふれあい広場改修工事	7,700,400円	アルミ形材フェンス H=2.0m L=19.1m アルミ形材門扉4箇所	北福崎	(株)雅匠
ふれあい広場照明修繕工事	20,952円	屋外電灯1基の修繕	北福崎	(株)ストックハウス
計	7,721,352円			

#### 2 農業施設費

##### (1) 用排水路等維持管理事業・・・・・・・・・・・・・・ 3,356,640円

水田農業対策事業が安定するよう用水路等の適切な維持管理に努めました。

用水路等修繕事業内容は、次のとおり。

##### ○工事請負費（維持修繕工事）

事業名	支出額	実施件数
用水路清掃工事	280,800円	1件
用水路除草工事	32,400円	1件
計	313,200円	

##### ○工事請負費（用排水路等修繕工事）

事業名	支出額	事業の概要	実施個所	施行者
北福崎地内犬走り 修繕工事	1,198,800円	張りコンクリート工 A=118.0㎡	北福崎	朝明工務店
当新田地内用水路修繕工事 (その2)	1,026,000円	U型側溝300×300 L=28.0	当新田	(株)ふくた
その他4件	818,640円	—	全域	—
計	3,043,440円			

#### 3 水田農業対策費

##### (1) 水田農業転作促進事業

米の需要調整の円滑な推進の観点から、転作作物の生産を促進するため、地域農業再生協議会補助金及び水田農業対策事業補助金を交付しました。

その結果、川越町への30年産米の目標配分面積は65ha（前年と同じ）で、米の実作付面積は57.4ha（対前年度比年3.3ha増）となり、生産調整は達成となりました。

##### ○負担金、補助及び交付金

事業名	支出額	事業の概要
地域農業再生協議会補助金	1,539,000円	町生産組合によるブロックローテーション方式の集団麦作に対する補助
水田農業対策事業補助金	8,615,100円	・面積：2,980.2a ・筆数：466筆 ・農家戸数：213戸
計	10,154,100円	

#### 4目 地籍調査費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,787,555円	－円	1,926,000円	－円	－円	5,861,555円

地籍調査事業に要する費用が主なものです。

##### 1 地籍調査費

###### (1) 地籍調査事業費

以前境界確認を行った亀尾新田地区の閲覧と引き続き境界確認を行いました。

○委託料

事業名	支出額	事業の概要	実施個所	施行者
亀尾・亀崎地区地籍調査業務委託	7,381,800円	亀尾新田地区 0.10k m <sup>2</sup> の閲覧 亀崎新田地区 0.08k m <sup>2</sup> の境界確認	亀尾新田 亀崎新田	(株)上智
一筆地求積図作成業務	149,040円	地籍調査に係る 一筆地求積図の作成	—	(株)上智
計	7,530,840円			

#### 2項 林業費

##### 1目 緑化推進費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
18,614,951円	－円	－円	－円	－円	18,614,951円

緑を増やし、育て、守るため、町内緑地帯の除草、街路樹の剪定、病虫害防除等の維持管理に要する費用が主なものです。

##### 1 緑化推進事業費

###### (1) 緑化推進事業・・・・・・・・・・・・ 18,464,544円

緑地帯を適正に維持管理するとともに、河川堤防の桜の枝の剪定及び伐採等を行いました。

○委託料

事業名	支出額	事業の概要	実施個所	施行者
川越町緑地帯維持管理委託	5,400,000円	緑地帯維持管理(42箇所) 病虫害防除、除草、剪定	全域	(株)翠豊園
緑地帯等除草業務委託	1,441,584円	川越町運動施設周辺～桜通～ 高松上吉海岸除草作業(2回)	亀崎新田 高松	川越町ことぶき人材センター

計	6,841,584円			
---	------------	--	--	--

○工事請負費

事業名	支出額	事業の概要	実施個所	施行者
南福崎豊田一色線 街路樹剪定工事	4,447,440円	支障木の伐採 31本 剪定工 40本 軽剪定工 10本	亀崎新田	(株)三重造園
川越町堤防桜樹形整枝 伐採剪定工事	6,696,000円	剪定工 107本 支障木の伐採 4本	豊田一色 高松	(株)翠豊園
その他2件	479,520円	—	亀崎新田 高松	—
計	11,622,960円			

2目 緑化対策費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,108,888円	—円	3,106,000円	—円	—円	2,888円

「災害に強い森林づくり」や「県民全体で森林を支える社会づくり」を目的とした「みえ森と緑の県民税市町交付金」に関する事業の主なものです。

1 みえ森と緑の県民税市町交付金事業

(1) 芝生化事業

事業名	支出額	事業の概要
中部保育所芝生化事業	1,402,488円	○需用費 消耗品費（化成肥料） 9,720円 ○工事請負費 中部保育所芝生植栽工事 1,142,640円 中部保育所灌水設備工事 151,200円 ○備品購入費 芝刈機 98,928円

(2) 木材利用促進事業

事業名	支出額	事業の概要
総合体育館2階休憩ロビー 木材利用促進事業	1,706,400円	○備品購入費 木製ロビーチェア他

3項 水産業費

1目 水産業費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,527,225円	—円	—円	—円	—円	3,527,225円

川越漁港の円滑な利用を図るため、適正な維持管理に要する費用が主なものです。

1 漁港管理費

(1) 漁港施設管理運営費・・・・・・・・・・・・ 3,472,225円

○需用費

- ・光熱水費（漁港水門等） 165,265 円

○委託料

- ・保守管理委託（マンホールポンプ場他） 312,120 円

○工事請負費

事業名	支出額	事業の概要	実施個所	施行者
川越漁港航路浚渫工事	1,232,280 円	浚渫工 V = 129.0 m <sup>3</sup>	亀崎新田	高砂建設(株) 川越営業所
川越漁港内土砂撤去運搬仮置工事	1,233,360 円	土砂積み運搬 V = 215.0 m <sup>3</sup>	亀崎新田	高砂建設(株) 川越営業所
その他 2 件	529,200 円	—	—	—
計	2,994,840 円			

## 6款 商 工 費

### 1項 商工費

#### 1目 商工費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
18,007,285円	－円	－円	－円	4,000,000円	14,007,285円

地域社会の重要な担い手である中小企業の体質強化、経営基盤の充実等に要する費用が主なものです。

#### 1 商工振興事業費

##### (1) 商工会補助金

朝明商工会を中核とした商工業者の発展、地域の振興及び社会一般の福祉の増進を図るため、朝明商工会へ運営補助を行いました。

○負担金、補助及び交付金

- ・朝明商工会運営補助金 10,770,000円

##### (2) 経営基盤強化資金等利子補給事業・・・・・・・・・・・・ 2,989,350円

商工業者を対象に円滑な資金繰りにより中小企業の経営を安定させるために、小企業経営改善資金利子補給及び小規模事業者信用保証料補給を行いました。

○負担金、補助及び交付金

- ・小企業経営改善資金利子補給 55件 2,459,975円
- ・小規模事業者信用保証料補給 3件 529,375円

#### 2 労働諸費

勤労者の生活安定と福祉の向上に寄与するため、東海労働金庫に貸付金として預託しました。

○貸付金

- ・勤労者資金貸付金 4,000,000円



## 7 款 土 木 費

### 1 項 土木管理費

#### 1 目 土木総務費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
43,258,781円	－円	13,000円	－円	10,069,976円	33,175,805円

土木職員の人件費、事務費など土木行政の事務に要する費用が主なものです。

#### 1 土木総務給与費

- (1) 一般職給与費（技術職員 5 人）・・・・・・・・・・ 40,096,786 円  
 （給料、職員手当、共済費）

#### 2 土木一般経費

- (1) 車両管理費・・・・・・・・・・ 197,428 円
- 需用費
    - ・燃料費 63,968 円
    - ・修繕料 8,186 円
  - 役務費
    - ・手数料（車検、点検）89,004 円
    - ・自動車損害保険料 23,970 円
  - 公課費
    - ・自動車重量税 12,300 円

### 2 項 道路橋りょう費

#### 1 目 道路橋りょう費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
203,295,839円	－円	－円	－円	－円	203,295,839円

町道の適正な維持管理の修繕や、安全で円滑な地域交通を確保するための道路改良・拡幅に要する費用が主なものです。

#### 1 道路橋りょう費

- (1) 道路後退用地整備事業・・・・・・・・・・ 7,136,623 円
- 報償費
    - ・道路後退用等に係る報償金 5 件 2,171,245 円
  - 役務費
    - ・登記料 4,452,918 円
  - 負担金、補助及び交付金
    - ・道路後退用地整備事業 512,460 円

- (2) 道路改良維持修繕等事業・・・・・・・・・・ 193,276,056 円
- 委託料

・事務委託

事業名	支出額	業務の概要	実施個所	施行者
川越町道路・産業GIS関連修正業務	6,166,800円	道路台帳立会い管理データ等修正業務一式	—	(株)パスコ

・事業委託

事業名	支出額	業務の概要	実施個所	施行者
水道管移設工事	1,604,163円	水路工事に伴うφ75mm水道本管伏せ越し工事ほか2件	—	—

・調査委託（測量業務）

事業名	支出額	業務の概要	実施個所	施行者
町道豊福南北線道路修正設計業務委託	498,960円	測量設計 L=70m	豊田一色	三重測量設計(株)
町道福崎7号線道路詳細設計業務委託	496,800円	測量設計 L=140m	亀崎新田	(株)東海共同測量設計コンサルタント
境界復元測量業務 3件	219,240円	—	—	—
計	1,215,000円			

・調査委託（土地鑑定）

事業名	支出額	業務の概要	実施個所	施行者
不動産鑑定業務委託	140,400円	町道豊福南北線道路拡幅事業に伴う不動産鑑定 1件	豊田一色	榊田不動産鑑定所

・保守管理委託

事業名	支出額	業務の概要	実施個所	施行者
川越町マンホールポンプ場他年間維持管理委託	395,280円	道路アンダーパス排水ポンプ 4箇所 農用ポンプ場（ゲート含む）5箇所 川越漁港水門 1箇所	—	東海メンテナンス(株)
川越町アンダーパス冠水表示システム保守点検業務委託	334,800円	アンダーパス 3箇所	豊田 亀崎新田	名菱電子(株) 三重支店
土木汎用CAD保守管理	86,400円	CADシステム 保守管理一式	—	(株)シビルデザイン
計	816,480円			

○工事請負費

・改良工事

道路の改良として、道路の拡幅、排水路の整備を行いました。

事業名	支出額	業務の概要	実施個所	施行者
高松41号線道路改良工事	55,615,680円	舗装工 A=1009.9 m <sup>2</sup> L型擁壁 H=1.0~3.5m L=	高松	清田軌道工業(株)名古屋支店

		184.0mメッシュフェンス工 H=1.2m L=148.0m U型側溝 300×300 L=282.4m		
天神地区舗装改良工事	5,175,360円	舗装工 A=980.5 m <sup>2</sup> カラー舗装 A=66.4 m <sup>2</sup>	豊田	松岡建設(株)
亀崎新田地内排水路改良工事	12,340,080円	U型水路 400×150 L=327.9m 張りコンクリート工 A=465.6 m <sup>2</sup>	亀崎新田	朝明工務店
亀崎朝日線道路撤去工事	14,854,320円	張りコンクリート工 A=2071.5 m <sup>2</sup> U型側溝 300×300 L=74.2m	亀崎新田	菊池重機建設(株)
町道南小前豊田線道路舗装工事	4,559,760円	舗装工 A=306.1 m <sup>2</sup> アスカーブ L=88.9m ガードレール L=92.4 m <sup>2</sup>	豊田	松岡建設(株)
豊田一色地内水路改良工事	1,231,200円	BOXカルバート 700×700 L=8.0m	豊田一色	養三興業(株)
計	93,776,400円			

・修繕工事・・・・・・・・・・・・ 75,345,568円

町道の維持管理として、修繕工事を行いました。

事業名	支出額	工事件数
舗装修繕工事	7,958,520円	42件
一般修繕工事	28,056,888円	92件
整備工事	3,481,920円	11件
計	39,497,328円	

道路除草水路清掃事業・・・町道・水路の維持管理として、除草工事・清掃工事を行いました。

事業名	支出額	実施件数
除草伐採工事	14,051,680円	18件
水路清掃工事	4,877,280円	16件
計	18,928,960円	

朝明川河床整理事業・・・三重県と協働で朝明川の河床掘削及び河床整理を行いました。

事業名	支出額	事業の概要	実施個所	施行者
朝明川河床整理工事	16,919,280円	河床堆積土砂撤去 2,050 m <sup>3</sup> 除草工 16,000 m <sup>2</sup>	豊田	松岡建設(株)

○公有財産購入費

・町道敷地

事業名	支出額	事業の概要	購入場所
町道福崎亀崎線用地代	310,492円	17.06 m <sup>3</sup>	亀崎新田
町道高松5号線用地代	715,896円	14.67 m <sup>3</sup>	高松
町道豊福南北線用地代	295,560円	16.42 m <sup>3</sup>	豊田一色
計	1,321,948円		

- 負担金、補助及び交付金・・・・・・・・・・ 12,889,297 円
  - ・踏切道補修工事 12,718,279 円
  - ・ブロック塀等除却事業 3件 171,018 円

### 3 項 都市計画費

#### 1 目 公園費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
24,383,549円	－円	－円	－円	37,775円	24,345,774円

町内にある都市公園及び子ども広場の維持管理及び町内3ヶ所の子ども広場の改修工事等に要する費用が主なものです。

#### 1 都市公園維持管理費

- (1) 北部公園維持管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 217,469 円

○需用費

- ・光熱水費（電気料金） 27,242 円
- ・修繕料（砂場補充） 65,016 円

○役務費

- ・通信運搬費（機械警備回線） 34,491 円

○委託料

- ・公衆トイレ警備 90,720 円

- (2) 高松児童公園維持管理事業

○需用費

- ・修繕料（複合遊具修繕） 5,832 円

#### 2 子ども広場維持管理費

- (1) 維持管理経費・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,717,848 円

○需用費

- ・修繕料（豊田第3子ども広場東屋屋根修繕他4件） 1,121,688 円

○委託料

- ・遊具点検（23か所） 596,160 円

- 3 子ども広場改良事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 22,442,400 円

子どもたちに安全な遊び場を提供し、安全に遊ぶことができるよう子ども広場を改修しました。

○工事請負費

- ・改良工事費 22,068,720 円

事業名	支出額	事業の概要	実施個所	施行者
天神公民館遊具移設工事	3,985,200 円	天神公民館広場の遊具を移設	豊田	(有)カワムラ建設
亀須子ども広場改修工事	14,021,640 円	亀須子ども広場のフェンスの嵩上げ	亀須	(株)ふくた
豊田ゾウ公園フェンス改修工事	4,061,880 円	豊田第3子ども広場（ぞう公園）のフェンスを改修	豊田	養三興業(株)

・その他工事費 373,680円

事業名	支出額	事業の概要	実施個所	施行者
南部保育所跡公園樹木撤去工事	221,400円	南部保育所跡公園の倒壊樹木を撤去	高松	福田造園(株)
南部保育所跡公園門柱撤去工事	152,280円	南部保育所跡公園のコンクリートブロック製門柱を撤去	高松	松岡建設(株)

## 2目 川越富洲原駅自由通路等管理費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,271,658円	－円	－円	－円	3,310,336円	12,961,322円

近鉄川越富洲原駅自由通路の維持管理に要する費用が主なものです。

### 1 川越富洲原駅自由通路維持管理費

(1) 維持管理経費・・・・・・・・・・・・ 16,088,870円

○需用費

- ・消耗品費（トイレトーパー等） 139,860円
- ・光熱水費 2,071,193円（電気：1,955,054円、上下水道：116,139円）

○役務費

- ・通信運搬費（公衆電話、警備、監視カメラ通信） 231,131円

○委託料

- ・事業委託

事業名	支出額	事業の概要	施行者
川越富洲原駅前公衆トイレ警備業務委託	97,200円	公衆トイレ警備 1箇所	セコム三重(株)四日市支店

・清掃委託

事業名	支出額	事業の概要	施行者
川越富洲原駅橋上線自由通路等清掃業務委託	2,797,200円	自由通路、屋外トイレ、東西広場、日常清掃、定期清掃、ガラス清掃 一式	(株)ゴールド美装社

・保守管理委託

事業名	支出額	事業の概要	施行者
川越富洲原駅駐輪場管理	5,114,350円	駐輪場管理一式	ことぶき人材センター
川越富洲原駅自由通路エレベーター保守点検業務委託	1,062,720円	エレベーター 2基 保守点検一式	三菱電機ビルテクノサービス(株)中部支社三重支店
川越富洲原駅前広場植栽維持管理業務委託	896,400円	植栽維持管理 一式	渡邊造園(株)川越営業所
自由通路自動火災報知設備点検業務委託	71,280円	設備点検一式	矢野防災設備(株)

自由通路シャッター点検	51,840円	シャッター3基の点検	三和シャッター工業(株)
川越富洲原駅プランター植替え業務委託	425,520円	駅前広場プランター植替え	(株)翠豊園
川越富洲原駅前広場監視カメラ設備保守点検業務委託	378,000円	監視カメラ保守点検一式	(株)扇港電気
計	8,000,110円		

○使用料及び賃借料

- ・川越富洲原駅前駐車場等用地 809,256円

○工事請負費

- ・修繕工事

事業名	支出額	事業の概要	施行者
川越富洲原駅自由通路EV上下点検スイッチ等取替工事	477,360円	EV上下部終点スイッチ磁気近接スイッチ交換	三菱電機ビルテクノサービス(株)中部支社三重支店
川越富洲原駅照明取替修繕工事	691,200円	自由通路ダウンライト12台LED化 駅前広場外灯2台取替	桑名電気産業(株)
その他9件	774,360円	—	—
計	1,942,920円		

#### 4項 下水道費

##### 1目 公共下水道費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
643,823,000円	—円	—円	—円	—円	643,823,000円

公共下水道事業特別会計の事業運営に対する繰出金です。

##### 1 公共下水道事業特別会計事業運営費

###### (1) 事業運営経費

○繰出金

###### 【繰出金の内訳】

区分	支出額
元金償還分	420,323,000円
利子償還分	108,556,000円
その他	114,944,000円
計	643,823,000円

##### 2目 都市下水路費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
14,637,653円	—円	—円	—円	96,203円	14,541,450円

朝明川以南の地域での浸水対策として、四日市市と共同で設置している朝明ポンプ場の維持管理に要する費用です。

1 朝明ポンプ場維持管理費

(1) 維持管理経費

○負担金、補助及び交付金

事業名	支出額	事業の内容
朝明ポンプ場 維持管理負担金	14,637,653 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度維持管理費実績額 (37,905,000 円) の 27% を負担 10,234,350 円</li> <li>・平成 30 年度大規模改修費実績額 更新工事(4,500,000 円) の 38% を負担 1,710,000 円 設計業務委託(9,441,000 円-補助金 3,776,400 円) の 38% を 負担 2,152,548 円 事務費負担 540,755 円 大規模改修費合計額 4,403,303 円</li> </ul>

3 目 排水施設管理費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,270,214 円	－円	－円	－円	598,691 円	1,671,523 円

朝明川以北の地域での浸水対策として、設置している里中排水機場及び湛水防除排水機場の維持管理に要する費用です。

1 里中排水機場維持管理費

(1) 維持管理経費

区分	支出額	事業の内容
需用費	1,225,882 円	光熱水費 <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気代 1,216,090 円</li> <li>・上水道代 9,792 円</li> </ul>
委託料	394,146 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気設備定例保安業務 390,096 円</li> <li>・消防設備保守点検 4,050 円</li> </ul>
使用料	8,424 円	・水位計通報線共架料
計	1,628,452 円	

2 湛水防除排水機場維持管理費

(1) 維持管理経費

区分	支出額	事業の内容
需用費	398,384 円	光熱水費 <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気代 388,566 円</li> <li>・上水道代 9,818 円</li> </ul>
委託料	144,018 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気設備定例保安業務 139,968 円</li> <li>・消防設備保守点検 4,050 円</li> </ul>
工事請負費	99,360 円	・雑木撤去工事 99,360 円
計	641,762 円	

## 8 款 消 防 費

### 1 項 消防費

#### 1 目 常備消防費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
153,375,331円	－円	－円	－円	－円	153,375,331円

朝日町と共同で委託をしている四日市市への消防事務委託に要する費用です。

#### 1 消防事務委託費

##### (1) 一般経費

##### ○委託料

・消防事務 153,375,331円

四日市市北消防署朝日川越分署等要員 25 人の人件費及び、施設・消防車両等の維持管理費

#### 【平成 30 年中の火災発生件数及び救急出動件数】

項目	建物	その他	計	項目	件数
火災発生	3 件	1 件	4 件	救急出動	589 件

#### 2 目 非常備消防費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
37,113,616円	2,583,000円	2,588,600円	－円	3,000,000円	28,942,016円

消防団の活動や防災・減災対策に要する費用が主なものです。

#### 1 消防団活動費

(1) 消防団員報酬等・・・・・・・・・・ 9,946,500円

##### ○報酬

・消防団員報酬 6,001,500円

職名	人数	年額	合計	備考
団長	1 人	130,000円	130,000円	
副団長	2 人	90,000円	180,000円	
分団長	11 人	75,000円	825,000円	
副分団長	11 人	59,000円	649,000円	
班長	11 人	50,000円	550,000円	
団員	82 人	45,000円	3,667,500円	1 名半期分のみ支給

##### ○旅費

・費用弁償

訓練等手当 2,227,500円 (2,500円×891人)

訓練等内容	出動人数	訓練日等	実施場所
新団員研修及び分団長研修	34 人	4 月 8 日	朝日川越分署、役場庁舎
教養訓練	85 人	4 月 22 日	役場庁舎



公設連携訓練	89人	5月～6月	朝日川越分署
朝明商工祭	3人	6月2日	旧役場跡地
操法大会	94人	7月1日	役場庁舎
防災訓練	87人	9月2日	各地区
普通救命講習	5人	10月14日	役場庁舎
秋の火災予防パレード 他	35人	11月3日	町内全域
秋の火災予防運動	43人	11月9日	町内全域
出発式及び年末特別警戒	285人	12月28日	町内全域
出初式準備	3人	1月7日	朝日小学校
出初式	84人	1月8日	朝日小学校
春の火災予防運動	39人	3月1日	町内全域
前田運送(株)公設連携訓練	5人	3月7日	前田運送(株)

出動手当 647,500円 (2,500円×259人)

出動内容	出動人数	出動日
誤報 (四日市梱包株式会社)	24人	4月8日
誤報 (第一杉の木ハイツ)	93人	7月1日
じゃんじゃん亭火災	72人	8月24日
朝明配水場付近火災	70人	1月2日

○負担金、補助及び交付金

・消防団補助 600,000円 ・第1機動隊補助 470,000円

(2) 消防団員活動服更新事業

消防庁からの「消防団の装備の基準」を満たした活動服に全団員分の更新を行いました。

○需用費

・消耗品費 (活動服 130着) 2,035,800円

2 防災・減災対策費

(1) 防災訓練事業

住民の防災意識を啓発するため、各地区において自主防災組織と消防団が連携して防災訓練を行いました。

○役務費

・防災保険 14,000円

(2) 災害用無人航空機 (ドローン) 整備事業・・・・・・・・・・・・ 482,472円

上空からより詳細な被災状況を情報収集し、迅速な災害対応を行うことができるようになるため、職員5名に対しドローン操縦研修を行いました。また、ドローンを1機購入しました。

○報償費

・ドローン研修 189,000円

○備品購入費

・ドローン機体及び装備一式 293,472円

(3) 地域防災計画修正等事業

町地域防災計画の改訂から3年が経過し、国及び県の防災計画などの改訂との整合を図るため、地域

防災計画の改訂を行いました。併せて、業務継続計画を策定しました。

○委託料

- ・地域防災計画改定業務 6,168,960 円

(4) 木造住宅耐震化事業・・・・・・・・・・・・ 5,665,400 円

木造住宅の地震に対する安全性の向上を図り、地震に強いまちづくりを進めるため、木造住宅の耐震診断や耐震補強設計、耐震補強等事業に取り組みました。

○委託料

耐震診断を行う方の申し込みを受け付け、委託により耐震診断を行い、対象者に耐震診断に関する情報提供を行いました。

事業名	支出額	件数
木造住宅耐震診断及び補強工事概算工事費 情報提供	926,400 円	20 件

○負担金、補助及び交付金

耐震補強設計、耐震補強工事、除却事業を行う方に対して補助金を交付しました。

事業名	支出額	件数
木造住宅耐震補強設計事業	160,000 円	1 件
木造住宅除却事業	2,100,000 円	7 件
避難路沿道建築物耐震診断事業費補助金	2,479,000 円	1 件
計	4,739,000 円	

(5) 耐震シェルター設置事業・・・・・・・・・・・・ 250,000 円

地震による住宅の倒壊から居住者の生命を守り、地震に強いまちづくりを進めることを目的として、耐震シェルターを設置する者に対し、補助金を交付しました。

○負担金、補助及び交付金

- ・耐震シェルター設置事業 1 件 250,000 円

3 災害対策費

(1) 災害用備蓄物資整備事業

災害時に備えるため、避難者や被災者に支給する非常用毛布や非常食等を購入しました。

○需用費

事業名	支出額	事業の概要
災害用備蓄物資整備事業	7,195,186 円	○需用費（消耗品費） 非常時持出米（1,008 食） 488,376 円 アルファ化米（1,700 食） 1,670,220 円 長期保存型パン（1,500 食）（上記に含む。） 災害用ビスケット（3,000 食）（上記に含む。） 長期保存水 500ml（1,512 本） 293,932 円 防災用哺乳ボトル（300 個） 97,200 円 ウェットティッシュ（150 パック） 102,060 円 備蓄用不織布毛布（500 枚） 1,188,000 円 避難所用簡易間仕切り（50 セット） 2,268,000 円 カマドベンチ用寸動鍋（20 個） 142,128 円 マンホールトイレ用テント（36 張） 945,270 円 マンホールトイレ用便座（7 据）（上記に含む。）

### 3目 消防施設費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
36,368,037円	－円	2,825,000円	－円	1,500円	33,541,537円

消防自動車や消防資機材、消火栓等に要する費用が主なものです。

#### 1 消防自動車等管理費

- (1) 消防自動車維持管理経費・・・・・・・・・・・・ 1,451,300円
- 需用費
    - ・燃料費（4台） 36,352円
    - ・修繕料（11台） 353,548円
  - 役務費
    - ・手数料（車検4台、12か月10台、6か月14台） 612,300円
    - ・自動車損害保険料（自賠責保険：4台、任意保険：14台） 265,700円
  - 公課費
    - ・自動車重量税（4台） 183,400円

#### 2 消防用資機材等費

- (1) 消火栓維持管理経費・・・・・・・・・・・・ 3,029,389円

##### ○需用費

区 分	支出額	支出内容
消耗品費	1,515,780円	・消火栓用ホース（70本） 1,417,500円 ・消火栓用格納箱（7台） 98,280円
修繕料	5,990,696円	平成29年度腐食等調査結果修繕対象消火栓 8箇所 消火栓全枠ライン復旧工事 1箇所

##### ○工事請負費

事業名	支出額	事業の概要
消火栓改良工事	876,137円	豊田地区 地上式から地下式へ1か所

#### 3 消防団施設整備事業費

- (1) 第5分団消防車庫建設事業)

第5分団消防車庫（当新田）を地区公民館敷地に建設しました。

事業名	支出額	事業の概要
第5分団消防車庫建設事業	18,359,320円	<ul style="list-style-type: none"> <li>○概要               <ul style="list-style-type: none"> <li>・施工場所：当新田公民館地内</li> <li>・構造：鉄骨造平屋建て</li> <li>・敷地面積：139.50㎡</li> <li>・のべ面積：43.20㎡</li> </ul> </li> <li>○需用費               <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（三重県証紙）22,000円</li> <li>・修繕費（樹木伐採工事）24,840円</li> </ul> </li> <li>○委託料               <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防車庫建設工事監理業務 1,292,760円</li> </ul> </li> <li>○工事請負費               <ul style="list-style-type: none"> <li>・当新田消防車庫建設工事 17,019,720円</li> </ul> </li> </ul>

#### 4 消防防災施設費

##### (1) 全国瞬時警報システム更新事業

国において、情報伝達に要する処理時間の大幅な短縮や、特別警報等の伝達情報の充実が可能となる新たな送信システムに変更されました。これに伴い情報を受信するためのシステム機器の更新を行いました。

###### ○委託料

- ・全国瞬時警報システム更新業務 2,797,200円

#### 4目 水防費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
194,047,050円	－円	30,774,700円	－円	3,000円	163,269,350円

水害への備えや水害時における災害対応に要する費用が主なものです。

#### 1 水防活動費

##### (1) 水防活動経費

###### ○旅費

- ・費用弁償

出動手当 337,500円 (2,500円×135人)

出動内容	出動人数	出動日
台風12号による警戒	72人	7月28日
台風21号による警戒	34人	9月4日
台風24号による警戒	29人	9月30日

#### 2 水防施設整備費

##### (1) 豊田水防倉庫建設事業

朝明川右岸の水防活動の拠点となる水防倉庫を建設しました。

事業名	支出額	事業の概要
豊田水防倉庫建設事業	189,101,681円	<ul style="list-style-type: none"> <li>○概要               <ul style="list-style-type: none"> <li>・施工場所：川越町大字豊田地内</li> <li>・構造：鉄骨造3階建</li> <li>・敷地面積：1,256㎡</li> <li>・のべ面積：853㎡                   <ul style="list-style-type: none"> <li>1階（水防資機材倉庫）304㎡</li> <li>2階（備蓄資機材倉庫）245㎡</li> <li>3階（避難場所）304㎡</li> <li>R階（避難場所）304㎡</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○需用費               <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（三重県証紙、救命胴衣）200,920円</li> </ul> </li> <li>○委託料               <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田水防倉庫建設工事監理業務委託 3,171,420円</li> </ul> </li> <li>○使用料及び賃借料               <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田水防倉庫建築に係る借地料 979,200円</li> </ul> </li> <li>○工事請負費</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊田水防倉庫建設工事（建築工事） 164,430,000円</li> <li>・ 豊田水防倉庫建設工事（電気設備工事） 17,128,800円</li> <li>○ 備品購入費</li> <li>・ 組立式FRPボート等 2,239,920円</li> </ul>
--	--	---

### 3 水防費

#### (1) 防災カメラ画像配信システム構築事業

防災カメラの画像配信システムを構築しました。

○委託料

事業名	支出額	事業の概要
防災カメラ画像配信システム構築事業	648,000円	防災カメラの映像を静止画として町ホームページ上で公開

#### (2) 豊田一色水防倉庫活動用地ブロック塀撤去工事

豊田一色水防倉庫活動用地におけるブロック塀の撤去工事を実施しました。

○工事請負費

事業名	支出額	事業の概要
豊田一色水防倉庫活動用地ブロック塀撤去工事	1,285,200円	建築基準法に不適合なブロック塀等の撤去・改修

## 9款 教 育 費

### 1項 教育総務費

#### 1目 教育委員会費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
990,700円	－円	－円	－円	－円	990,700円

教育委員会費は、教育委員会委員の運営に要する費用が主なものです。

#### 1 教育委員会費

(1) 教育委員会経費・・・・・・・・・・・・ 990,700円

教育委員会は、本町の教育行政を行う機関として、学校教育分野と社会教育分野の効果的な教育行政の推進を図るため、各分野の議案審議、状況把握及び課題に関する協議を行いました。なお、平成29年10月19日より教育委員長を置かない新教育委員会制度へ移行しています。

- ・教育委員会定例会等 定例会（12回、校園長会と合同開催）及び臨時会（2回）を開催するとともに、幼稚園・小中学校・あいあいセンターを訪問し、教育現場等の現状把握に努めました。
- ・研修事業 県教育委員会等が主催する研修会に参加するとともに、視察研修を行うことにより、教育行政の課題等の認識を深めました。

区分	日 程	行き先	内 容
研修会	8月29日(水)	嬉野生涯学習センター (松阪市)	初等中等教育の施策の動向
	11月1日(木)	三重県総合文化センター (津市)	三重の教育談義 ・三重県いじめ防止フォーラム
視察 研修	9月27日(木) 9月28日(金)	新潟県聖籠町 ・聖籠町教育委員会 ・聖籠中学校	子ども家庭相談センター 放課後学習クラブ コミュニティスクール 課の再編 (子ども教育課の運営) 教科センター方式等の視察

#### ・教育委員会人事

10月1日、教育委員任期満了による退任に伴い新たに教育委員を任命しました。

#### ○報酬

- ・教育委員会委員（4人） 520,000円

#### ○旅費

- ・費用弁償（研修会出張旅費） 30,000円
- ・普通旅費（会議等出張旅費） 14,800円
- ・特別旅費（視察研修旅費） 247,510円

#### 2目 事務局費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
115,905,307円	20,000円	－円	－円	3,008,738円	112,876,569円

事務局費は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、教育委員会の権限に属する事務に要する費用が主なものです。

1 事務局給与費

(1) 教育長給与費・・・・・・・・・・ 13,969,959 円  
 (給料、期末手当、共済費)

(2) 一般職給与費(指導主事及び事務職員6人)・・・・・・・・・・ 58,218,662 円  
 (給料、職員手当、共済費)

指導主事の 配置	指導主事を2人配置し、教育課程や学習指導など学校教育に関する専門的事項について、所管の園・学校の教職員に指導助言を行いました。 また、児童生徒の問題行動、いじめ問題、不登校問題など、学校現場の抱える課題が多様化する中で、保護者や教職員の相談役としての役割を担いました。 そのほか関係する課及び関係機関と連携を図り、特別支援教育の充実に取り組みました。
-------------	---

2 事務局総務費

(1) 臨時職員賃金(賃金、共済費)  
 ・事務補助(1人) 1,381,590 円

(2) 奨学金事業

経済的理由により修学が困難な学生に対し、修学に必要な資金を貸与及び付与し、有為な人材の育成に努めました。

○貸付金

・奨学金 6,720,000 円

【修学資金貸与及び就学支度金付与状況】

大学生	新規認定	なし(修学資金貸与及び就学支度金付与)
	継続	7人(修学資金貸与)
短大生	新規認定	なし(修学資金貸与及び就学支度金付与)
高校生	継続	1人(修学資金貸与)

3 事務局指導費

(1) 一般経費

○賃金

・臨時職員賃金(日本語指導講師ほか) 15,805,705 円

小中学校の状況に応じ、必要とする職員を次のとおり配置しました。

配置内容	支出額	事業内容
日本語指導講師	3,646,920 円	外国人日本語指導講師を4人配置し、児童生徒在籍校へ巡回訪問して日本語指導を行い、学校生活におけるコミュニケーション能力向上等の適応指導を図りました。また、学年相当の教育課程を学習するための学習支援を通して、進路相談等も行いました。 <b>【各校の日本語指導が必要な外国人児童生徒数】</b> 北小学校：スペイン語2人、タガログ語1人 南小学校：ポルトガル語1人、スペイン語1人、タガログ語2人 中学校：ポルトガル語1人、ベトナム語1人、タガログ語1人、
基礎学力充実教員	9,625,930 円	小中学校に非常勤講師13人を配置し、少人数授業等きめ細かな指導体制の充実とともに、基礎学力の定着を図りました。

不登校児童生徒指導員	690,965 円	不登校児童生徒指導員を7人配置し、小中学校において不登校の状況にある児童生徒に対して、教職員と連携し、学校復帰に向けての支援を行いました。 配置状況：月・水・金曜日 10:00～12:00
学力向上推進等のためのアドバイザー力向上推進事業) 職員人材育成事業(就学前教育アドバイザー配置事業)	1,841,890 円	授業や学級運営、特別支援教育に関するアドバイザーを2人配置し、週に1回程度各小中学校を巡回し、教員へ適切な助言・指導を行い、授業力の向上を図りました。 幼稚園教諭及び保育士の一層の資質向上を図るとともに就学前教育の充実を図るため、非常勤講師としてアドバイザーを2名配置し、指導・助言を行いました。 幼稚園：1～2回/月 保育所：4～5回/年

## (2) 教育研究、研修事業費

教職員の資質向上を図るため、全教職員を対象に研修会を実施しました。また、指導力向上及び授業研究推進を目的として、県外研修に参加するなど教育研究に取り組む教職員への助成を行いました。

特別支援教育に関わる教職員、生活支援員・学習支援員を対象に、支援を要する幼児・児童・生徒に対する適切な支援方法について、研修を実施しました。

### 【町教育委員会主催教職員研修会実施状況】

実施日	研修内容	講師	受講者
5月9日(水)	川越町特別支援教育担当者等研修会 講演「子どもの力を伸ばす支援のあり方～事例検討を通して」	西日野にじ学園地域支援部 永井 優希先生	34人
8月2日(木)	保幼小中連携研修会 講演「子どもの育ちと学びをつなぐ保・幼・小・中連携」	上越教育大学 大学院教授 木村 吉彦先生	103人
8月3日(金)	教職員研修会 ①講演「学び合いのある授業づくり」 ②「平成29年度川越町教育研究員」 還流報告 (1)「トレーニングとしての英語・コミュニケーションとしての英語」 (2)「児童の効果的な指導・支援のあり方」	川越町学力向上アドバイザー 松本 章先生  川越中学校 城田敬広先生  川越南小学校 伊藤由美子先生	83人
9月3日(月)	川越町学習(生活)支援員研修会 講演「支援員の役割と支援」	川越町特別支援教育 スーパーバイザー 加藤 裕子先生	32人

## (3) JAXA(宇宙航空研究開発機構)との連携授業事業

子どもたちの宇宙・科学・環境などに対する知的好奇心や探究心を高めるとともに、科学的な考え方や見方を育てるために、専門的な知識や情報を持ったJAXA職員を講師に迎え、「川越町から宇宙へー地球・月・太陽ー」をテーマに、11月20日に両小学校において連携授業を実施しました。



○旅費

- ・費用弁償（講師旅費） 25,870 円

(4) 子どもの読書活動推進事業・・・・・・・・・・・・ 3,985,200 円

幼稚園・小中学校に学校図書館司書を配置し、「選書」「破損補修」「廃棄」などの整備業務や「読書案内」「貸し出し」「予約・リクエスト」「督促」などのカウンター業務、「テーマコーナーの設置」「読み聞かせ」「ブックトーク」「図書だよりの発行」「図書館まつりの補助」など、園・学校図書館運営の充実と子どもの読書活動の推進を図りました。

平成 28 年度からは、あいあいセンター図書室の団体貸出の利用を開始し、子どもがたくさんの本に出会えるよう働きかけています。

○役務費

- ・図書管理システム通信料 64,800 円

○委託料

- ・学校図書司書 3,628,800 円
- ・学校図書システム保守 291,600 円

【司書の配置状況】

区 分	時 間
幼稚園（金曜日）	9:00～15:30
北小学校（金曜日）	9:00～15:30
南小学校（火曜日）	9:30～16:00
中学校（金曜日）	9:30～16:00

【図書の利用状況】

区 分	蔵書冊数 （冊）	貸出冊数 （冊）	貸出冊数 前年度伸率 （%）	貸出利用人数 （人）	貸出利用人数 前年度伸率 （%）
幼稚園	3,965	8,255	△0.3	2,038	1.4
北小学校	12,341	27,194	1.2	4,807	3.0
南小学校	11,492	17,626	△4.8	3,179	△6.8
中学校	12,901	2,134	△14.1	567	△25.2
合 計	40,699	55,209	△1.7	10,591	△2.3

(5) 法教育推進事業（豊かな心を育成する事業①）

平成 29 年度から三重弁護士会に委託し、弁護士を講師として招聘しています。「学校の決まりを守る。」「友達との約束を守る。」などの基本から司法制度までの学習を通して規範意識の醸成を図るとともに公の精神を培いながら社会性を養うことにより豊かな心の育成に取り組んでいます。

○委託料

- ・法教育推進 100,000 円

実 施 日	対 象・内 容	備 考
9 月 12 日（水）	川越南小学校 5 年生 「バスケットボール部のルールについて考えよう」【規則の尊重】	弁護士 7 人
10 月 26 日（金）	川越北小学校 5 年生 「バスケットボール部のルールについて考えよう」【規則の尊重】	弁護士 7 人

10月11日(木)	川越中学校2年生 「AKP 暴露本事件について考えよう」 【遵法精神・公德心】	弁護士9人
-----------	---	-------

(6) 夢の創造推進事業(豊かな心を育成する事業②)

平成29年度からJFA(日本サッカー協会)こころのプロジェクトである「夢の教室」を実施しています。スポーツ界で活躍した選手等を招聘して「夢先生」として自らの体験をもとに「夢を持つことの素晴らしさ」「仲間と協力することや、助け合うことの重要性」などを講義と実技をもって子どもたちに伝えてくれます。いじめや不登校などは自尊感情や自己肯定感の低さが原因の一端であることから、この「夢の教室」の実施を通して子どもたちが自身の夢を創造するとともに誇りを持つことにより豊かな心の育成に取り組んでいます。

○委託料

- ・夢の創造推進 494,400円

実施日	対象・内容	備考
12月10日(月)	川越北小学校5年生 「実技指導・夢先生の夢トーク」	徳田耕太郎さん (フリースタイルサッカー選手) 才木浩人さん (プロ野球選手)
12月11日(火)	川越南小学校5年生 「実技指導・夢先生の夢トーク」	湯田友美さん (元陸上選手)

(7) 小中学校ICT整備事業・・・・・・・・・・・・ 7,877,088円

幼稚園・小中学校から保護者や地域の方に向けて、活動や取り組み等の情報を発信するための重要なツールとしてホームページを開設しています。

平成26年9月から小中学校の教職員用パソコン機器一式をリースし、教職員の授業の向上や事務の効率化を図っています。

この事業に要した経費は、次のとおり。

○委託料

- ・学校ホームページ保守管理 660,960円

○使用料及び賃借料

- ・小中学校教職員校務用パソコン機器 7,216,128円

(8) いじめ問題対策への取り組み

いじめ防止対策推進法及び川越町いじめの防止等のための組織に関する条例に基づき、11月5日に川越町いじめ問題対策連絡協議会を開催しました。

同協議会では、各関係機関のいじめ対策の活動内容等を共有するとともに子どもたちの現状や事例報告に基づき、専門的な立場から協議をしました。

3目 住宅管理費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
32,076円	－円	－円	－円	－円	32,076円

教職員住宅の維持・保全に要する費用です。

1 教員住宅管理費

○委託料

- ・教員住宅除草作業 32,076円

4目 語学指導等外国人招致費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,072,000円	－円	－円	－円	1,670,100円	7,401,900円

児童生徒が、外国語に対する興味・関心を持ち国際理解を深めるとともに、生きた英語に対する機会を充実させるために外国人英語指導助手（ALT）による外国語教育に要する費用です。

1 外国語教育指導事業

外国人英語指導助手（ALT）2人を配置し、小学校で週2～3回、中学校で週4回、ALTを活用した授業、外国語活動を行っています。

また、平成28年9月から、川越町で育つ子どもの就学前からの外国語活動を充実させ、将来川越町を担う国際感覚豊かな人材を育成するため、外国人英語指導助手1人を配置し、幼稚園で週に1回英語による活動を行っています。

○委託料

- ・外国語教育 9,072,000円

事業名	支出額	概要等
外国人英語指導業務	9,072,000円	派遣回数 小学校 147回、中学校 188回 幼稚園 36回、保育所 146回

2項 小学校費

1目 学校管理費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
244,249,301円	707,000円	－円	－円	2,056,856円	24,185,445円

児童が安全で快適な学習環境のもとで学べるよう、教育環境の整備等に要する費用が主なものです。

1 学校管理事務費

- (1) 嘱託職員及び臨時職員賃金（賃金、共済費）・・・・・・・・・・ 52,451,740円
  - ・嘱託職員（学習支援員：12人、用務員：2人） 39,525,509円
  - ・臨時職員（生活支援員：13人、代替養護教諭） 12,926,231円

通常の学級及び特別支援学級における支援を要する児童が豊かに学校生活を過ごせるよう、学習支援員及び生活支援員を配置しました。

【学習支援員及び生活支援員配置状況】

職種	配置人数			
学習支援員	北小学校	7人	南小学校	5人
生活支援員	北小学校	7人	南小学校	6人

2 小学校施設管理費

- (1) 学校施設維持管理整備事業・・・・・・・・・・・・ 170,748,944円

児童が安全で快適な学習環境のもとで学べるよう、校舎等の維持管理及び、改良工事や備品の整備を行い、教育環境の向上を図りました。特に平成30年度においては、北小学校教室・職員室増築他改修

工事のための実施設計、放送設備の改修、北・南小学校の空調設備設置の他、学校施設の防災・防犯機能強化や授業環境改善のための整備を実施しました。

事業に要した費用は、次のとおり。

【学 校 維 持 管 理 費】

学校区分	区 分	支出額	事業内容
北小学校	光熱水費	3,681,897 円	・電気代 3,286,102 円 ・上下水道代 385,539 円 ・ガス代 10,256 円
	修繕料	2,640,600 円	・雨水ろ過装置修繕 772,200 円 ・エアコン修繕工事 464,832 円 ・放送室カーテン取付工事 300,240 円 ・北校舎一階北面フィルム工事 284,040 円 ・その他 819,288 円
	委託料	2,361,805 円	・エレベーター保守点検 498,960 円 ・その他 1,862,845 円
	その他経費	593,524 円	・電話代等 440,926 円 ・水質検査等 53,600 円 ・クリーニング 46,018 円 ・ガス漏れ警報器 38,400 円 ・モップ 14,580 円
	合計	9,277,826 円	

南小学校	光熱水費	3,860,551 円	・電気代 2,973,483 円 ・上下水道代 874,074 円 ・ガス代 12,994 円
	修繕料	3,068,733 円	・消防設備等修繕 741,074 円 ・昇降機標準修理 624,240 円 ・放送設備修理 417,960 円 ・その他 1,285,459 円
	委託料	2,526,814 円	・エレベーター保守点検 997,920 円 ・その他 1,528,894 円
	その他経費	837,376 円	・燃料費 19,000 円 ・電話代等 427,805 円 ・水質検査等 53,600 円 ・クリーニング 283,991 円 ・ガス漏れ警報器 38,400 円 ・モップ 14,580 円
	合計	10,293,474 円	
総計	19,571,300 円		

【学 校 工 事 関 係 費】

区分	事業名	区 分	支出額	事業概要
北小学校	空調設備設置工事	委 託 料	1,596,672 円	空調設備設置工事監理業務
		工事請負費	62,326,800 円	空調設備設置工事

		計	63,923,472円	
	放送設備改修工事	委託料 工事請負費	10,573,200円	放送設備改修工事に係る監理委託費及び工事請負費
	教室・職員室増築 他改修工事設計業務	委託料	4,155,840円	教室・職員室増築他改修工事設計委託費及び昇降機耐震計算書作成業務委託費
	プールろ過装置修繕	工事請負費	1,404,000円	劣化による配管交換及び切換弁、シリンダーの修繕
	学校施設ブロック 塀等撤去・改修	工事請負費	1,199,120円	建築基準法に不適合なブロック塀等の撤去・改修
	その他の工事	工事請負費	600,480円	窓枠ストッパー設置工事、高架水槽補修工事
合計			81,856,112円	
南小学校	空調設備設置工事	委託料	1,596,672円	空調設備設置工事監理業務
		工事請負費	62,413,200円	空調設備設置工事
		計	64,009,872円	
	玄関庇防水修繕工事	工事請負費	1,296,000円	雨漏りによる防水修繕工事
	学校施設ブロック 塀等撤去・改修	工事請負費	949,000円	建築基準法に不適合なブロック塀等の撤去・改修
	雨水管整備工事	工事請負費	648,000円	雨水排水用ヒューム管の樹木の根による閉塞復旧
	その他の工事	工事請負費	973,080円	窓枠ストッパー設置工事、放送設備改修、職員室雨漏り修繕、高架水槽補修工事
合計			67,875,952円	

### 【管理備品整備費】

#### ○備品購入費

区分	支出額	事業内容
北小学校	853,200円	・児童用机、イス、視力計等
南小学校	592,380円	・生徒用机、プリント収納棚、視力計等
合計	1,445,580円	

#### (2) 小学校ICT整備事業

平成26年11月から両小学校のパソコン教室等の教育用パソコン機器一式をリースし、ICT機器を使用して「基本的な情報機器の操作」・「適切な情報活用の学習活動」・「情報モラル」等の学習を行い、情報活用能力の向上を図っています。事業に要した費用は、次のとおり。

#### ○使用料及び賃借料

事業名	支出額	事業の概要
小学校教育情報システム事業 (平成30年度分)	9,141,984円	パソコン 84台

#### 3 スクールサポート事業

主に1年生の集団下校時の安全確保のための対策として、各小学校にサポート者を配置しました。

#### ○委託料

事業名	支出額	配置人数
スクールサポート事業	2,260,721円	北小学校 3人 南小学校 4人

#### 4 小学校保健費

学校における児童及び教職員の健康保持や健康増進のために、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱し、健康診断や保健指導を行いました。

(1) 保健事業費・・・・・・・・・・・・ 3,548,932円

○報酬

- ・内科（1人） 1,107,550円
- ・歯科（2人） 850,000円
- ・薬剤師（2人） 308,400円

○役務費

- ・児童検診（885人） 718,012円
- ・職員検診（17人） 564,970円

#### 【検診内容】

区分	内容
児童	内科検診、歯科検診、検尿、心電図、結核検診
教職員	検尿、結核検診、内科検診、胃検診（40歳以上）、B型肝炎（養護、特別支援担任、生活支援員） 血液、心電図、聴力（新規採用、35歳以上）

## 2目 教育振興費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
19,135,698円	651,000円	－円	－円	171,808円	18,312,890円

小学校の教育振興のため、児童の教材や図書の整備等、きめ細やかな指導の充実に要する費用が主なものです。

### 1 小学校教育振興費

#### (1) 特別検診事業

児童の更なる健康の増進を目的に、学校医として眼科医、耳鼻科医を委嘱し、児童の検診を実施しました。

○報償金

- ・特別検診 1,330,770円

#### (2) Q-U事業

学校・学級の集団生活ないし諸活動に対する帰属感や満足感などを調査する「楽しい学校生活を送るためのアンケート Q-U」を行い、いじめや不登校等の早期発見に努めました。結果を分析し、見守りが必要な児童への対応、教育活動への活用を図りました。

○需用費

- ・消耗品費（QUテスト） 457,870円

#### (3) 読書活動推進事業

学校図書の充実を図り、学校の教育課程の展開に役立たせるとともに、児童の教養を育成するため、図書の適正廃棄及び適切な選書による新刊の充填を進めています。

なお、両小学校とも、文部科学省の設定した学校図書館図書標準に到達しております。  
また、6月4日から10日までをファミリー読書週間とし、「ノーテレビ・ノーゲーム」を掲げて家庭読書の推進に取り組みました。

学校図書館図書標準に対し、北小学校が112.6%、南小学校が120.2%となっています。

○備品購入費

- ・図書 729,051円

(4) 読書旅行事業（豊かな心を育成する事業③）

平成29年度からは、「読書旅行」と題した推薦図書掲載のオリジナルブックリストを作成・配付し、読書に対する関心や意欲を高め、読書の履歴を残すことで達成感を得られるように取り組みました。

- ・低学年用ブックリスト「読書日本一周」、高学年用ブックリスト「読書世界一周」の作成
- ・推薦図書（南北小学校低学年 各100冊、南北小学校高学年 各100冊 計400冊）の購入

○需用費

- ・印刷製本費 691,200円

(5) 振興備品整備事業

学校教育における各種教材備品等の整備充実を図ることにより、授業の効率化を促進しました。

○備品購入費

- ・教材用備品

区 分	支出額	整備内容
北小学校	845,759円	キーボード・ボール・ホワイトボード・折りたたみサークルマット・ドライバースセット・漢字イラストカード・大型テレビ・理科薬品庫・理科ドライステーション・強力電磁石・星座早見盤・スネアドラム・大玉・システムストップウォッチ
南小学校	719,946円	キーボード・体育用セフティマット・月の満ち欠け説明器、骨と筋肉の動き実験機・星座早見盤・ミニバスケットゴール
合計	1,565,705円	

(6) 自然教室事業

自然の大切さなどを学ぶことや集団生活の中で互いに協力し合うことの重要性を理解することなどを目的に、野外体験活動として、5年生を対象に朝明溪谷で自然教室を実施しました。

○負担金、補助及び交付金

区 分	支出額	事業内容
北小学校	735,473円	実施日：10月10日～11日 参加人数 72人
南小学校	673,781円	実施日：9月27日～28日 参加人数 61人
合計	1,409,254円	

2 小学校就学援助事業

(1) 就学奨励費

経済的理由によって、就学困難な児童の保護者に対し、給食費・学用品費・修学旅行費等就学に必要な経費の援助を実施しました。

また、平成30年度より新入学児童の学用品費についての前倒し支給を実施しました。

対象児童数 91人 前倒し支給対象者数 12人

○扶助費

- ・就学奨励費 6,223,935円

(2) 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級在籍児童の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、給食費・学用品費・修学旅行費

等就学に必要な経費の一部を援助しました。対象者は、30人。

○扶助費

・特別支援教育就学奨励費 964,333円

### 3項 中学校費

#### 1目 学校管理費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
48,812,964円	1,358,000円	－円	－円	5,549,858円	41,905,106円

生徒が安全で快適な学習環境のもとで学べるよう、教育環境の整備等に要する費用が主なものです。

#### 1 学校管理事務費

(1) 嘱託職員及び臨時職員賃金（賃金、共済費）・・・・・・・・・・ 6,805,991円

・嘱託職員（用務員：1人） 2,842,722円

・臨時職員（生活支援員：4人、代替養護） 3,963,269円

特別支援学級における支援を要する生徒が豊かに学校生活を過ごせるよう、生活支援員を配置しました。

#### 2 中学校施設管理費

(1) 学校施設整備事業・・・・・・・・・・ 20,115,826円

生徒が安全で快適な学習環境のもとで学べるよう、校舎等の維持管理及び改良工事を行い、教育環境の向上を図りました。特に平成30年度においては、防災機能強化のための整備を実施しました。

事業に要した費用は、次のとおり。

#### 【学校維持管理費】

区分	支出額	支出の内容
光熱水費	6,289,830円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気代 4,967,270円</li> <li>・上下水道代 1,311,671円</li> <li>・ガス代 10,889円</li> </ul>
修繕料	5,012,323円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール濾過循環配管修繕工事 864,000円</li> <li>・高圧受電設備改修工事 723,600円</li> <li>・ボーダーライトランプ取替修繕 702,000円</li> <li>・エレベーター修繕工事 486,000円</li> <li>・普通校舎避難階段塗裝修繕 453,600円</li> <li>・ブラインド改修 410,400円</li> <li>・避難階段手摺修繕 290,520円</li> <li>・その他 1,082,203円</li> </ul>
委託料	3,493,604円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーター保守点検 1,166,400円</li> <li>・空調設備保守点検 498,960円</li> <li>・その他 1,828,244円</li> </ul>
その他経費	665,269円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料費 4,940円</li> <li>・電話代等 407,754円</li> <li>・水質検査等 53,600円</li> <li>・クリーニング 98,382円</li> <li>・ガス漏れ警報器 20,736円</li> <li>・モップ・マット 79,857円</li> </ul>



合計	15,461,026 円
----	--------------

**【学 校 工 事 関 係 費】**

事業名	区分	支出額	事業概要
学校施設ブロック塀等 撤去・改修	工事請負費	4,183,920 円	建築基準法に不適合なブロック 塀等の撤去・改修
その他の工事	工事請負費	470,880 円	特別教室棟屋根防水修繕工事、 高架水槽補修工事
合計		4,654,800 円	

(2) 中学校 I C T 整備事業

平成 26 年 11 月からパソコン教室等の教育用パソコン機器一式をリースし、I C T 機器を使用して「適切かつ主体的、積極的な情報活用の学習活動」・「情報モラル」等を充実させ、高校での情報教育に継承できるよう情報活用能力の向上を図っています。事業に要した費用は、次のとおり。

○使用料及び賃借料

事業名	支出額	事業の概要
中学校教育情報システム事業 (平成 30 年度分)	4,570,992 円	パソコン 42 台

3 デリバリー給食事業

平成 23 年 10 月 1 日から、成長期にある子どもたちの心身の健康保持、正しい食事のあり方と望ましい食習慣を育成することを目的に、家庭弁当併用による「デリバリー方式」の完全給食を実施しています。なお、平成 30 年度の喫食率は、29.67%でした。

○委託料

- ・中学校給食業務 12,641,960 円

4 中学校保健費

学校における生徒児童及び教職員の健康保持や健康増進のために、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱し、健康診断や保健指導を行いました。

(1) 保健事業費・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,465,525 円

○報酬

- ・内科 (1 人) 520,610 円
- ・歯科 (1 人) 402,780 円
- ・薬剤師 (1 人) 154,200 円

○役務費

- ・生徒検診 (395 人) 314,025 円
- ・職員検診 (4 人) 73,910 円

**【検 診 内 容】**

区 分	内 容
生 徒	内科検診、歯科検診、検尿、心電図、結核検診
教職員	検尿、結核検診、内科検診、胃検診 (40 歳以上)、B 型肝炎 (養護、特別支援担任、生活支援員) 血液、心電図、聴力 (新規採用、35 歳以上)

## 2目 教育振興費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,416,963円	146,000円	－円	－円	42,000円	13,228,963円

中学校の教育振興のため、生徒の教材や図書の整備等、きめ細やかな指導の充実に要する費用が主なものです。

### 1 中学校教育振興費

#### (1) 特別検診事業

生徒の更なる健康の増進を目的に、学校医として眼科医、耳鼻科医を委嘱し、生徒の検診を実施しました。

○報償金

・特別検診 592,750円

#### (2) Q-U事業

学校・学級の集団生活ないし諸活動に対する帰属感や満足感などを調査する「楽しい学校生活を送るためのアンケート Q-U」を行い、いじめや不登校等の早期発見に努めました。結果を分析し、見守りが必要な児童への対応、教育活動への活用を図りました。

○需用費

・消耗品費（QUテスト） 239,630円

#### (3) 読書活動推進事業

学校図書の充実を図り、学校の教育課程の展開に役立たせるとともに、児童の教養を育成するため、図書の適正廃棄及び適切な選書による新刊の充填を進めています。

なお、文部科学省の設定した学校図書館図書標準に到達しています。

学校図書館図書標準に対し、110.5%となっています。

○備品購入費

・図書 391,968円

#### (4) 振興備品整備事業

学校教育における各種教材備品や部活動用備品の整備充実を図ることにより、授業等の効率化を促進しました。

○備品購入費

項目	支出額	整備内容
教材用備品	999,648円	トレーニング器具 チューブタイヤ、セフティーマットカバー、ポートボール、書画カメラ、握力計、卓球台、卓球フェンス、ハーモニーディレクター、超短焦点液晶プロジェクター、デジタル生物顕微鏡、電気分解燃料電池実験器、滑車実験器、モノコード、プールフロア

#### (5) 自分発見！中学生・地域ふれあい事業

2年生を対象に、自分の将来の生き方や進路をみつめる活動として、学校、家庭、地域社会が一体となって職場体験を実施しました。

○役務費

・体験学習保険 34,320円

#### (6) 自然教室事業

自然に親しみ、自ら自然体験を求めていくことや集団生活の中で人間的な触れ合いを深め、理解と信

頼を高めることを目的に、野外体験活動として、1年生を対象に県立鈴鹿青少年センター（鈴鹿青少年の森）で自然教室を実施しました。

○負担金、補助及び交付金

支出額	事業内容
908,857円	実施日：6月15日～16日 参加人数 126人

## 2 中学校就学援助事業

### (1) 就学奨励費

経済的理由によって、就学困難な生徒の保護者に対し、給食費・学用品費・修学旅行費等就学に必要な経費の援助を実施しました。

また、平成30年度より新入学児童の学用品費についての前倒し支給を実施しました。

対象生徒数 40人 前倒し支給対象者 12人。

○扶助費

・就学奨励費 4,046,107円

### (2) 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級在籍生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、給食費・学用品費・修学旅行費等就学に必要な経費の一部を援助しました。対象者は、4人。

○扶助費

・特別支援教育就学奨励費 83,775円

## 4項 幼稚園費

### 1目 幼稚園費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
101,324,522円	2,063,815円	3,099,410円	－円	7,561,580円	88,599,717円

幼児の心身の発達の助長に必要となる適正な『環境（生活の場・遊びの場等）』が設定できるよう、保育環境整備や円滑な園運営の向上と保育活動に要する費用が主なものです。

### 1 幼稚園給与費等

(1) 一般職給与費（教諭9人） 49,834,463円  
（給料、職員手当、共済費）

(2) 嘱託職員及び臨時職員賃金 32,014,516円  
※嘱託職員（教諭6人、用務員1人）・臨時職員（講師6人、生活支援員1人）  
（賃金、共済費）

生活支援員	知的、情緒、病弱等の障がいのある幼児は、その障がいの特性による保育上・生活上の困難があるため、円滑に遊びや園生活を送ることができるよう、生活支援員を配置しました。
-------	---

### 2 幼稚園施設管理費

(1) 幼稚園施設整備事業・・・・・・・・・・・・ 6,337,929円

幼児が安全で快適な学習環境のもとで学べるよう、園舎等の維持管理及び改良工事を行い、保育環境の向上を図りました。特に平成30年度においては、園庭の整備を実施しました。

この事業に要する経費は、次のとおり。

**【幼稚園維持管理費】**

区分	支出額	支出の内容
光熱水費	2,583,494 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気代 2,147,470 円</li> <li>・上下水道代 415,634 円</li> <li>・ガス代 20,390 円</li> </ul>
修繕料	322,704 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設備修繕 300,024 円</li> <li>・その他 22,680 円</li> </ul>
委託料	1,692,282 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーター保守点検 492,480 円</li> <li>・空調設備保守点検 421,200 円</li> <li>・その他 778,602 円</li> </ul>
その他諸経費	891,649 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話代等 143,577 円</li> <li>・水質検査等 13,500 円</li> <li>・クリーニング 680,140 円</li> <li>・モップ 54,432 円</li> </ul>
合計	5,490,129 円	

**【幼稚園工事関係費】**

事業名	区分	支出額	事業概要
運動場整備工事	工事請負費	847,800 円	運動場の不陸整備

(3) 情操教育の推進

人形劇鑑賞や東山動物園への社会見学を実施し、広い知見と確かな思考力及び豊かな情操を育成するよう取り組みました。

○委託料

- ・社会見学バス運行業務（バス6台） 498,960 円

(4) 施設型給付費（私立幼稚園）

子ども・子育て支援法に基づき、新制度へ移行した私立幼稚園に通園する町内在住の園児に係る委託費を支払いました。

○委託料

幼稚園名	対象者数	支出額	備考
暁幼稚園	14 人	6,451,790 円	平成 29 年から新制度移行

(5) 幼児用水難保護用具（ライフジャケット）整備事業

津波や洪水に関する防災対策・防災意識の高揚を図るため、ライフジャケットを配備しました。

○需用費

事業名	支出額	配備数
幼児用水難保護用具（ライフジャケット）整備事業	1,843,776 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児用 190 着</li> <li>・職員用 25 着</li> </ul>

3 幼稚園保健費

幼児の健康管理のために、内科医、歯科医、薬剤師を委嘱するとともに、集団生活における保健衛生を目的に、検尿を実施しました。

(1) 保健事業費・・・・・・・・・・ 775,410 円

○報酬

- ・内科（1人） 351,380 円

- ・ 歯 科（1人） 308,790 円
- ・ 薬剤費（1人） 60,000 円
- 役務費
  - ・ 園児検診（190人） 30,400 円
  - ・ 職員検診（16人） 24,840 円

検診内容	内科検診、歯科検診、検尿
------	--------------

## 5 項 社会教育費

### 1 目 社会教育総務費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
61,592,481円	－円	－円	－円	－円	61,592,481円

町民の皆さんが自己の人格を磨き、豊かな生活を送ることができるよう、生涯にわたって学習でき、その成果を生かすことのできる社会を実現するための各種社会教育事業の実施に要する費用が主なものです。

#### 1 社会教育総務給与費

- (1) 一般職給与費（事務職員6人） 51,070,894 円  
（給料、職員手当、共済費）

#### 2 社会教育事務費

- (1) 嘱託職員賃金（1人） 2,884,084 円  
（賃金・共済費）

- (2) 社会教育委員経費・・・・・・・・・・・・ 154,000 円

社会教育法第15条第1項の規定に基づき、社会教育委員を設置し、会議を2回開催しました。

##### ○報酬

- ・ 社会教育委員（のべ15人） 105,000 円

##### ○旅費

- ・ 費用弁償（東海北陸社会教育研究大会） 12,000 円
- （その他会議等） 15,000 円

##### ○負担金、補助及び交付金

- ・ 負担金（県社会教育委員連絡協議会） 10,000 円
- （東海北陸社会教育研究大会） 12,000 円

- (3) 成人式開催事業・・・・・・・・・・・・ 462,188 円

新成人の前途を祝し、将来の社会をささえる一員として、また豊かな感性と創造性を持ち、責任を自覚する場として成人記念式典を行いました。

##### ◇平成31年川越町成人式

平成31年1月13日 あいあいホール

出席者：新成人137人（男68人・女69人）

##### ○報償費

- ・ 成人式記念品 381,402 円

##### ○需用費

- ・ 消耗品費（舞台花等） 13,180 円

##### ○役務費

- ・ 通信運搬費（切手、郵送料） 35,206 円

##### ○委託料

・成人式用VTR素材蔵出し料 32,400円

(4) 社会教育団体活動支援・・・・・・・・・・・・ 3,629,507円

社会教育活動を実施している団体の活動推進のため、補助金を交付しました。

○役務費

- ・各種保険料（社会教育関係団体指導者賠償責任保険） 30,030円  
（レクリエーション傷害保険） 74,477円

○負担金、補助及び交付金

- ・補助金（子ども会育成者連絡協議会） 1,500,000円  
（女性会） 800,000円  
（青年団） 180,000円  
（スポーツ少年団） 945,000円  
（FAGクラブ） 100,000円

(5) 人権学習事業・・・・・・・・・・・・ 192,191円

社会教育における人権教育推進については、差別のない、明るく住みよい社会の実現を図るため、各地域の町民を対象とした参加型人権研修を町内5地区で実施するとともに、ポスター展示など人権啓発活動を実施しました。

○報償費

- ・講師謝礼 150,000円

事業名	参加者	開催地区
参加型人権学習会	126名	豊田一色・高松・亀崎・当新田・南福崎

○使用料及び賃借料

- ・有料道路（人権同和研究会） 3,191円

○負担金、補助及び交付金

- ・負担金（県人権・同和教育研究会） 39,000円

(6) あいさつ声かけ運動川柳コンクール事業・・・・・・・・・・・・ 18,017円

○報償費

- ・川柳コンクール受賞者記念品 17,000円

○需用費

- ・消耗品費（賞状用紙等） 1,017円

3 青少年育成事業費・・・・・・・・・・・・ 2,112,056円

青少年の健全な育成を図るため指導員を委嘱し、青少年非行の早期発見や青少年問題に関する情報交換を行うとともに、地域の子ども達が心豊かに育つ環境づくりのため、町民会議が中心となって関係機関、各団体と連携を図り青少年育成事業を実施しました。

○報償費

- ・青少年育成指導員（24人） 264,000円

○旅費

- ・費用弁償（視察研修） 48,000円  
（その他会議等） 3,000円
- ・特別旅費（視察研修） 159,340円

○役務費

- ・通信運搬費（切手、郵送料） 51,116円

○使用料及び賃借料

- ・有料道路（青少年育成市町民会議連絡会） 6,600円

○負担金、補助及び交付金

- ・補助金（青少年育成町民会議） 1,400,000円
- （青少年育成指導員連絡協議会） 180,000円

4 文化財継承事業費・・・・・・・・・・・・ 307,382円

地域の文化財の保護継承に努め、調査・研究活動を推進し、文化と歴史の保存、郷土の伝統文化の継承に努めました。また、会議、視察研修を実施しました。

○報酬

- ・文化財調査委員（10人） 130,000円

○旅費

- ・費用弁償（視察研修） 36,000円
- ・特別旅費（視察研修） 129,600円

○使用料及び賃借料

- ・有料道路（視察研修） 11,782円

2目 人づくり、国際交流事業費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
180,000円	－円	－円	－円	－円	180,000円

スポーツの普及及び技術の向上を図るため、全国大会等の各種スポーツ大会に参加出場する選手、監督等に対し、スポーツ奨励金として旅費や宿泊費の支援を行いました。

1 スポーツ奨励事業

○負担金、補助及び交付金

事業名	補助額	事業概要	内訳	
スポーツ奨励金	180,000円	18件 19人	東海大会	6件 6人
			全国大会	11件 12人
			国民体育大会	1件 1人

3目 歴史民俗文化事業費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
436,010円	－円	－円	－円	－円	436,010円

町指定無形民俗文化財である豊田石採祭、天神石採祭、豊田一色石採祭、高松足上げ祭、当新田稲熟、亀須稲熟に対し保護修理費補助金を交付しました。

1 町指定文化財保存事業

○負担金、補助及び交付金

事業名	補助額	対象	内訳	
町指定文化財修理補助事業	436,010円	無形民俗文化財 6件	豊田	116,780円
			天神	93,720円
			豊田一色	141,000円
			高松	36,510円
			当新田	30,000円
			亀須	18,000円

4目 公民館費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
19,570,190円	－円	－円	－円	3,378,725円	16,191,465円

町民の教養の向上、健康の増進及び生活文化の振興を目的とし、生涯学習の場として各種教室を開講する等、公民館運営と活動に要する費用が主なものです。

1 中央公民館運営経費

- (1) 公民館管理人賃金（4人） 2,941,299円  
（賃金、共済費）

2 公民館費

- (1) 中央公民館運営事業費・・・・・・・・・・・・ 1,646,050円

○報償費

- ・講師謝礼（生涯学習講等） 898,000円

○需用費

- ・食料費（文化発表会茶菓子等） 97,848円

○役務費

- ・クリーニング代（文化発表会用白布） 18,144円  
・公民館総合補償保険 84,000円  
・子どもを守る家傷害保険料 52,200円

○委託料

- ・託児（夏休み子ども教室） 12,450円

○使用料及び賃借料

- ・文化発表会パネル 483,408円

(2) 中央公民館施設維持管理費

中央公民館の維持管理に要した主な費用は、次のとおり。

区 分	支出額	支出の内容
光熱水費	1,526,818円	・電気代 1,488,440円 ・上下水道代 38,378円
修繕料	531,595円	・空調機修繕 269,136円 ・照明器具修繕 176,059円 ・その他の修繕 86,400円
委託料	1,304,481円	・公民館清掃 220,161円 ・貯水槽清掃 154,440円 ・汚水槽清掃 52,056円 ・電気設備保安管理 160,704円 ・空調設備保守点検 534,600円 ・消防設備保守点検 70,200円 ・自動扉保守点検 34,560円 ・警備業務 77,760円
合計	3,362,894円	

- (3) 地区公民館運営管理費・・・・・・・・・・・・ 10,264,952円

○報償費



- ・分館長（10人） 150,000円
- ・分館主事（10人） 140,000円
- ・分館主事補（33人） 363,000円
- 委託料
  - ・消防設備保守点検 486,000円
  - ・亀崎公民館特殊建築物（建築・防火設備）定期調査報告 503,280円
- 使用料及び賃借料
  - ・地区公民館用AED（10台） 1,104,192円
- 負担金、補助及び交付金
  - ・地区公民館活動補助金（活動分） 900,000円
  - （電気代分） 3,750,000円
  - （災害対応分） 2,868,480円

【中央公民館利用状況】

教室・愛好会・学級	回数	のべ人数	教室・愛好会・学級	回数	のべ人数
川越ギターサークル	53	546	手編み愛好会	22	133
リズムクラブ	47	473	千羽鶴愛好会	12	119
川越カラオケ愛好会	40	350	川墨会	12	87
川越ヨガ教室	43	350	楽シュミヨガ	13	137
アロハ フラ クラブ	38	437	川越水彩画クラブ	10	143
木彫積木の会川越サークル	42	301	アロマとハーブを楽しむ会	12	123
華道愛好会	29	277	パンサークル	10	113
いきいき体操	42	231	楽しいパッチワークサークル	11	122
川越なごみ会	20	227	布遊びサークル	10	84
大正琴たちばな会	22	174	創作和紙人形サークル	12	96
川越ウクレレサークル	23	199	古文書サークル	21	212
書道愛好会	23	123	俳画会	12	80
フォト川越	12	117	河口俳句会	13	102
絵手紙愛好会	12	126	刺しゅう愛好会	11	73
コアストレッチサークル	12	141	誠道空手	13	61
川越パッチワーククラブ	12	116	蛭雪学園	8	214
押し花	10	30	パソコン教室	22	267
女性学級	10	148	英会話教室	10	149
大人が学べるキッズ英会話教室	10	60	刺し子教室	11	157
ペン画入門教室	10	163	姿勢改善体操教室	8	133
クラフト・ハンド教室	8	154	体験教室	1	17
異文化体験教室	3	37	その他	585	8,093
子ども教室	3	82	合計	1,363	15,577

5目 郷土資料館費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
587,496円	－円	－円	－円	－円	587,496円

郷土資料館として、川越町に古くから伝わる文化財を大切に守り、後世に伝えていくための郷土資料館の維持管理費に要する費用が主なものです。

1 郷土資料館費

(1) 郷土資料館施設維持管理運営費

郷土資料館の維持管理に要した主な費用は、次のとおり。

区 分	支出額	支出の内容
光熱水費	100,320 円	・電気代 82,956 円 ・上下水道代 17,364 円
修繕料	89,640 円	・郷土資料館外壁修繕 75,600 円 ・その他の修繕 14,040 円
役務費	34,796 円	・警備装置通信料 34,796 円
委託料	308,038 円	・清掃業務 149,278 円 ・消防設備保守点検 32,400 円 ・警備委託 77,760 円 ・PCB含有照明器具撤去 48,600 円
合計	532,794 円	

(2) 資料の調査、収集、伝承、保存事業・・・・・・・・・・・・ 50,702 円

寄贈された資料の保存や、川越町の歴史や文化を伝える教育・普及事業として、展示や解説等を行いました。

○需用費

・消耗品費（文化財梱包用紙等） 46,852 円

○役務費

・ボランティア保険 3,850 円

6 目 教育文化振興費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
105,568,877円	－円	－円	－円	32,772,713円	72,796,164円

町民の文化・学習ニーズをより幅広く満たすための教育文化施策として、あいあいセンター（教育センター・あいあいホール）を中心とした各種事業の展開と教育活動の推進、文化振興に要する費用が主なものです。

1 あいあいセンター運営経費

(1) 嘱託職員及び臨時職員賃金（賃金・共済費）・・・・・・・・・・・・ 9,025,054 円

・事務員賃金（1人） 2,467,971 円

・図書司書賃金（1人） 2,803,513 円

・臨時職員賃金（用務員1人・図書6人） 2,940,301 円

・共済費（社会保険・労働保険） 813,269 円

2 あいあいセンター費

(1) あいあいセンター運営事業費・・・・・・・・・・・・ 12,181,103 円

ふれあい祭・成人記念式典などの町主催行事をはじめ、一般への貸館として音楽・演劇・講演・諸大会等の利用があり、ホールの年間貸館利用率は、自主事業を含めた全体で62.8%でした。

【あいあいホール利用状況】

座席数	年間 利用率	ジャンル別利用率				
		音楽	演劇	講演・ 大会	その他	計
594 席	62.8%	54.6%	11.8%	25.0%	8.6%	100%

○需用費

- ・燃料費（陶芸室用ガス代） 20,303 円
- ・修繕料（旧庁舎駐車場関係修繕等） 777,600 円

○役務費

- ・ピアノ調律 16,200 円

○委託料

- ・ホール舞台管理スタッフ 10,694,160 円
- ・ピアノ保守 197,640 円
- ・喫茶運営事業 475,200 円

(2) あいあいセンター施設維持管理費

あいあいセンター維持管理に要した主な費用は、次のとおり。

区 分	支出額	事業概要
燃料費	1,324,229 円	・灯油代（冷暖房用） 1,106,892 円 ・ガス代 217,337 円
光熱水費	9,972,120 円	・電気代 9,242,468 円 ・上下水道代 729,652 円
修繕料	1,054,620 円	・ホール空調機器関係修繕 507,600 円 ・キュービクル修繕 216,000 円 ・その他の修繕 331,020 円
委託料	19,136,390 円	・あいあいセンター総合管理 10,674,720 円 ・空調設備保守 3,348,000 円 ・舞台照明設備保守 820,800 円 ・舞台機構設備保守 810,000 円 ・音響設備保守 777,600 円 ・電気設備保安全管理 404,870 円 ・警備 518,400 円 ・庭木手入れ 993,600 円 ・池ろ過装置保守 302,400 円 ・特殊建築物（防火設備）定期調査報告 486,000 円
工事請負費	1,555,200 円	・回廊等修繕工事 1,188,000 円 ・舞台照明設備無停電電源装置取替修繕 367,200 円
備品購入費	318,600 円	・ホール舞台照明設備用パソコン
計	33,361,159 円	

(3) あいあいセンター外壁等改修事業

あいあいセンターの安全対策及び来館者の安全を確保するため、外壁等の改修を行いました。

事業名	支出額	項目	事業内容
あいあいセンター外壁等 改修事業 (平成 30 年度～2 か年)	13,390,000 円	委 託 料	外壁等改修工事監理業務 518,000 円
		工事請負費	外壁等改修工事 12,872,000 円

(4) あいあいホール改修計画事業

○委託料

・あいあいホール改修計画策定業務 12,960,000円

(5) あいあいホール自主公演事業・・・・・・・・・・・・ 17,933,002円

22年目を迎えたあいあいホールは、文化・芸術への理解を深め、豊かな町民文化づくりを図るため、クラシック音楽・歌謡曲等の自主公演や、映画会、ピアノ試弾会の開催など年間7回の自主事業を開催しました。

○需用費

・消耗品費（楽屋花等） 32,064円

○役務費

・チラシ等郵送料 111,865円

・広告料 70,200円

・チケット販売手数料 327,473円

○委託料

【あいあいホール自主公演】

ジャンル	数	事業名	事業費
歌謡曲	1	アラウンド40メモリーコンサート（杉山清貴・辛島美登里・沢田知可子・中西保志）	6,100,000円
クラシック	1	清塚信也ピアノリサイタル スペシャルゲストN AOTO in みえ川越	3,153,600円
		田中彩子 ソプラノ・リサイタル2018 (中止)※	129,600円
伝統芸能	1	三遊亭好楽・三遊亭円楽・林家菊丸 特撰落語会	3,369,600円
ファミリー	1	さかなクンのギョギョッとびっくりお魚教室 in みえ川越	1,792,800円
その他	3	あいあい映画会 「シング」	145,800円
		ぐっさん ハッピーエンターテイメントショー in 川越町	2,700,000円
		ピアノ公開試弾会	—
合計			17,391,400円

※「田中彩子 ソプラノ・リサイタル2018」公演は台風の影響により中止。

(6) 教育センター事業（図書室）・・・・・・・・・・・・ 4,423,929円

図書室は、児童・一般図書の充実に努めました。その他、全体としての貸出冊数は83,025冊でした。

利用促進のため夏休み期間に開館時間の1時間延長業務の実施、図書室行事として「絵本読み聞かせ会」・「おはなし会」・「大人のための朗読会」・「子育てママのためのリフレッシュ読み聞かせ講座」などを開催しました。

また、中学生の職場体験学習の受け入れや、小学生の図書室利用体験などを行い、図書室と触れ合う機会づくりに努めました。

○報償費

・講師謝礼（朗読会、読み聞かせ会） 24,000円

○需用費

・消耗品費（雑誌、新聞等） 510,337円

・印刷製本費（図書室貸出利用券） 235,440円

○役務費

・通信運搬費（インターネット使用料） 93,312円

- 委託料
  - ・ 図書電算業務（図書マーク等作成、専用サイト利用料） 472,000 円
  - ・ 託児（おはなし会） 3,320 円
- 使用料及び賃借料
  - ・ 賃借料（コピー機） 85,536 円
- 備品購入費
  - ・ 図書 2,999,984 円

【図 書 室 利 用 状 況】

登録者数					
男	女	団体	町内	町外	計
人	人	人	人	人	人
3,808	6,535	81	7,242	3,182	10,424

貸出利用人数			貸出冊数		
町内	町外	計	町内	町外	計
人	人	人	冊	冊	冊
12,170	6,206	18,376	53,826	29,199	83,025

【分 類 別 蔵 書 数】

分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	
蔵書冊数	一般	692	864	2,047	2,968	2,212	3,518	1,033	2,766
	児童	147	208	863	759	1,398	489	430	733
	合計	839	1,072	2,910	3,727	3,610	4,007	1,463	3,499
比率 (%)	1.4	1.8	5.0	6.3	6.2	6.8	2.5	6.0	

分類	言語	文学	郷土資料	参考図書	絵本	紙芝居	合計	A V	
蔵書冊数	一般	402	16,489	932	448	=	=	34,371	114
	児童	202	8,330	24	35	10,289	541	24,448	-
	合計	604	24,819	956	483	10,289	541	58,819	114
比率 (%)	1.0	42.2	1.6	0.8	17.5	0.9	100	-	

7 目 複合施設建設費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0円	-円	-円	-円	-円	-円

「図書館、公民館、郷土資料館」の機能を備えた川越町図書館等複合施設（仮称）建築工事の入札が不調となったため、一時見合わせております。

## 6項 保健体育費

### 1目 保健体育総務費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,826,574円	－円	－円	－円	56,062円	5,770,512円

町民が、あらゆる機会・場所において、自主的にスポーツをすることができるよう、スポーツ推進委員協議会と体育協会が中心となって各種スポーツ教室、大会(行事)を開催、また第12回美し国三重市町対抗駅伝大会への参加などに要する費用が主なものです。

#### 1 スポーツ推進事業費

(1) スポーツ推進経費・・・・・・・・・・・・ 683,892円

##### ○報償費

- ・講師謝礼(生涯学習講座) 140,000円
- ・スポーツ推進委員(10人) 310,000円

##### ○旅費

- ・費用弁償(研究大会) 33,000円
- ・特別旅費(研究大会) 73,240円

##### ○役務費

- ・各種保険料(社会体育傷害保険) 127,652円

#### 【スポーツ教室開催状況】

教室名	参加人数	回数
かけっこ教室	36人	2回
姿勢改善体操教室	25人	8回
水泳教室	20人	5回
ウォーキング教室	14人	10回

(2) スポーツ振興補助金・・・・・・・・・・・・ 2,680,000円

スポーツの振興を担う団体の活動を支援するため、補助金を交付しました。

##### ○負担金、補助及び交付金

- ・補助金(町体育協会) 2,400,000円
- (町スポーツ推進委員協議会) 280,000円

(3) 美し国三重市町対抗駅伝強化事業

平成31年2月17日に開催された第12回美し国市町対抗駅伝大会(県庁～県営総合陸上競技場)に出場する町代表チームの選手選考、選手強化及び大会参加事務等の業務を委託しました。

事業費、競技結果は、次のとおり。

##### ○委託料

事業名	事業費	競技結果
美し国三重市町対抗駅伝強化事業	2,306,905円	・町の部 優勝(5連覇) ・総合の部 6位

### 2目 体育施設費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
30,238,645円	－円	－円	－円	7,516,400円	22,722,245円

町民の体力づくりの場として、総合体育館、運動広場及び野球場の整備等、体育施設の維持管理に要する費用が主なものです。

1 体育施設運営経費

(1) 総合体育館管理人賃金（7人） 5,569,752円

2 体育施設費

(1) 総合体育館等運営事業費・・・・・・・・・・・・ 568,310円

○需用費

・修繕料（ランニングマシン修繕等） 265,880円

○役務費

・体育館等賠償保険 133,950円

○委託料

・トレーニング器具保守点検 168,480円

(2) 総合体育館等施設維持管理費

総合体育館等維持管理に要した主な費用は、次のとおり。

区 分	支出額	事業の概要
光熱水費	9,673,452円	・電気代 8,791,319円 ・水道代 882,133円
修繕料	712,800円	・テニスコート人工芝修繕 390,960円 ・総合体育館外部看板撤去工事 75,600円 ・総合体育館合併浄化槽沈殿槽及び三次処理槽エア配管取替工事 98,280円 ・総合体育館合併浄化槽調整ポンプガイドパイプ取替工事 84,240円 ・町民プールろ過装置子供用プールタイマー取替工事 63,720円
役務費	34,500円	・浄化槽検査料 16,000円 ・水質検査料 18,500円
委託料	10,441,094円	・プール管理業務 5,184,000円 ・総合体育館清掃業務 1,660,262円 ・浄化槽維持管理業務 1,230,120円 ・貯水槽清掃業務 119,880円 ・消防設備保守点検 496,800円 ・電気設備保安管理 473,472円 ・プールろ過機保守点検 291,600円 ・警備業務 77,760円 ・特殊建築物（建築・防火設備）定期調査報告 907,200円
工事請負費	1,285,200円	・総合運動場及び野球場整備工事
計	22,147,046円	

大会等開催状況（体育協会及び加盟連盟主催）

日程	大会名	参加数
4月1日～	早朝ソフトボールリーグ戦	6チーム(90人)
4月22日	春季体育大会女子ソフトボールの部	5チーム(45人)
6月3日	第10回川越町バドミントン春季大会	63人
6月10日	春季体育大会バレーボールの部	男子5チーム(49人)

		女子5チーム(57人)
8月5日	町民水泳大会	52人
	ソフトバレーボール連盟交流大会	32チーム(135)
8月26日～	第31回ソフトボール選手権大会	5チーム(67人)
9月8日～	第56回野球選手権大会	6チーム(90人)
9月23日	第42回バレーボールリーグ戦	7チーム(74人)
	秋季体育大会男子ソフトボールの部	5チーム(72人)
10月7日	第54回町民運動会	約2,500人
10月21日	秋季体育大会バレーボール(男女混合)の部	7チーム(73人)
11月4日～ 11日	第14回北勢地域町民スポーツ決勝大会 (軟式野球・男子ソフト)	
11月25日	第42回健康づくりマラソン大会	187人
12月2日	第23回川越町レクリエーションバドミントン大会	45人
12月8日～ 9日	第4回川越町バスケットボール大会	約300人
1月20日	第44回川越町駅伝大会	99名
3月10日	第12回ソフトバレーボール大会	60チーム(279人)

平成30年度 川越町体育施設使用状況 (平成30年4月～31年3月)

	体育館		野球場		広場		テニスコート	
	団体	個人使用	団体	内ナイト	団体	内ナイト	人数	内ナイト
4月	203	747	16	4	41	11	406	31
5月	196	758	14	4	42	12	438	40
6月	203	809	13	3	39	10	425	38
7月	230	800	15	4	44	14	490	51
8月	196	739	13	1	42	15	459	79
9月	202	728	12	3	44	11	399	44
10月	207	724	12	2	43	14	343	35
11月	229	602	16	6	41	17	356	49
12月	208	599	9	0	38	13	395	28
1月	199	684	7	0	43	17	388	12
2月	214	724	12	1	41	11	305	10
3月	234	804	14	1	43	13	397	19
計	2521	8718	153	29	501	158	4801	436

プール				
	おとな	こども	幼児	計
7月	631	1,307	94	2,032
8月	717	946	178	1,841
計	1,348	2,253	272	3,873



## 6項 保健体育費

### 3目 給食センター費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
110,537,865円	－円	－円	－円	53,734,640円	56,803,225円

学校給食センターでは、子どもたちの健康の保持増進を図るため、適切な栄養摂取及び日常生活における食事について、正しい理解、望ましい習慣を養うこと等を目標に給食の実施と給食センターの運営管理に要する費用が主なものです。

#### 1 給食センター給与費

- (1) 一般職給与費（事務職員1人、調理士1人） 7,983,501円  
（給料、職員手当、共済費）

#### 2 給食センター運営経費

- (1) 嘱託職員及び臨時職員賃金（賃金、共済費） 16,940,721円  
・調理員（4人） 9,624,960円  
・臨時職員（7人） 5,701,933円  
・共済費（社会保険・労働保険） 1,613,828円

#### (2) 給食センター運営委員会経費

○報償費 21,000円

委員：小学校（校長2人・栄養教諭1人・給食担当1名・PTA代表2人）、幼稚園（園長・給食担当1名・PTA代表1名）等

#### (3) 給食調理事業費

食材は、安全安心を図るために、県内産や国内産の食材を多く使用して、おいしい給食の提供に努めました。

また、施設の衛生管理や調理の質の向上を図るため、調理員を対象とした衛生・調理講習会を実施するとともに、職員一人ひとりの健康状態を把握し、調理業務に支障が出ないよう健康管理の徹底に努めました。

なお、「アレルギー対応食」として、保護者、園・学校と連絡を密にした上で除去食対応を実施することにより、健康で安全な園・学校生活に寄与しました。

○需用費

区分	支出額	事業内容
賄材料費	58,184,538円	給食の食材購入

#### 【給食実施数】

施設種別	幼稚園	北小学校	南小学校	給食センター	合計
食数	38,490食	102,776食	81,050食	2,830食	225,146食

#### (4) 給食配達事業・・・・・・・・・・・・ 1,146,935円

○需用費

- ・修繕料（車両2台） 63,040円  
・燃料費（車両2台） 104,860円

○役務費

- ・車検（車両2台）及び点検料 134,060円

- ・自動車損害保険料（車両2台） 49,040円
- 委託料
  - ・給食配達業務 760,835円
- 公課費
  - ・自動車重量税（車両2台） 35,100円

(5) 給食センター施設維持管理費

給食センターの維持管理に要した主な費用は、次のとおりです。

区 分	支出額	事業の概要
光熱水費	10,206,882円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気代 8,378,456円</li> <li>・上下水道代 1,828,426円</li> </ul>
修繕料	4,838,107円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラストチラー部品取替修理 2,358,720円</li> <li>・室内自動ドア部品取替修理 356,400円</li> <li>・食缶前処理機部品取替修理 274,320円</li> <li>・高圧受電設備部品取替修理 270,000円</li> <li>・その他 1,578,667円</li> </ul>
役務費	1,439,318円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質検査料 18,500円</li> <li>・食品検査料 93,960円</li> <li>・包丁等研磨 14,364円</li> <li>・飯缶洗浄 688,902円</li> <li>・検便 623,592円</li> </ul>
委託料	4,967,136円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受水槽清掃 133,920円</li> <li>・油分除去 246,240円</li> <li>・電気設備保守 688,176円</li> <li>・空調設備保守 486,000円</li> <li>・空調自動制御設備保守 486,000円</li> <li>・害虫等防除 288,360円</li> <li>・消防設備 23,760円</li> <li>・警備 84,240円</li> <li>・厨房除害施設保守 1,944,000円</li> <li>・厨房用脱臭装置保守 278,640円</li> <li>・調理、洗浄機器保守 307,800円</li> </ul>
使用料及び賃借料	14,545円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ受信料</li> </ul>
計	21,465,988円	

(7) 給食センター施設整備事業費・・・・・・・・・・・・ 1,870,560円

給食施設については、施設や機器の修繕及び備品、調理用消耗品等を更新することにより、安全で衛生的な調理環境づくりに努めました。

- 工事請負費
  - ・自動制御中央監視装置取替修繕工事 648,000円
  - ・厨房除害施設機器整備工事 380,160円
- 備品購入費
  - ・ラックカート(3台) 842,400円

## 11 款 公債費

### 1 項 公債費

#### 1 目 元金

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
29,351,323円	－円	－円	－円	29,351,323円	－円

#### 1 元金

(1) 元金・・・・・・・・・・ 29,351,323円

一般公共事業等の借入金に係る元金償還分で、29,351,323円を償還しました。

平成30年度末借入件数は8件、借入現在高は431,755,603円であります。

#### 2 目 利子

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,172,317円	－円	－円	－円	－円	3,172,317円

#### 1 利子

(1) 利子・・・・・・・・・・ 3,172,317円

一般公共事業等の借入金に係る利子償還分で、3,172,317円を償還しました。

なお、一時借入は行わなかったため、一時借入金に係る利子償還はありませんでした。

## 12 款 諸支出金

### 1 項 公営企業費

#### 1 目 水道事業会計補助金

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
47,701,000円	－円	－円	－円	2,291,000円	45,410,000円

水道事業会計に対して、一般分20,000,000円、水道事業の経営戦略策定事業に係る事業費の2分の1の額として2,190,000円及び水道管耐震化対策事業に係る事業費の2分の1の額として23,220,000円を補助しました。

また、訴訟に関する和解金のうち、上水道管の取替等に要した費用の見合い分として2,291,000円を繰出しました。

### 2 項 公営住宅建設基金費

#### 1 目 公営住宅建設基金費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,000円	－円	－円	－円	1,000円	－円

### 3項 環境整備事業基金費

#### 1目 環境整備事業基金費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,055,300円	－円	－円	－円	1,055,300円	－円

### 4項 減債基金費

#### 1目 減債基金費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
15,587,000円	－円	－円	－円	15,587,000円	－円

### 5項 電源立地促進対策交付金事業維持基金費

#### 1目 電源立地促進対策交付金事業維持基金費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
45,207円	－円	－円	－円	45,207円	－円

### 6項 ふるさと水と土保全基金費

#### 1目 ふるさと水と土保全基金費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
147,000円	－円	－円	－円	147,000円	－円

### 7項 公共施設建設基金費

#### 1目 公共施設建設基金費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
584,654,000円	－円	－円	－円	7,599,945円	577,054,055円

### 8項 公共建築物維持基金費

#### 1目 公共建築物維持基金費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
404,931,000円	－円	－円	－円	27,877,940円	377,053,060円

### 9項 安全なまちづくり基金費

#### 1目 安全なまちづくり基金費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,231,000円	－円	－円	－円	4,231,000円	－円

10 項 いきいきまちづくり基金費

1 目 いきいきまちづくり基金費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,551,000円	－円	－円	－円	8,551,000円	－円

11 項 ふるさと応援基金費

1 目 ふるさと応援基金費

決算額	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,990,000円	－円	－円	－円	3,920,000円	70,000円

土地開発基金から大きく羽ばたけ基金費までの基金の状況は、次のとおり。

	平成 29 年度末現在高	平成 30 年度積立額	平成 30 年度取崩額	平成 30 年度末現在高
土地開発基金	329,330,000 円	－	－	329,330,000 円
公営住宅建設基金	8,920,000 円	1,000 円	－	8,921,000 円
環境整備事業基金	275,574,196 円	1,055,300 円	76,130,440 円	200,499,056 円
減債基金	3,242,274,000 円	15,587,000 円	29,352,000 円	3,228,509,000 円
電源立地促進対策 交付金事業維持基金	44,026,702 円	45,207 円	－	44,071,909 円
ふるさと・水と土保全基金	11,927,195 円	147,000 円	－	12,074,195 円
教育文化振興基金	1,012,150,000 円	－	－	1,012,150,000 円
ふるさと創生事業基金	114,587,000 円	－	－	114,587,000 円
公共施設建設基金	3,581,127,000 円	584,654,000 円	－	4,165,781,000 円
公共建築物維持基金	4,023,345,000 円	404,931,000 円	－	4,428,276,000 円
安全なまちづくり基金	1,083,102,000 円	4,231,000 円	－	1,087,333,000 円
いきいきまちづくり基金	1,190,544,000 円	8,551,000 円	16,913,000 円	1,182,182,000 円
交通安全対策事業基金	7,592,313 円	－	1,000,000 円	6,592,313 円
ふるさと応援基金	4,480,000 円	3,990,000 円	－	8,470,000 円
大きく羽ばたけ基金	2,312,000 円	－	42,000 円	2,270,000 円

## 13 款 予 備 費

平成 30 年度において、予備費を充当したものは、次のとおりです。

款	項	目	節	内 容	充当額
総務費	徴税費	税務総務費	職員手当等	昨年 9 月の台風の際、職員の災害対応としての警戒等による時間外勤務手当が必要となったため 1 人分	27,597 円
総務費	戸籍住民登録費	戸籍住民登録費	職員手当等	昨年 9 月の台風の際、職員の災害対応としての警戒等による時間外勤務手当が必要となったため 2 人分	59,370 円
総務費	企画費	企画総務費	職員手当等	昨年 7・9 月の台風の際、職員の災害対応としての警戒等による時間外勤務手当が必要となったため のべ 4 人分	118,403 円
民生費	社会福祉費	社会福祉総務費	職員手当等	昨年 7・9 月の台風の際、職員の災害対応としての警戒等による時間外勤務手当が必要となったため のべ 7 人分	132,910 円
衛生費	保健衛生費	保健衛生総務費	職員手当等	昨年 9 月の台風の際、職員の災害対応としての警戒等による時間外勤務手当が必要となったため 1 人分	2,998 円
衛生費	清掃費	清掃総務費	職員手当等	昨年 9 月の台風の際、職員の災害対応としての警戒等による時間外勤務手当が必要となったため 2 人分	73,921 円
土木費	土木管理費	土木総務費	職員手当等	昨年 7・8・9 月の台風の際、職員の災害対応としての警戒等による時間外勤務手当が必要となったため のべ 14 人分	573,688 円
教育費	教育総務費	事務局費	職員手当等	昨年 9 月の台風の際、職員の災害対応としての警戒等による時間外勤務手当が必要となったため 5 人分	144,075 円
教育費	社会教育費	社会教育総務費	職員手当等	昨年 7・9 月の台風の際、職員の災害対応としての警戒等による時間外勤務手当が必要となったため のべ 10 人分	304,411 円
合 計					1,437,373 円



# 国民健康保険特別会計





# 国民健康保険特別会計

## 1 国民健康保険事業勘定について

### 1 概要

国民健康保険は、都道府県及び市町村が行なう公営事業で、保険税、国庫負担金、その他の収入金を財源として、保険給付を中心とする事業を行います。

持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律の成立により、平成30年度から新しい国民健康保険制度が施行され、国民健康保険の財政運営責任主体等が市町村から都道府県へ移行するなど国民健康保険制度改革が行われました。

こうした国保の都道府県単位化に伴い、三重県国民健康保険事業の運営方針が策定され、町もこれを踏まえた国民健康保険の事務の実施に努めることとされました。

### 2 被保険者数

平成31年3月末現在の国民健康保険の被保険者数は、2,580人であり、前年の同時期と比較して、66人の減少となりました。被保険者数が町人口に占める割合は、17.2%です。

区分	30年度	29年度	28年度	27年度	増減率(人) (30-29)
被保険者数①	2,580 人	2,646 人	2,831 人	2,965 人	△66 人
町人口②	15,033 人	15,016 人	14,963 人	14,926 人	17 人
①/②	17.2 %	17.6 %	18.9 %	19.9 %	△0.4 %

### 3 国保税の状況

#### (1) 赤字削減・解消への取組み

収入不足に伴う決算補填を目的とした法定外繰入金の削減・解消に向け、平成30年度以降の保険税率の改定を行いました。

		医療分 (国保に加入する すべての方)		後期高齢者支援分 (国保に加入する すべての方)		介護納付金分 (国保に加入する 40歳以上65歳未満の方)	
		改定前	改定後	改定前	改定後	改定前	改定後
所得割額	所得に対して	3.50%	3.70%	1.40%	1.90%	0.35%	0.50%
資産割額	固定資産税 に対して	25.00%	20.90%	7.15%	10.80%	3.59%	5.00%
均等割額	加入者1人 当たり	21,200円	23,160円	8,700円	11,160円	5,900円	4,800円
平等割額	1世帯当 り	24,000円	18,600円	6,600円	9,000円	3,400円	2,640円

#### (2) 国保税の収入の状況

滞納整理への取り組み、収入未済額の縮減などに努めました。

不納欠損については、期別件数182件、税額2,994,600円の処分を行いました。

また、現年度分については、三重県国民健康保険運営方針の目標収納率(平成30年度95.44%)に向けた収納対策に努め、95.71%の収納率となっています。

区分 年度別	調定額①	収入済額②	不納欠損額③	収入未済額	収納率 ②/ (①-③)
現年度分	243,897,400円	233,437,669円	0円	10,459,731円	95.71%
滞納繰越分	29,721,137円	10,697,436円	2,994,600円	16,029,101円	40.03%
合計	273,618,537円	244,135,105円	2,994,600円	26,488,832円	90.21%

(3) コンビニ納付の導入

自主納付意識の向上を主眼におき、平成30年4月から、コンビニ納付の導入を図りました。

平成30年度におけるコンビニ納付による収入額は21,607,562円で、現年度収入済額に対するコンビニ納付の割合は、9.3%となりました。

(4) 低所得被保険者に対する保険税の軽減等

低所得者の保険税負担を軽減することを目的として、世帯の所得が一定額以下の場合、所得に応じて応益分保険税の7割、5割、2割分が軽減されます。地方税法の改正に伴い平成30年度は、5割軽減と2割軽減の対象所得がそれぞれ拡張されました。

低所得被保険者に対する保険税（医療分）軽減状況（賦課期日現在）

減額率7/10の世帯				減額率5/10の世帯			
被保険者均等割		世帯別平等割		被保険者均等割		世帯別平等割	
対象人員	軽減額	対象世帯	軽減額	対象人員	軽減額	対象世帯	軽減額
540人	8,754,480円	386世帯	4,928,070円	350人	4,053,000円	184世帯	1,606,575円
減額率2/10の世帯				国保世帯総数に対する 軽減世帯の割合	調定額に対する 減額の割合		
被保険者均等割		世帯別平等割					
対象人員	軽減額	対象世帯	軽減額	44.2%	10.5%		
296人	1,371,072円	158世帯	557,070円				

低所得被保険者に対する保険税（支援金分）軽減状況（賦課期日現在）

減額率7/10の世帯				減額率5/10の世帯			
被保険者均等割		世帯別平等割		被保険者均等割		世帯別平等割	
対象人員	軽減額	対象世帯	軽減額	対象人員	軽減額	対象世帯	軽減額
540人	4,218,480円	386世帯	2,384,550円	350人	1,953,000円	184世帯	777,375円
減額率2/10の世帯				国保世帯総数に対する 軽減世帯の割合	調定額に対する 減額の割合		
被保険者均等割		世帯別平等割					
対象人員	軽減額	対象世帯	軽減額	44.2%	10.2%		
296人	660,672円	158世帯	269,550円				

低所得被保険者に対する保険税（介護分）軽減状況（賦課期日現在）

減額率 7/10 の世帯				減額率 5/10 の世帯			
被保険者均等割		世帯別平等割		被保険者均等割		世帯別平等割	
対象人員	軽減額	対象世帯	軽減額	対象人員	軽減額	対象世帯	軽減額
165 人	554,400 円	154 世帯	284,592 円	72 人	172,800 円	57 世帯	75,240 円
減額率 2/10 の世帯				国保世帯総数に対する 軽減世帯の割合	調定額に対する 減額の割合		
被保険者均等割		世帯別平等割					
対象人員	軽減額	対象世帯	軽減額	38.7 %	10.0 %		
74 人	71,040 円	63 世帯	33,264 円				

4 繰入金の状況

収入不足に伴う決算補填を目的とした法定外繰入金の削減・解消に向けた保険税率の改定を行なった結果、一般会計繰入金（事務費分）は、15,498,000 円となりました。

5 国民健康保険に係る事業の実施状況

事業名	国民健康保険運営協議会事業	事業費	142,718 円
-----	---------------	-----	-----------

- ・運営協議会を年4回開催
- ・「糖尿病性腎症等の重症化予防」をテーマに、米原市へ視察研修を実施（7名参加） など

事業名	保険給付費	事業費	808,413,183 円
-----	-------	-----	---------------

- ・保険給付費の状況（審査支払手数料、出産育児一時金支払手数料を除く）

（一般被保険者分）

区分	件数	費用額	保険者負担額
療養の給付	43,427 件	946,047,872 円	693,449,215 円
療養費	996 件	9,044,019 円	6,744,518 円 (注1) (6,741,647 円)
高額療養費	1,528 件		98,537,383 円
高額介護合算療養費	3 件		32,835 円
出産育児一時金	12 件		4,937,690 円 (注1) (5,008,000 円)
葬祭費	16 件		800,000 円

(注1) 指定公費を差し引いた金額を再掲

(注2) 出産育児一時金支払義務額（差額未請求分含む）を再掲

（退職者被保険者分）

区分	件数	費用額	保険者負担額
療養の給付	196 件	1,951,860 円	1,365,528 円
療養費	12 件	126,591 円	88,612 円
高額療養費	0 件		0 円

事業名	国民健康保険事業費納付金	事業費	367,954,320 円
-----	--------------	-----	---------------

- ・都道府県は、国民健康保険事業費に要する費用に充てるため、市町村から、国保事業費納付金を徴収します。  
三重県は、県全体の医療給付費等の見込を立て、医療費水準と所得水準を考慮して、市町ごとの納付金の額を決定します。

(川越町の国民健康保険事業費納付金の内訳)

医療給付費分	243,906,799 円
後期高齢者支援金等分	92,842,961 円
介護納付金分	31,204,560 円

事業名	医療費通知事業	事業費	612,668 円
-----	---------	-----	-----------

- ・医療費通知は、医療費の金額等のお知らせをするものであり、被保険者の健康に対する意識を高める目的に実施しています。
- ・平成 29 年度の税制改正に伴う所得税等の確定申告における医療費控除の手続きに対応できるよう書式の改定を行い、住民サービスの向上に努めました。
- ・通知は 5 月、9 月、1 月の年 3 回実施し、1 月分にて平成 30 年 1 月から 11 月分までの自己負担額が記載された通知を送付しました。

(通知数)

平成 30 年 5 月	1,360 通
平成 30 年 9 月	1,302 通
平成 31 年 1 月	1,846 通

事業名	健康管理センター事業	事業費	2,774,402 円
-----	------------	-----	-------------

- ・健康の保持、増進のため、人間ドッグを実施し、健康管理に努めました。

(平成 30 年度受診者数)

人間ドッグ受診者数	補助金
66 人	1,646,812 円

- ・ふれあい祭において、ヘルスメイトによるヘルシーランチの提供や健康機器による測定を行いました。

(平成 30 年度販売数)

ヘルシーランチ販売数 300 食  
 賃借機器 3 分間体力測定 230 名 ヘモグロビンチェック 194 名 など 326,700 円  
 歯科衛生士による歯科チェック  
 ブラッシング指導 65 名 咬合圧 46 名 口臭 50 名 45,252 円

事業名	特定健康診査等事業	事業費	7,775,992 円
-----	-----------	-----	-------------

- ・「高齢者の医療の確保に関する法律」にもとづき、メタボリックシンドローム（内蔵脂肪症候群）に着目した生活習慣病の予防を行うため、40 歳から 74 歳になる国保被保険者に対し、特定健康診査を実施しました。
- ・平成 30 年度から、受診対象者に対し、土日に受診できる病院・診療所の案内チラシの送付、電話による受診勧奨等を行うなど、受診率向上のための取組みに努めました。

(平成 30 年度受診率)

特定健診対象者数 (H30. 4) A	特定健診受診者数 B	特定健診受診率 $C = B / A$
1,667 人	680 人	40.8 %

(年度別受診率の推移)

区 分	受診者数	受診率	特定健康審査事業費
平成 27 年度	784 人	41.9%	8,495,273 円
平成 28 年度	742 人	41.5%	7,944,979 円
平成 29 年度	704 人	41.2%	11,071,127 円
平成 30 年度	680 人	40.8%	7,775,992 円

事業名	特定保健指導事業費	事業費	1,203,524 円
-----	-----------	-----	-------------

- ・特定健康診査を受診した中から、「積極的支援」「動機付け支援」と判定された方に保健指導を行いました。

(平成 30 年度受診率)

特定保健指導対象者数 A	特定保健指導受診者数 B	特定保健指導受診率 $C = B / A$
108 人	31 人	28.7 %

(年度別受診率の推移)

区 分	利用者数	利用率	特定保健指導事業費
平成 27 年度	42 人	35.3%	1,001,510 円
平成 28 年度	28 人	25.0%	1,046,531 円
平成 29 年度	34 人	30.1%	1,078,486 円
平成 30 年度	31 人	28.7%	1,203,524 円

一市三町と医師会における糖尿病重症化予防のため、運営委員会を立ち上げ、次年度からの事業実施に向けて検討を行いました。

糖尿病対策運営委員会負担金 248,400 円

## 2 国民健康保険診療施設勘定について

### 1 概 要

国民健康保険川越診療所は、地域住民に対する医療と疾病予防の一体的な運営を行い、住民の健康促進に努めてきました。

一方、支出は、診療所の維持運営に必要な人件費、施設維持管理費等の経常的な運営費が主なものとなっており、前年度比は 4.7%の増額でした。増額の原因として、新規事業の外来栄養指導に係る人材派遣と、胃内視鏡の件数増加、予防接種ワクチンの入荷数増などが挙げられます。

今後も引き続き、地域の皆様の健康を維持するために、職員一丸となってより良い医療の提供、検診による疾病の早期発見等に努めてまいります。

## 2 診療所利用状況

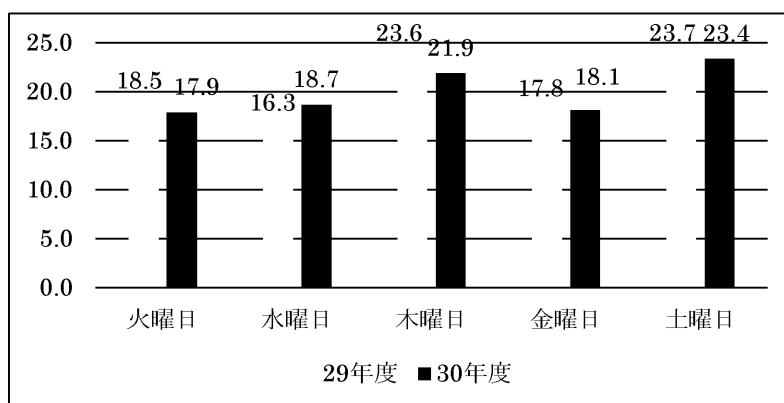
平成30年度の診療所の総利用者数は、14,267人で前年度より0.4%増加しました。曜日別にみた患者割合は、土曜日に次いで木曜日の利用者割合が多くなっています。

今年度は、毎年大流行するインフルエンザに備え、ワクチンの確保、接種率の向上に力を入れ、罹患防止と重症化予防に努めました。その結果、予防接種料を含む諸検査料が前年度に比べ1.7%増となり、外来収入は2.0%減少しましたが、罹患防止の成果も表れていると思われれます。

診療所利用状況

利用者内訳	利用者数	(前年度比)
外来患者数 (内訳)	8,981人	(△2.0%)
国民健康保険	2,905人	(△4.8%)
社会保険	2,183人	(△4.0%)
後期高齢者医療	3,781人	( 2.5%)
その他(生活保護・自費等)	112人	(△25.8%)
学校等健康診断 (内科検診・就学児検診・教職員検診等)	1,470人	(△0.1%)
胃がん・肺がん・腹部エコー検診	2,053人	(△2.8%)
特定健診	344人	(△16.1%)
その他の健康診断 (企業健診・職員健診・肝炎検診等)	298人	( 0.7%)
各種予防接種 (日本脳炎、インフルエンザ、高齢者肺炎球菌等)	1,121人	( 47.5%)
合 計	14,267人	( 0.4%)

曜日別に見た患者割合 (%)



## 3 診療収入等の状況

外来収入は、前年度に比べ1,606,586円(2.0%)の減少となり、また、諸検査料、使用料、手数料を合わせた歳入合計では、1,036,718円(0.9%)の減少となりました。

区分 年度	外 来 収 入					
	国 保	社 保	後期高齢者医療	一部負担金	その他の診療報酬収入	小計
30年度	21,316,324円	14,104,822円	28,632,655円	16,271,580円	259,500円	80,584,881円
29年度	22,045,725円	15,145,199円	28,058,333円	16,612,740円	329,470円	82,191,467円
前年度比	△3.3%	△6.9%	2.0%	△2.1%	△21.2%	△2.0%
区分 年度	諸検査料			使用料	手数料	合計
	健康診断	予防接種	小計			
30年度	28,961,448円	5,328,001円	34,289,449円	336,000円	167,140円	115,377,470円
29年度	29,874,800円	3,848,021円	33,722,821円	336,000円	163,900円	116,414,188円
前年度比	△3.1%	38.5%	1.7%	0%	2.0%	△0.9%

#### 5 診療施設勘定に係る事業の実施状況

事業名	一般管理費	事業費	102,580,358円
-----	-------	-----	--------------

診療所職員の給与・賃金等の人件費のほか、電子カルテ・医療事務会計システムの賃借料と、それらを維持するための保守管理料、施設の維持管理に要する費用が主なものとなっています。

##### 1 一般管理給与費等

(1) 一般職給与費（医師1人・技師1人・看護師4人）・・・ 59,953,604円  
（給料、職員手当、共済費）

##### 2 一般管理事務費

(1) 嘱託職員（事務員2人）・・・ 5,723,455円  
（賃金、共済費）

臨時職員賃金（医師2人・看護師4人・事務員3人）・・・ 16,076,605円

(2) 一般経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20,575,906円

##### ○旅費

・普通旅費（学会、研修、会議等出席旅費） 549,580円

##### ○需用費

・消耗品費（コピー用紙・事務用品等） 630,183円

・印刷製本費（予算書、決算書、封筒） 180,360円

・修繕費（所長住宅エアコン、玄関看板等） 384,048円

##### ○役務費

・通信運搬費（電話代、切手） 333,973円

・手数料（クリーニング代） 118,692円

・各種保険料（診療所賠償責任保険） 80,760円

##### ○委託料

・電子カルテ、医療事務会計システム保守管理 376,272円

・事務委託（特定健診事務） 249,480円

・各種委託（医療廃棄物処理、除草等） 871,311円

##### ○使用料及び賃借料

・電子カルテ、医療事務会計システム 2,646,432円

・空気清浄機 586,560円



- ・コピー機 103,680 円
- ・血液検査データ管理システム 25,920 円
- 工事請負費
  - ・所長住宅コンクリート塀改修工事 259,200 円
- 備品購入費
  - ・待合ロビーテレビ 147,960 円
- 負担金、補助及び交付金
  - ・医師会 212,000 円
  - ・国保連合会 57,000 円
  - ・学会、研修会等参加費 149,576 円
  - ・いきいきセンター施設管理費 12,612,919 円  
(施設保守管理、清掃、光熱水費、トイレ改修工事等)

事業名	医業費	事業費	45,414,707 円
-----	-----	-----	--------------

医療機器の賃借料と、それらを維持するための保守管理料が主なもので、次いで医療材料費と医療用消耗品、諸検査手数料となり、診療・健診・予防接種に要する費用となっています。

(1) 一般経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45,414,707 円

- 需用費
  - ・消耗品費 (医療用消耗品、検査用容器代等) 4,546,730 円
  - ・修繕費 27,000 円
  - ・医薬材料費 8,833,370 円
- 役務費
  - ・手数料 (諸検査) 4,984,111 円  
(画像保存システムソフト更新) 691,200 円  
(医療機器消毒) 4,860 円
- 委託料
  - ・保守管理 (CT装置、X線装置、超音波診断装置等) 8,688,492 円
  - ・各種委託 (栄養指導) 453,600 円
- 使用料及び賃借料
  - ・賃借料 (内視鏡、X線装置、血液分析装置等) 16,650,744 円
- 備品購入費
  - ・管理用備品 (薬品棚・自動血圧計等) 534,600 円

# 介護保険特別会計



# 介護保険特別会計

## 1 概要

介護保険制度は、その創設から18年が経過し、介護が必要な高齢者の生活の支えとして、定着、発展してきています。

平成30年度は、第8期高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画（平成30年度～令和2年度）の初年度として、介護サービスの充実、介護予防や日常生活への支援が確保される「地域包括ケアシステム」の構築に向けた事業を実施しました。

## 2 被保険者数

平成31年3月末現在の介護保険の第1号被保険者数は、2,886人であり、前年の同時期と比較して、5人の増加となりました。被保険者数が町人口に占める割合は、19.2%です。

区分	30年度	29年度	28年度	27年度	増減率(人) (30-29)
第1号被保険者数①	2,886人	2,881人	2,861人	2,807人	5人
町人口②	15,033人	15,016人	14,963人	14,926人	17人
①/②	19.2%	19.1%	19.1%	18.8%	0.1%

## 3 要介護（要支援）認定者数の状況

平成31年3月末現在の要介護・要支援認定者数は、399人となりました。

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	65人	39人	70人	71人	59人	50人	34人	388人
(65歳以上75歳未満)	9人	7人	2人	5人	8人	8人	3人	42人
(75歳以上)	56人	32人	68人	66人	51人	42人	31人	346人
第2号被保険者	1人	2人	4人	0人	2人	2人	0人	11人
計	66人	41人	74人	71人	61人	52人	34人	399人

## 4 介護保険料の状況

### (1) 保険料の改定

第1号被保険者の保険料は、保険料率（基準額×所得段階別の割合）により算定しますが、保険料率は、介護保険事業計画の3年度を単位とした計画期間ごとに設定しています。

平成30年度から令和2年度の計画期間の保険料として、次のとおり改定をしました。

所得段階	対象者	保険料年額
第1段階	①生活保護受給者	26,160円
	②高齢福祉年金受給者で、世帯員全員が町民税非課税	
	③本人及び世帯員全員が町民税非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が年間80万円以下の人	
第2段階	本人及び世帯員全員が町民税非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が年間80万円を超えて120万円以下の人	40,872円
第3段階	本人及び世帯員全員が町民税非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計が年間120万円を超える人	49,056円

第4段階	世帯のだれかに町民税が課税されているが、本人は非課税で課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の人	53,952円
第5段階	世帯のだれかに町民税が課税されているが、本人は非課税で課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円を超える人	65,400円
第6段階	本人が町民税課税で、合計所得金額が120万円未満の人	73,572円
第7段階	本人が町民税課税で、合計所得金額が120万円以上200万円未満の人	85,020円
第8段階	本人が町民税課税で、合計所得金額が200万円以上300万円未満の人	101,376円
第9段階	本人が町民税課税で、合計所得金額が300万円以上400万円未満の人	107,916円
第10段階	本人が町民税課税で、合計所得金額が400万円以上800万円未満の人	117,720円
第11段階	本人が町民税課税で、合計所得金額が800万円以上の人	134,076円

(2) 保険料の収入の状況

保険料の収入状況は次のとおりです。また、滞納整理への取り組み等、収入未済額の縮減等に努めました。平成30年度は、期別件数35件、185,784円の不納欠損処分を行いました。

区分 年度別	調定額①	収入済額②	不納欠損額③	収入未済額	収納率 ②/(①-③)
現年度分	198,711,359円	197,268,998円	0円	1,442,361円	99.27%
滞納繰越分	2,927,636円	1,191,328円	185,784円	1,550,524円	43.45%
合計	201,638,995円	198,460,326円	185,784円	2,992,885円	98.51%

5 介護保険サービス受給者の状況

居宅介護（介護予防）サービス受給者数（平成31年3月末現在）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	14人	17人	45人	62人	33人	34人	9人	214人
第2号被保険者	0人	1人	1人	0人	1人	0人	0人	3人
計	14人	18人	46人	62人	34人	34人	9人	217人

地域密着型（介護予防）サービス受給者数（平成31年3月末現在）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	0人	0人	12人	16人	14人	13人	7人	62人
第2号被保険者	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	1人
計	0人	0人	13人	16人	14人	13人	7人	63人

施設介護サービス受給者数（平成31年3月末現在）

	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	計
第1号被保険者	18人	28人	3人	49人
第2号被保険者	2人	1人	0人	3人
計	20人	29人	3人	52人

6 介護保険に係る事業の実施状況

事業名	介護保険事業計画進捗管理事業	事業費	496,800円
-----	----------------	-----	----------

介護保険事業計画の実施状況や目標の達成状況に関し、国が定める指標により実績評価を行いました。

事業名	認定審査事業	事業費	5,481,332円
-----	--------	-----	------------

四日市市と三重郡3町の共同設置で、専門の第三者（医師、薬剤師、介護施設職員）により構成され、国の基準に従い、一次判定、特記事項及び主治医意見書をもとに、要介護状態区分を審査（二次判定）しています。

認定審査会の実施状況

	審査会実施
件数	308件
前年度比	△21.2%

事業名	認定調査事業	事業費	3,510,622円
-----	--------	-----	------------

認定申請を受けて、認定調査員が心身の状況を調べるため、本人と家族から聞き取り調査を行います。また、主治医へ意見書の提出を求め、コンピュータ判定（一次判定）を行います。

認定申請及び調査の実施状況

	申請受付	認定調査
件数	320件	322件
前年度比	△18.58%	△18.48%

事業名	保険給付事業	事業費	660,551,445円
-----	--------	-----	--------------

保険給付等の状況

区分	件数	費用額	給付額
訪問サービス	1,748件	59,689,175円	53,237,963円
通所サービス	1,679件	162,997,645円	144,909,378円
短期入所サービス	320件	26,569,774円	23,198,254円
福祉用具貸与	1,629件	20,138,090円	17,884,979円
福祉用具購入費	35件	915,428円	807,410円
住宅改修費	30件	2,381,076円	2,105,118円
特定施設入居者生活介護	115件	24,254,369円	21,793,913円
居宅介護支援	2,249件	24,790,200円	24,790,200円
地域密着型サービス			
認知症対応型共同生活介護	62件	8,818,784円	7,936,877円
地域密着型介護老人福祉施設	412件	111,768,724円	100,425,727円
地域密着型通所介護	264件	70,355,552円	62,306,852円
施設介護サービス			
介護老人福祉施設	256件	70,483,195円	61,766,169円
介護老人保健施設	367件	103,744,532円	92,496,899円
介護療養型医療施設	37件	15,200,551円	13,680,477円
高額介護サービス費	1,293件		14,677,230円

特定入所者介護サービス費	709 件		16,439,975 円
高額医療合算介護サービス費	52 件		1,670,178 円
審査支払手数料			423,846 円
計			660,551,445 円

事業名	介護予防・生活支援サービス事業	事業費	11,195,417 円
-----	-----------------	-----	--------------

主な介護予防・生活支援サービス事業の状況

区 分	件 数	費 用 額	給 付 額
訪問型サービス	113 件	1,507,567 円	1,324,085 円
通所型サービス	347 件	9,618,901 円	8,485,314 円
介護予防ケアマネジメント費	274 件	1,238,700 円	1,238,700 円

事業名	一般介護予防事業	事業費	1,378,112 円
-----	----------	-----	-------------

通所型介護予防事業の実施状況

区 分	実施箇所数	実施回数	参 加 延人数
かわごえパワーステーション	2	20 回	476 人
体にえ～よ～教室	5	5 回	67 人
はつらつ教室	5	5 回	67 人
あつまれ!オールだー' S	10	10 回	181 人

事業名	包括支援センター運営事業	事業費	24,843,533 円
-----	--------------	-----	--------------

地域包括支援センターにおいては、高齢者の総合相談支援、虐待防止・権利擁護、介護予防の拠点として、さらには事業所間や地域とのネットワークの中核としての機能を果たすとともに、地域福祉活動の拡充を図るため、生活・介護支援サポーター養成事業を継続実施し、担い手の養成を行いました。

区 分	実 績
総合相談	2,166件
生活・支援サポーター養成事業	年5回、延べ46人参加
地域包括ケア研修会	年5回、延べ134人参加 テーマ:健康寿命、終活、お菓など
介護者の集い	毎月開催、延べ48人参加 おむつ、嚥下に関する勉強会など

事業名	任意事業	事業費	34,685,501 円
-----	------	-----	--------------

主な任意事業の実施状況

区 分	事業費の内訳	実 績
ひとり暮らし老人等配食サービス事業	9,053,971 円	利用人数：延べ424人、6,981食
ふれあいデイサービス	19,250,000 円	利用人数：延べ3,850人
ふれあいホームヘルプサービス	2,238,000 円	利用時間：延べ746時間
ひとり暮らし高齢者緊急通報装置	571,428 円	利用件数：12件

ねたきり老人等理髪等福祉サービス事業	3,073,870 円	利用件数：理髪 延べ17人 寝具洗濯 延べ2人 おむつ 延べ741人
--------------------	-------------	--

事業名	在宅医療・介護連携推進事業	事業費	72,457 円
-----	---------------	-----	----------

川越診療所、医師会、関係医療機関と地域包括支援センターが連携して、在宅での医療・介護サービスが切れ目なく提供されるよう支援しました。(平成30年度新規事業)

区 分	実 績
四日市医師会地域連携室連絡会	年2回参加

事業名	生活支援体制整備事業	事業費	21,107 円
-----	------------	-----	----------

生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）が高齢者等のニーズと地域の社会資源を把握し、地域の多様な主体をつないだり、活動を支援したりすることによって、地域の多様な主体によって介護予防と生活支援サービスが提供されるようにしました。(平成30年度新規事業)

事業名	認知症総合支援事業	事業費	11,267,000 円
-----	-----------	-----	--------------

これまでの「もの忘れ相談室」に加え「認知症初期集中支援チーム」が相談にのり、認知症の早期発見と初期支援に向けて支援を行いました。

また、地域包括支援センターの認知症地域支援推進員が、地域の専門医や専門医療機関との連携を図りました。(平成30年度新規事業)

区 分	実 績
認知症ケアパスの作成配布	2,000部
認ニン教室	年間11回開催、延べ294人参加
もの忘れ相談室	毎月2回開催、延べ30人対応
認知症初期集中支援チーム	延べ84人対応
認知症サポーター養成講座	3回実施、28人養成

事業名	地域ケア会議事業	事業費	160,000 円
-----	----------	-----	-----------

ケアマネジャーから提供される困難事例などの個別ケースの検討にあたる「個別ケア会議」の開催と「地域包括ケア推進会議」を開催し、個別ケア会議での事案や介護保険事業の現状について情報共有を行いました。

(平成30年度新規事業)

区 分	実 績
地域ケア個別会議	年5回開催、検討事例10件
地域包括ケア推進会議	年2回開催





# 後期高齢者医療特別会計



# 後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計

## 1. 概 要

「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、平成 20 年 4 月 1 日から従来の老人保険制度に代わり、運営主体を県内全市町加入の三重県後期高齢者医療広域連合とする「後期高齢者医療制度」が創設されました。

対象者（被保険者）は 75 歳以上の方（65 歳以上で一定の障がいがあると認定された方を含む）で、市町は保険料の徴収と被保険者からの各種申請・届出等の窓口業務を主に行うものです。

## 2. 被保険者数

平成 31 年 3 月末日現在の被保険者数は 1,458 人であり、前年の同時期と比較して 37 人の増加となりました。なお、被保険者数が町人口 15,033 人に占める割合は、9.70%です。

①被保険者数	①のうち一部負担割合 1 割			①のうち一部負担割合 3 割	
	うち 65～障がい	一般	低所得Ⅰ 該当者	低所得Ⅱ 該当者	現役並所得者
1,458 人	4 人	851 人	163 人	265 人	179 人

## 3 保険料の状況

### (1) 保険料の改定

保険料は、2 年毎に県広域連合ごとに見直されますが、平成 30 年度は、財政運営が収支均衡するよう保険料率の改定が行なわれました。

	平成 30・31 年度	平成 28・29 年度	増 減 (増減率)
均等割額	42,965 円	43,870 円	△905 円 (△2.06%)
所得割率	8.86%	9.06%	△0.2% (△2.21%)

### (2) 保険料の収入の状況

保険料の収入状況は次のとおりです。また、滞納整理への取組み等、収入未済額の縮減等に努めました。平成 30 年度は、期別件数 1 件、400 円の不納欠損処分を行いました。

区 分	調定額①	収入済額②	不納欠損額③	収入未済額	収納率 ②/ (①-③)
年度別					
現 年 度 分	125,092,923 円	124,973,930 円	0 円	118,993 円	99.90%
滞 納 繰 越 分	325,604 円	234,385 円	400 円	90,819 円	72.07%
合 計	125,418,527 円	125,208,315 円	400 円	209,812 円	99.83%

### (3) 低所得被保険者に対する保険料の軽減等

平成 30 年度は、均等割保険料の軽減対象の拡充、保険料軽減特例の見直し等が行なわれました。

均等割保険料の軽減対象の拡充

軽減割合	改正後	改正前
5割軽減	33万円＋(27万5千円×被保険者数)以下	33万円＋(27万円×被保険者数)以下
2割軽減	33万円＋(50万円×被保険者数)以下	33万円＋(49万円×被保険者数)以下

保険料軽減特例の見直し

	改正後	改正前
所得割の軽減	軽減なし	所得割2割軽減
元被扶養者の均等割	5割軽減	7割軽減

4 後期高齢者医療に係る事業の実施状況

事業名	後期高齢者広域連合納付金	事業費	157,680,000円
-----	--------------	-----	--------------

・運営については、保険料徴収は市町村が行ない、財政運営は都道府県単位で全市町村が加入する広域連合が行ないます。

広域連合の財政リスクの軽減については、国・都道府県が共同して責任を果たす仕組みとなっています。

納付金の内訳	保険料等	147,347,000円
	事務費	10,333,000円

# 公共下水道事業特別会計

# 公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計

公共下水道施設の整備状況については、今年度末の水洗化率(世帯)が93.49%となりました。今後ともPRを重ね一層の水洗化率の向上に努めるとともに、使用者の料金未納対策に力を入れてまいります。

汚水関連については施設の維持管理を行うとともに、マンホールトイレ設置工事等を実施しました。また雨水関連については、当新田雨水幹線整備事業をはじめ施設整備を順次進め、排水施設関連では浸水対策に向けた工事などの業務委託を行い、安全で快適な暮らしのできる環境づくりに努めました。

## 【歳 入】

歳入については、決算額1,300,897,910円となりました。

主なものは、使用料及び手数料133,720,154円で、下水道使用料の内訳は下表のとおりです。

(円) 区分 年度別	調定額 ①	収入済額 ②	不納欠損額 ③	収入未済額	収納率 ②/ (①-③)
現年度分	133,822,095円	132,076,618円	-	1,745,477円	98.7%
滞納繰越分	2,510,651円	1,487,236円	189,135円	834,280円	64.1%
合計	136,332,746円	133,563,854円	189,135円	2,579,757円	98.1%

国庫支出金は146,840,000円で、内訳として防災・安全社会資本整備交付金が98,240,000円、繰越明許費分として防災・安全交付金48,600,000円となりました。

町債は226,600,000円で、内訳として公共下水道事業分180,300,000円、流域下水道事業分12,300,000円、また、繰越明許費分として公共下水道事業分34,000,000円を新たに借入れいたしました。

## 【歳 出】

歳出については、決算額1,285,072,690円となりました。主なものは、事業費734,676,407円であり、歳入歳出差引15,825,220円の剰余金が生じました。

### 1 款 事 業 費

#### 1 項 業 務 費

下水道事業における下水道使用料の徴収や施設維持管理面において、効率的でスムーズな業務の運営に努めました。

##### 1 目 総 務 費

職員の人件費、下水道使用料徴収に係る事務委託費、流域下水道維持管理負担金等を執行しました。

委託料の事業内容は、次の表のとおりです。

区 分	箇 所	業 務 名	業務概要	支出額	施行者
委託料	全区域	下水道使用料徴収委託(事務委託)		9,800,013円	水道事業

	全区域	経営戦略等策定支援業務委託(事業委託)【債務負担分】		4,600,800円	有限責任監査法人トーマツ
	全区域	特定事業所下水水質調査委託(各種委託)	下水水質調査8か所	108,000円	(株)東海テクノ
委託料合計				14,508,813円	

## 2項 建設改良費

町内における汚水施設の維持管理や雨水の効率的な排水及び浸水対策の強化を図るため、排水機場施設の更新・改修等を行い、安全で安心な住環境の整備に努めました。

### 1目 建設改良費

下水道台帳修正に伴う事務委託や川越町公共下水道事業計画変更に伴う事業委託を実施しました。また、工事請負費では、当新田雨水幹線整備工事、マンホールトイレ設置工事等を実施しました。負担金では流域下水道建設事業負担金を執行しました。

委託料及び工事請負費の事業内容は、次の表のとおりです。

区分	箇所	業務名	業務概要	支出額	施行者
委託料	全区域	下水道台帳修正業務(事務委託)		4,566,240円	(株)パスコ三重支店
	全区域	川越町公共下水道事業計画変更等業務(事業委託)【債務負担分】		5,389,200円	(株)日水コン
	当新田	当新田地内下水道管渠調査業務委託	下水道管カメラ調査	442,800円	(株)環衛
	高松	高松地内下水道管渠調査業務委託(調査委託)	下水道管カメラ調査	442,800円	(株)環衛
	高松	高松地内下水道管渠調査業務委託(2回目)(調査委託)	下水道管カメラ調査	442,800円	(株)環衛
	全区域	マンホールポンプ年間維持管理業務委託(保守管理委託)	マンホールポンプ点検16か所等	2,193,480円	東海メンテナンス(株)
	全区域	その他2件(保守管理委託)		68,040円	
委託料合計				13,545,360円	
区分	箇所	工事名	工事概要	支出額	施行者
工事請負費(修繕工事費)	高松	汚水管渠耐震化工事		2,616,840円	(株)ふくた
	全区域	汚水管渠維持修繕工事	19件	7,720,304円	
	全区域	雨水管渠維持修繕工事	15件	34,049,360円	
	小計			44,386,504円	
区分	箇所	工事名	工事概要	支出額	施行者



工事請負費 (舗装工事費)	当新田	当新田地内舗装修繕工事	舗装修繕式 1	97,200円	愛三工業(有)川越支店
工事請負費 (新設工事費)	豊田一色	マンホールトイレ設置工事	総合センター 16基	17,429,040円	福田造園(株)
	亀崎新田	マンホールトイレ設置工事	総合体育館 16基	19,179,720円	菊池重機建設(株)
	当新田	雨水幹線整備工事	ボックスカルバート L=255.7m 汚水管 L=85.2m	94,184,640円	菊池重機建設(株)
	全区域	公設汚水柵設置工事	4件	1,935,360円	
	小計			132,728,760円	
工事請負費合計				177,212,464円	

## 2目 排水施設管理費

川越排水機場のポンプの電気代や燃料費、維持管理業務委託費などの経常経費に加え、川越排水機場調整池拡張工事に係る事業委託、施設設備の修繕等の工事を実施しました。

委託料及び工事請負費の事業内容は、次の表のとおりです。

区分	箇所	業務名	業務概要	支出額	施行者
委託料	亀崎新田	川越排水機場調整池拡張工事委託(事業委託)	調整池拡張工事	160,610,000円	日本下水道事業団
		川越排水機場調整池拡張工事委託(事業委託)【繰越明許費分】	調整池拡張工事	97,200,000円	日本下水道事業団
		電気設備定例保安業務委託(保守管理委託)		509,328円	(一財)中部電気保安協会
		電気計装設備点検業務委託(保守管理委託)		4,968,000円	東芝インフラシステムズ(株)
		主ポンプ設備点検業務委託(保守管理委託)		7,981,200円	クボタ機工(株)
		維持管理業務委託(保守管理委託)		47,304,000円	東海メンテナンス(株)
		廃棄物収集運搬処理委託(保守管理委託)	浮遊シサ類運搬処理	982,800円	(株)イトジュ
		その他 2件(保守管理委託)		170,640円	
委託料合計				319,725,968円	
区分	箇所	工事名	工事概要	支出額	施行者
工事請負費	亀崎新田	2号除塵機修繕工事		33,210,000円	JFE エンジン

(修繕工事費)					アリング(構)
		その他 2件		578,880 円	
工 事 請 負 費 合 計				33,788,880 円	

浸水対策として実施する調整池拡張工事に伴い、電柱移設を行いました。移転補償費用は2,854,400円です。

## 2 款 公 債 費

公共下水道整備事業にこれまで投入された資金のうち起債による借入金について、元金437,872,180円及び利子112,524,103円を償還し、本年度末借入件数は119件で現在高は4,700,815,299円となりました。

## 3 款 予 備 費

平成30年度において、予備費を充当したものは、次のとおりです。

款	項	目	節	内容	充当額
事業費	業務費	総務費	職員手当等	昨年度の台風12号、20号、21号及び24号の際、職員の災害対応としての警戒等による時間外勤務手当が必要となったため4人分	410,582 円

資 料 編



地方債借入先及び利率別現在高の状況（一般会計）

（単位：円）

借入先	利率	平成29年度 末現在高 (A)	平成30年度 発行額 (B)	平成30年度 償還元金額 (C)	差引現在高 (A)+(B)-(C) (D)	(D) の 利 率 別 内 訳													
						0.5 % 以下	1.0 % 以下	1.5 % 以下	2.0 % 以下	2.5 % 以下	3.0 % 以下	3.5 % 以下	4.0 % 以下	4.5 % 以下	5.0 % 以下	5.5 % 以下	6.0 % 以下	6.5 % 以下	6.5 % 超
1	財政融資資金	316,608,286		8,219,186	308,389,100	306,768,996			1,620,104										
2	旧郵政公社資金	144,498,640		21,132,137	123,366,503				123,366,503										
	(ア)旧郵便貯金資金																		
	(イ)旧簡易生命保険資金	144,498,640		21,132,137	123,366,503				123,366,503										
3	地方公営企業等金融機構資金																		
	旧公営企業金融公庫資金																		
4	国の予算貸付・政府関係機関貸付 （公営企業金融公庫を除く）																		
5	ゆうちょ銀行																		
6	市中銀行																		
7	その他の金融機関																		
8	かんぽ生命保険																		
9	保険会社等																		
10	交付公債																		
11	市場公募債																		
12	共済等																		
	うち市町村振興資金																		
13	外国債																		
14	その他																		
	合計(1～14)(E)	461,106,926		29,351,323	431,755,603	306,768,996			124,986,607										
(E) の内 訳	証書借入分	461,106,926		29,351,323	431,755,603	306,768,996			124,986,607										
	証券発行分																		
	うち登録債																		
15	特定資金																		



地方債借入先及び利率別現在高の状況（国民健康保険特別会計診療施設勘定）

(単位:円)

借入先	利率	平成29年度 末現在高 (A)	平成30年度 発行額 (B)	平成30年度 償還元金額 (C)	差引現在高 (A)+(B)-(C) (D)	(D) の 利 率 別 内 訳																
						0.5 % 以下	1.0 % 以下	1.5 % 以下	2.0 % 以下	2.5 % 以下	3.0 % 以下	3.5 % 以下	4.0 % 以下	4.5 % 以下	5.0 % 以下	5.5 % 以下	6.0 % 以下	6.5 % 以下	6.5 % 超			
1	財政融資資金	27,013,693		4,942,971	22,070,722									22,070,722								
2	旧郵政公社資金																					
	(ア)旧郵便貯金資金																					
	(イ)旧簡易生命保険資金																					
3	地方公営企業等金融機構資金																					
	旧公営企業金融公庫資金																					
4	国の予算貸付・政府関係機関貸付 (公営企業金融公庫を除く)																					
5	ゆうちょ銀行																					
6	市中銀行																					
7	その他の金融機関																					
8	かんぽ生命保険																					
9	保険会社等																					
10	交付公債																					
11	市場公募債																					
12	共済等																					
	うち市町村振興資金																					
13	外国債																					
14	その他																					
	合計(1~14)(E)	27,013,693		4,942,971	22,070,722									22,070,722								
(E) の内 訳	証書借入分	27,013,693		4,942,971	22,070,722									22,070,722								
	証券発行分																					
	うち登録債																					
15	特定資金																					





地方債借入先及び利率別現在高の状況（公共下水道事業特別会計）

（単位：円）

利率 借入先	平成29年度末 現在高 (A)	平成30年度 発行額 (B)	平成30年度 償還元金額 (C)	差引現在高 (A)+(B)-(C) (D)	(D) の 利 率 別 内 訳													
					0.5 % 以下	1.0 % 以下	1.5 % 以下	2.0 % 以下	2.5 % 以下	3.0 % 以下	3.5 % 以下	4.0 % 以下	4.5 % 以下	5.0 % 以下	5.5 % 以下	6.0 % 以下	6.5 % 以下	6.5 % 超
1 財政融資資金	2,027,217,275		202,909,787	1,824,307,488			263,174,138	472,951,647	712,107,338	10,395,313	20,633,572		224,712,860	5,336,792	72,009,634		7,015,210	35,970,984
2 旧郵政公社資金	827,233,512		93,165,108	734,068,404														
(ア) 旧郵便貯金資金																		
(イ) 旧簡易生命保険資金	827,233,512		93,165,108	734,068,404				163,543,187	29,129,581	113,795,091	190,943,585		236,656,960					
3 地方公営企業等金融機構資金	2,057,636,692	226,600,000	141,797,285	2,142,439,407	625,400,000	199,100,000	348,905,762	106,081,411	588,914,134	48,932,042	85,345,019	61,434,994	74,996,664	3,329,381				
旧公営企業金融公庫資金	1,186,050,943		135,596,635	1,050,454,308														
4 国の予算貸付・政府関係機関貸付 (公営企業金融公庫を除く)																		
5 ゆうちょ銀行																		
6 市中銀行																		
7 その他の金融機関																		
8 かんぽ生命保険																		
9 保険会社等																		
10 交付公債																		
11 市場公募債																		
12 共済等																		
うち市町村振興資金																		
13 外国債																		
14 その他																		
合計(1～14)(E)	4,912,087,479	226,600,000	437,872,180	4,700,815,299	625,400,000	199,100,000	612,079,900	742,576,245	1,330,151,053	173,122,446	296,922,176	61,434,994	536,366,484	8,666,173	72,009,634		7,015,210	35,970,984
(E)の内訳																		
証書借入分	4,912,087,479	226,600,000	437,872,180	4,700,815,299	625,400,000	199,100,000	612,079,900	742,576,245	1,330,151,053	173,122,446	296,922,176	61,434,994	536,366,484	8,666,173	72,009,634		7,015,210	35,970,984
証券発行分																		
うち登録債																		
12 特定資金																		



## 区管理財産(資料)

### 1 公民館

(単位 : m<sup>2</sup>)

地区名	区分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
当新田	土地	2,092.77	0.00	2,092.77
	建物	369.98	0.00	369.98
北福崎	土地	1,391.13	0.00	1,391.13
	建物	338.92	0.00	338.92
亀須	土地	1,010.90	0.00	1,010.90
	建物	364.24	0.00	364.24
亀崎	土地	2,550.82	0.00	2,550.82
	建物	1,000.19	0.00	1,000.19
上吉	土地	242.14	0.00	242.14
	建物	260.10	0.00	260.10
南福崎	土地	2,621.47	0.00	2,621.47
	建物	537.50	0.00	537.50
豊田一色	土地	1,051.22	0.00	1,051.22
	建物	459.41	0.00	459.41
豊田	土地	2,486.60	0.00	2,486.60
	建物	755.62	0.00	755.62
高松	土地	2,398.38	0.00	2,398.38
	建物	544.54	0.00	544.54
天神	土地	1,728.79	0.00	1,728.79
	建物	495.79	0.00	495.79

### 2 消防施設

(単位 : m<sup>2</sup>)

地区名	区分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
上吉	土地	488.00	0.00	488.00
高松	土地	323.00	0.00	323.00
南福崎	土地	169.55	0.00	169.55
北福崎	土地	124.98	0.00	124.98

### 3 広 場

(単位 : m<sup>2</sup>)

地区名	区分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
亀崎	土地	1,212.00	0.00	1,212.00
上吉	土地	1,674.00	0.00	1,674.00
南福崎	土地	3,817.12	0.00	3,817.12
豊田	土地	8,906.84	0.00	8,906.84
天神	土地	330.00	0.00	330.00
豊田一色	土地	2,454.06	0.00	2,454.06
北福崎	土地	859.00	0.00	859.00
当新田	土地	362.57	0.00	362.57
亀須	土地	2,107.00	0.00	2,107.00
高松	土地	647.18	0.00	647.18

### 4 墓 地

(単位 : m<sup>2</sup>)

地区名	区分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
当新田	土地	1,188.51	0.00	1,188.51
北福崎	土地	1,244.00	0.00	1,244.00
亀須	土地	416.00	0.00	416.00
亀崎	土地	7,649.00	0.00	7,649.00
上吉	土地	791.17	0.00	791.17
南福崎	土地	2,582.96	0.00	2,582.96
豊田一色	土地	561.00	0.00	561.00
豊田	土地	1,414.00	0.00	1,414.00
高松	土地	66.11	0.00	66.11

### 5 生涯学習センター

(単位 : m<sup>2</sup>)

地区名	区分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
亀崎	建物	55.47	0.00	55.47
南福崎	建物	251.68	0.00	251.68